

2019 年度

— 藤田医科大学 学生生活・学修実態調査 —
保健衛生学部 報告書



藤田医科大学 I R 推進センター
医療科学部・保健衛生学部 I R 分室

2019 年 11 月 26 日

藤田医科大学 I R推進センター

医療科学部・保健衛生学部 I R分室の分析報告

2019 年度 藤田医科大学 学生生活・学修実態調査

保健衛生学部 報告書

1. 学生生活・学修実態調査の方法

1. 1. 調査対象と方法

1. 2. アンケート調査項目

2. 学生生活・学修実態調査結果報告の分析

2. 1. 学生生活・学修実態調査報告の総括及び考察

2. 2. 学生生活・学修実態調査報告の全データ分析

3. 自由記載の分析

3. 1. 看護学科

3. 2. 1. リハビリテーション学科 理学療法専攻

3. 2. 2. リハビリテーション学科 作業療法専攻

「2019 年度 藤田医科大学 学生生活・学修実態調査」の実施について

この調査は、医療職を目指している本学の学生の皆さんの日常生活の状況や学修状況に関して、学部又は学科ごとに選定した学年の方々に実施するものです。調査の目的は、皆さんが将来、医療職の professional になるための基礎づくりとして、学生生活や学修状況等について約 50 項目の設問により実態を把握し、本学のカリキュラム等教育に関する問題を検討する資料とするものです。また、設問の終盤では、本学の教育内容（カリキュラム、授業方法、実習指導等）及び学生生活環境（教育設備、アメニティ、部活環境等）のほか、建学の理念やポリシーについても、学生の皆さんから率直なご意見を頂きたいと思っております。

本調査への参加は強制ではありません。また、参加・不参加は成績等の評価に影響することはありません。しかし、出来る限り多くの意見を頂きたいと思っています。入力いただいた回答並びにご意見等は、本調査の目的以外に使用することはありませんので、皆さんのご協力をお願いいたします。

2019 年 7 月

藤田医科大学
学 長 才 藤 栄 一

「2019 年度 藤田医科大学 学生生活・学修実態調査」保健衛生学部の分析について

本学の教育目標を達成するため、教育及び学生支援に関する諸データの統合分析と情報提供等を行い、本学の教育活動の充実発展に寄与することを目的として、藤田医科大学 I R (Institutional Research) 推進センターが設置されています。今回、下部組織の医療科学部・保健衛生学部 I R 分室では、I R 推進センターが実施した 2019 年度学生生活・学修実態調査における保健衛生学部学生のアンケート回答を集計・分析した結果を報告いたします。

2019 年 11 月 26 日

2019 年度 藤田医科大学 I R 推進センター 医療科学部・保健衛生学部 I R 分室
山田晃司、鈴木康司、世古留美、寺本篤司、大塚 圭、日比谷 信、武藤晃一、
近藤宏美

1. 学生生活・学修実態調査の方法

1. 1. 調査対象と方法

本アンケート調査の目的は、学生が医療職の professional になるための基礎づくりとして、学生生活や学修状況等について設問し実態を把握することで、本学のカリキュラム等教育に関する問題を検討する資料とするものである。本学の教育内容（カリキュラム、授業方法、実習指導等）および学生生活環境（教育設備、アメニティ、部活環境等）のほか、建学の理念やポリシーについても調査する。

本調査の対象は 2019 年度の医学部、医療科学部、保健衛生学部、看護専門学校の全 2 年生、全 4 年生（医療経営情報学科のみ 3 年生）である。学生の調査への参加は任意とし、e ラーニングシステムである Moodle のフィードバック機能を利用して調査を実施した。図 1 に学生へのアンケート回答方法についての通知を掲載する。

本調査報告書における分析対象は、保健衛生学部の看護学科 2 年生・4 年生、リハビリテーション学科理学療法専攻 2 年生・4 年生、リハビリテーション学科作業療法専攻 2 年生・4 年生である。

学生生活・学修実態調査（アンケート）の回答方法

学生生活・学修実態調査（アンケート）は匿名で実施され、誰がどんな回答をしたかはわかりません。率直に回答ください。なお、アンケートサイトへのログイン、回答の送信完了については記録されます。

- アンケートサイトにアクセスし、ログインする。
 - 学内外のインターネットに接続されているスマートフォン、タブレット端末、パソコンで、ブラウザを起動し、<https://lms01.med.fujita-hu.ac.jp/moodle> にアクセスします。
 - 画面右上、または、下の[ログイン]をクリックします。
- ログイン画面が表示されます。ユーザ名、パスワードともに学籍番号を入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

- アンケートに回答する
 - 表示されるコース（所属の学部、学科、または、学校名）をクリックします。
 -  フィードバックアイコンがついた、学生生活・学修実態調査をクリックします。
- 「質問に回答する…」をクリックします。（アンケートを中断した場合は「質問への回答を続ける…」と表示）

- 2-1) 設問をよく読み、回答してください。

【注意事項】
- ※ アンケートは【基本属性】から 9 項目あります。
- ※ 設問に「*」がついているものは必須項目です。
- ※ 回答数を指定している設問があります。設問文をよく読み、回答してください。

自主字修めをどのようにしますか。よく行う方法を3つ（必須）選んでください。*

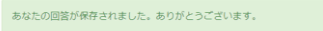
- ☐ 自分のノートを中心に字写
- ☐ 講義用教材を中心に字写
- ☐ 教科書・参考書を中心に字写
- ☐ 問題集・先輩が作成した資料を中心に字写
- ☐ 模範資料を利用
- ☐ eラーニングを利用
- ☐ インターネット検索を利用
- ☐ SNSを利用
- ☐ その他（具体的に記述してください）
- 1. 回答を送信する
- 最後の設問の下に、図のようなボタンが表示されます。全部の設問に回答できたら、**[あなたの回答を送信する]**ボタンをクリックします。
- 回答が問題なく送信されましたら、図のようなメッセージ画面が表示されます。
- 2. アンケート完了の確認
- 画面左上部のダッシュボードをクリックし、最初の画面に戻ります。
- 完了している場合は、画面右部にバッジが表示されます。これでアンケート完了です。ご協力ありがとうございました。

図 1. 学生へのアンケート回答方法の通知

1. 2. アンケート調査項目

Moodle で実施したアンケート調査の項目を表 1 に示す。

表 1. 2019 年度学生生活・学修実態調査 アンケート調査項目

【基本属性】

(A-01) どの学部・学科に所属していますか。

1. 医学部医学科 2. 医療科学部臨床検査学科 3. 医療科学部看護学科 4. 医療科学部放射線学科
5. 医療科学部リハビリテーション学科 理学療法専攻 6. 医療科学部リハビリテーション学科 作業療法専攻
7. 医療科学部臨床工学科 8. 医療科学部医療経営情報学科 9. 看護専門学校

(A-02) 何学年ですか。

1. 1 年生 2. 2 年生 3. 3 年生 4. 4 年生 5. 5 年生 6. 6 年生

(A-03) 本年度（今年 3 月 31 日時点）の満年齢を教えてください。

〔 〕 歳

(A-04) 性別は

1. 男 2. 女

<大学全体について>（または看護専門学校について）

(1) 大学（または看護専門学校）へはどのような選抜方法で入学しましたか。

1. 推薦入試 2. 一般入試 3. センター試験利用（大学のみ） 4. その他（具体的に記述してください）

(2) 希望の大学（または看護専門学校）へ入学できましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらでもない

(3) 授業の出席状況について、当てはまるものを 1 つ選んでください。

1. よく出席する（出席率 98%以上） 2. 出席する方である（出席率 90%以上）
3. どちらともいえない（出席率 80%程度） 4. あまり出席しない（出席率 70%程度）
5. ほとんど出席しない（無資格科目が散見）

(4) 大学（または看護専門学校）の学修面は充実していますか。

1. 充実している 2. まあまあ充実している 3. どちらともいえない 4. あまり充実していない
5. 全く充実していない

(5) 大学（または看護専門学校）のクラブ活動や学外での活動などは充実していますか。

1. 充実している 2. まあまあ充実している 3. どちらともいえない 4. あまり充実していない
5. 全く充実していない

(6) 大学（または看護専門学校）の学生生活は、総合的にみて満足していますか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

<通学について>

(7) どこから通学していますか。

1. 自宅から通学 2. 自宅外（下宿）から通学 3. その他（具体的に記述してください）

(8) どのように大学（または看護専門学校）まで通っていますか。（複数選択可）

1. 公共交通機関（バス・電車等）
2. 自転車
3. バイク
4. 車
5. 徒歩
6. その他（「自動車での送り迎え」など具体的に記述してください）

(9) 通学（片道）に何時間くらいかかりますか。

1. 30 分未満
2. 30 分～1 時間未満
3. 1～1 時間 30 分未満
4. 1 時間 30 分～2 時間未満
5. 2 時間以上

<経済面について>

(10) 趣味や娯楽等に 1 か月間でいくぐらい費やしますか。

1. 1 万円未満
2. 1～2 万円未満
3. 2～3 万円未満
4. 3～4 万円未満
5. 4～5 万円未満
6. 5～10 万円未満
7. 10 万円以上

(11) 奨学金を受けていますか。（複数回答可）

1. 受けていない
2. 日本学生支援機構の奨学金を受けている
3. 地方公共団体の奨学金を受けている
4. 民間育英団体等の奨学金を受けている
5. その他の奨学金（具体的に記述してください）

<アルバイトについて>

(12) 現在、アルバイトをしていますか。アルバイトをしている人は、アルバイトの主な目的は何ですか。

（「ある」と回答した場合は最も多い理由を 2～8 から 1 つ選んでください）

ない→1. していない（したことがない）

- ある→2 学費を得るため 3. 生活費・教養費を得るため 4. クラブ活動費を得るため
5. 旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため
6. 耐久消費財（電化用品、家具など）を購入するため
7. 貯金をするため 8. その他（具体的に記述して下さい）

(13) 1 週間に何日、アルバイトしますか。

※注：(12) で「ある」を回答した人への設問（2～8 を選択した人のみ回答）

1. ごくたまに
2. 1～2 日
3. 3～4 日
4. 4～5 日
5. 5～6 日
6. 7 日（毎日）

(14) 1 日あたり何時間ぐらい、アルバイトしますか。

※注：(12) で「ある」を回答した人への設問（2～8 を選択した人のみ回答）

1. 2 時間未満
2. 2～3 時間未満
3. 3～4 時間未満
4. 5～6 時間未満
5. 6 時間以上

(15) アルバイトの主な職種は何ですか。

1. フード・飲食
2. 各種販売
3. アミューズメント
4. 事務・デスクワーク
5. 警備・清掃・土木・建築
6. 製造系作業員
7. 医療・介護・福祉
8. 教育（家庭教師・塾講師等）
9. その他（具体的に記述してください）

<クラブ活動/ボランティア活動等について>

(16) 現在、クラブ活動に参加していますか。

1. はい、1 つのクラブ活動に参加しています。
2. はい、2 つ以上のクラブ活動に参加しています。
3. いいえ、参加していません。

(17) クラブ活動に参加している人は、きっかけや理由を3つまで選んでください。

※注：(16)で「はい」と回答した人への設問（1、2を選択した人のみ回答）

1. 活動内容が好きまたは興味がある
2. 教養・知識、技術の向上
3. 健康のため
4. 友人を得るため
5. 交友関係を広げるため
6. 免許・資格取得のため
7. 社会貢献
8. 誘われて何となく
9. その他（具体的に記述してください）

(18) クラブ活動に参加しない理由を3つまで選んでください。

※注：(16)で「いいえ」と回答した人への設問（3を選択した人のみ回答）

1. 勉学の妨げになる
2. 健康上の理由
3. 自分の関心に合うものがない
4. アルバイトや通学等で時間がない
5. 拘束されたくない
6. 経済的な負担が大きい
7. 対人関係が面倒
8. 練習が苦痛
9. 活動を行う施設・設備がない
10. 特に理由はない
11. その他（具体的に記述してください）

(19) 現在、ボランティア活動（学内美化、社会奉仕、親切運動、福祉活動等の無償奉仕）をしていますか。

1. 定期的に参加している。
2. 不定期（ときどき）だが、参加している。
3. 以前は参加していたが、現在はしていない。
4. 参加したことがない。
5. 参加したいが、時間や機会がない。

<学修及び学校生活について>

(20) 1日の平均予習時間は何時間ですか。

1. ほとんどなし
2. 1時間未満
3. 1～2時間未満
4. 2～3時間未満
5. 3～4時間未満
6. 4時間以上

(21) 1日の平均復習時間（課題、レポート等の作成時間を含む）は何時間ですか。

1. ほとんどなし
2. 1時間未満
3. 1～2時間未満
4. 2～3時間未満
5. 3～4時間未満
6. 4時間以上

(22) どこで自主学修することが多いですか。

1. 自宅
2. 友人宅
3. 教室
4. 研究室
5. 学生ホール・オープンスペース
6. 学生食堂
7. 図書館
8. PC室
9. 学外の飲食店
10. その他（具体的に記述してください）

(23) 自主学修をどのようにしますか。よく行う方法を3つ（必須）選んでください。

1. 自分のノートを中心に学修
2. 講義用教材を中心に学修
3. 教科書・参考書を中心に学修
4. 同級生、先輩が作成した資料を中心に学修
5. 視聴覚材料を利用
6. eラーニングを利用
7. インターネット検索を利用
8. SNSを利用
9. その他（具体的に記述してください）

(24) 誰と学修することが多いですか。

1. 自分一人で
2. 友人と一緒に
3. 教員と一緒に
4. その他（具体的に記述してください）

(25) 講義・実習には満足していますか。

1. 満足している
2. まあまあ満足している
3. やや不満である
4. 不満である

(26) 教育や制度に関して、整備・充実してほしいものを3つ（必須）選んでください。

1. カリキュラム
2. 授業・試験・成績などの教務情報
3. 資格取得講座（対策授業）
4. 就職支援・進路相談
5. 奨学金制度の新設や増額
6. 留学制度・海外研修プログラム
7. 他学・海外との交流
8. クラブ活動・ボランティア活動支援
9. 学生自治活動（学友会）支援
10. その他（具体的に記述してください）

(27) キャンパス内の施設・設備について、整備・充実してほしいものを3つまで、選んでください。

1. 教室・実習室 2. 図書館 3. PC 教室など情報系教室 4. インターネット環境
5. 体育館等スポーツ施設 6. クラブ活動の設備・施設 7. 食堂 8. 駐輪場 9. 駐車場
10. 学生ホール・ラウンジ 11. その他（具体的に記述してください）

<健康について>

(28) 平平均睡眠時間はどれくらいですか。

1. 4 時間未満 2. 4～5 時間未満 3. 5～6 時間未満 4. 6～7 時間未満 5. 7～8 時間未満
6. 8～9 時間未満 7. 9～10 時間未満 8. 10 時間以上

(29-1) 朝食はどのようにしていますか。

1. 自宅・下宿での自炊 2. 持参したおにぎりや弁当 3 学内の食堂 4 学外の飲食店等
5. コンビニやファーストフード等で弁当などを購入 6. ほとんど食べない
7. その他（具体的に記述してください）

(29-2) 昼食はどのようにしていますか。

1. 自宅・下宿での自炊 2. 持参したおにぎりや弁当 3 学内の食堂 4 学外の飲食店等
5. コンビニやファーストフード等で弁当などを購入 6. ほとんど食べない
7. その他（具体的に記述してください）

(29-3) 夕食はどのようにしていますか。

1. 自宅・下宿での自炊 2. 持参したおにぎりや弁当 3 学内の食堂 4 学外の飲食店等
5. コンビニやファーストフード等で弁当などを購入 6. ほとんど食べない
7. その他（具体的に記述してください）

<その他悩み事>

(30) 現在、悩んでいることを3つまで選んでください。

1. 金銭面 2 学修面 3. クラブ関係 4. 健康上の問題 5. 性格や能力について
6. 就職・将来の進路 7. 友人関係 8. 異性問題 9. 性の問題 10. 家庭の問題
11. 特に悩んでいない 12. その他（具体的に記述してください）

(31) 学生生活上の悩みや不安、困ったときに相談し易いのはどなたですか（複数回答可）

1. 親 2. 兄弟 3. 同級生 4. 先輩・後輩 5. 学外の友人 6. 恋人 7. 教員
8. 職員 9. 保健室（カウンセラーを含む） 10. 相談する人がいない
11. その他（具体的に記述してください）

【自由記載】

(1) 本学の教育内容（カリキュラム、授業方法、実習指導等）について何かご要望はありますか？

(2) 本学の学生生活環境（教育設備、アメニティ、部活環境等）について何かご要望はありますか？

(3) 本学の建学の理念、ポリシー等について何かご意見をお持ちですか？

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

2. 学生生活・学修実態調査結果報告の分析

2. 1. 学生生活・学修実態調査報告の総括及び考察

学生生活と学修について、学部全体としては、学生の自己評価結果から充実度が比較的高いと判断された。一方で、細かく分析すると、改善に向けた様々な課題がみられた。以下、学科・専攻ごとに、分析結果を示す。看護学科は「看護」、リハビリテーション学科理学療法専攻は「リハ・理学」、リハビリテーション学科作業療法専攻は「リハ・作業」と略す。

<学生生活・学修実態調査 保健衛生学部2学科2専攻の総括>

看護	総合的に見て学生生活に満足している学生は、57.7%と昨年同様学部平均より低かった。希望の大学に入学できたと回答した学生は、約6割弱であり、昨年より指導の大学にはいれたと回答する学生が増えた。学習生活充実度の学習面では「充実している・まあまあ充実している」と回答した学生は、8割弱でありクラブ学外活動では5割であった。総合的には充実している結果であった。自宅から通学している学生は約8割弱で、通学時間は1時間30分かかる学生が多かった。月のお小遣いは1万～3万であり、バイトをしている目的は、旅行やレジャー洋服代などである。生活費のためと回答した学生は少なく、自宅生が多いためだと推察できる。奨学金を利用している学生も少なかった。5割の学生はクラブ活動に参加し、交流を持ちたいという希望も見られている。学習面では予習にかける時間より、復習に時間を費やしているが、それにかかる時間は1～2時間程度であり、学修に十分な時間がかけられているわけではない。学習する場所は自宅、次いで学内であるが、学内での学習環境が整備されていないと感じている。試験前などは学内での学習環境に対する要望は強くなっている現状がある。講義実習満足度は約9割は満足しているが、学部平均よりは低い。満足度が低い要因としては時間割・カリキュラムであるが、看護系免許取得に関するカリキュラムの過密さが要因だと思われる。科目履修登録の時期について意見が多く、時間割を見てから選択したいという希望があり、現状では対応できていない状況である。キャンパス設備については、依然教室への要望があった。教室については、新校舎には3学年の教室のみで、合同校舎に1学年分の教室と演習室があり、移動などの距離や建物の構造上のものが満足ではない理由であげられた。学生ホールなど学生が休憩する場所が少ないことも要因の一つとなっている。生活面では、自宅学生が多いためか朝食を含め3食摂取し、保護者などによりきちんと生活環境が整えられている様子がうかがわれた。悩み事は金銭面や学習面に関する悩み事が多いが、就職に関しては他学科より少なかった。現時点では看護職に関する求人は問題ないためと思われるが、ここ数年希望病院に必ずしも就職できない学生も見られてきたため、動向を観察していく必要がある。
----	---

リハ・理学	ほとんどの学生は授業を 90%出席し、約 6 割以上の学生が総合的に充実している回答していることから、学生生活は概ね良好なものであった。本学を希望しなかった約 4 割の学生も学生生活を送るなかで、気持ちを切り替え、学修に勉めっていると推察された。しかしながら、総合的な充実に関して、「どちらでもない」または「いいえ」と回答した学生が合わせて 3 割以上存在していたことは、学生生活において学修への動機づけに影響を及ぼす可能性があるため、対象学生の早期発見とサポートが必要であると考えられる。また、作業療法専攻とともに、学修面にくらべ、クラブ活動等の充実度が低いことは、今後、学部または大学全体としての課題と考えるべきである。 通学方法は、多くの学生が自宅から通学していた。そのうえで、奨学金を活用している学生、アルバイトを学費、生活費を稼ぐ目的としている学生が存在していた。学修面において予習・復習時間が十分に取られていない傾向を考慮すると、アルバイトと学修のバランスを図るよう指導することが重要とある。理学療法専攻は、他大学に比べ、長期臨床実習を設定しているため、カリキュラムがタイトとなっており、学生の負担は大きくなることは予想される。したがって、学生の動向を観察しながら、十分なコミュニケーションを図り、サポートする必要がある。 健康管理は、三食摂取と一定時間の睡眠時間確保と必須である。特に定期試験前、臨床実習中、国家試験対策では学生の生活リズムが乱れるので、自己管理の促しとともに、定期的なチェックも行うべきである。学生の悩みごとに関しては、同級生、親など相談相手が存在することは確認できたが、教員の回答が少なかったことは、特に、就職等、進路に関しては、教員が助言できることも多くなる。今後、教員が学生の相談相手の役割を担えるよう、積極的な学生交流を図るよう努める必要がある。
リハ・作業	全ての学生は授業を 90%出席し、約 6 割の学生が総合的に充実している回答していることから、学生生活は概ね良好なものであった。本学を希望しなかった学生の割合は、理学療法専攻に比べると少なかった。その約 3 割の学生も学生生活を送るなかで、気持ちを切り替え、学修に勉めっていると推察された。しかしながら、総合的な充実に関して、「どちらでもない」または「いいえ」と回答した学生が合わせて 3 割以上存在していたことは、学生生活において学修への動機づけに影響を及ぼす可能性があるため、対象学生の早期発見とサポートが必要であると考えられる。また、理学療法専攻とともに、学修面にくらべ、クラブ活動等の充実度が低いことは、今後、学部または大学全体としての課題と考えるべきである。 通学方法は、多くの学生が自宅から通学していた。そのうえで、奨学金を活用している学生、アルバイトを学費、生活費を稼ぐ目的としている学生が存在していた。学修面において予習・復習時間が十分に取られていない傾向を考慮すると、アルバイトと学修のバランスを図るよう指導することが重要とある。作業療法専攻は、他大学に比べ、長期臨床実習を設定しているため、カリキュラムがタイトとなっており、学生の負担は大きくなることは予想される。したがって、学生を十分に観察し、コミュニケーションを図り、教員が心理的にサポートする必要がある。 健康管理は、三食摂取と一定時間の睡眠時間確保と必須である。特に定期試験前、臨床実習中、国家試験対策では学生の生活リズムが乱れるので、自己管理の促しとともに、定期的なチェックも行うべきである。学生の悩みごとに関しては、同級生、親など相談相手が存在することは確認できたが、教員の回答が少なかったことは、特に、就職等、進路に関しては、教員が助言できることも多くなる。今後、教員が学生の相談相手の役割を担えるよう、積極的な学生交流を図るよう努める必要がある。

<大学全体についての考察>

看護	希望する大学に入学できた学生の割合は 57.3% であった。総合的にみて大学生活に満足している学生の割合は 57.7% であった。出席率 90% 以上の学生は 96.2% みられるが、学部全体からみると少し改善が見られるとよい。本大学が第1希望ではない学生が約4割いるが、入学後は気持ちを切り替えて大学生活を送っていると推察する。学習面で充実していると回答した学生の割合が低下しており、またクラブ活動や学外活動などが充実していると回答した学生の割合も低く、設備面以外の事で満足できていない状況がうかがえる。
リハ・理学	約6割以上の学生が希望する大学に入学できたと回答していた。入学後は98%以上の学生は授業出席率が90%であり、約6割以上の学生が総合的に充実している回答していることは、概ね良好は学生生活を送っていることがうかがえる結果であった。しかし、「どちらでもない」または「いいえ」と回答した学生が合わせて3割以上存在していたことは、今後の学生指導において留意すべき点と考えられる。また、作業療法専攻とともに、学修面にくらべクラブ活動等の充実度が低いことは今後の検討課題である。
リハ・作業	約7割以上の学生が希望する大学に入学できたと回答していた。入学後は100%以上の学生は授業出席率が90%であり、約6割以上の学生が総合的に充実している回答していることは、概ね良好は学生生活を送っていることがうかがえる結果であった。しかし、「どちらでもない」または「いいえ」と回答した学生が合わせて3割以上存在していたことは、今後の学生指導において留意すべき点と考えられる。また、理学療法専攻とともに、学修面にくらべクラブ活動等の充実度が低いことは今後の検討課題である。

<通学についての考察>

看護	自宅から通学する学生の割合は 77.3% であり、学部全体で高く自宅から通学可能な地元の学生が多い。5割以上の学生は通学に1時間以上費やしている。「公共交通機関（バス・電車等）」最も高く、次いで自転車通学者も多く、自宅通学生が多いのが影響していると思われる。自動車も全体の値よりも高い状況である。自転車事故や自動車事故も報告されていることから安全に通学ができるよう交通安全講習会等の出席を促す必要がある。
リハ・理学	昨年と同様に自宅からの通学する学生が多く占めており、その多くは公共交通機関を利用しているものと思われる。また、自転車や徒歩が多い結果は、下宿ように近隣からの通学に加え、前後駅利用者も一部含まれるものと考えられる。通学時間は、看護学科、作業療法専攻と同様に、1～1時間30分未満が多かったが、2時間以上要する学生も3%ほど存在していた。通学に長時間要する学生には、国家試験対策指導や臨床実習においては、一定の配慮が必要になると考えられる。

リハ・作業	昨年と同様に自宅からの通学する学生が多く占めており、その多くは公共交通機関を利用しているものと思われる。また、自転車や徒歩が多い結果は、下宿ように近隣からの通学に加え、前後駅利用者も一部含まれるものと考えられる。通学時間は、看護学科、作業療法専攻と同様に、1～1時間30分未満が多かったが、2時間以上要する学生も3%ほど存在していた。通学に長時間要する学生には、国家試験対策指導や臨床実習においては、一定の配慮が必要になると考えられる。
-------	---

<経済面についての考察>

看護	奨学金を受けている学生は、昨年より減少した。奨学金を受けている学生のうち9割は日本学生支援機構の奨学金だった。お小遣いについては、学部全体では多いほうであるが、女子の平均と多くは同じであり、看護学科の特徴として女子学生の占める割合に影響されていると思われる。
リハ・理学	奨学金を受けていない学生は、昨年に比べ減少していた。学生の小遣いは1～3万円が全体の6割以上を占めており、全体の傾向も昨年度と同様であった。
リハ・作業	奨学金を受けていない学生は、昨年に比べ増加していた。学生の小遣いは、理学療法専攻に比べ1万円未満の割合が多かった。

<アルバイトについての考察>

看護	92%の学生がアルバイトをしている。アルバイトしている中で半数以上の学生は週3日以上アルバイトをしており、1日4～5時間以上働いている。アルバイトの目的の約7割弱は「旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため」であり、学科の特徴として女子学生が多いのも影響していると思われる。
リハ・理学	約9割以上の学生がアルバイトを行っていた。アルバイトの目的は、旅行・レジャー等の資金を得るための最も多かったが、生活費・教養費や学費を目的としている学生が25%存在していた。経済面においても多くの学生が奨学金を利用していることから、学修を継続するためにもアルバイトを継続しなければならない環境にかかる可能性があるため、今後の学生教育においても留意すべき点であると考えられる。
リハ・作業	約8割以上の学生がアルバイトを行っていた。アルバイトの目的は、旅行・レジャー等の資金を得るための最も多かったが、生活費・教養費や学費を目的としている学生が14%存在していた。経済面においても多くの学生が奨学金を利用していることから、学修を継続するためにもアルバイトを継続しなければならない環境にかかる可能性があるため、今後の学生教育においても留意すべき点であると考えられる。

＜クラブ活動/ボランティア活動等についての考察＞

看護	クラブ活動に参加している学生の割合は4割弱で、昨年より減少した。クラブ活動参加のきっかけは、「活動内容が好きまたは興味がある」が最も高かった。参加できない理由は「アルバイトや通学等で時間がない」であった。ボランティア活動においては、12.7%の学生は不定期も含め実施しているが、活動できない理由として「活動したいが時間的に余裕がない」が最も高かった。アルバイト時間、通学時間に時間がかかることが、ボランティア活動を積極的にできないことが推測された。
リハ・理学	クラブ活動に参加している学生は、昨年より減少した。クラブ活動に参加する理由は活動内容が好きまたは興味があるが最も多かった。一方、参加していない学生の多くは、アルバイトは通学で時間がないという理由であった。また、ボランティアについても参加したいが、時間や機会がないという学生が多数存在していた。
リハ・作業	クラブ活動に参加している学生は、昨年より減少した。クラブ活動に参加する理由は活動内容が好きまたは興味があるが最も多かった。一方、参加していない学生の多くは、アルバイトは通学で時間がないという理由であった。また、ボランティアについても参加したいが、時間や機会がないという学生が多数存在していた。

＜学修及び学校生活についての考察＞

看護	予習より復習を行っている学生が多くみられるが、学部の平均からするとどちらも多い結果となった。学習する環境は自宅が最も多く、次いで学内も多くみられる。学生からは学内で自由に学修する環境を整えてほしいという要望も見られる。新校舎になり、学生が学修できる環境も整えているが、4学年すべての学生が満足できるものではない。学修方法としては、一人で学習する学生がほとんどであった。 講義・実習の満足度は他学科と比べやや低い結果であった。医療系の学科ということもあり、カリキュラムの内容や時間割の構成、履修科目の登録時期に対する意見が見られた。キャンパス内での施設に対する要望としては、図書館に対する希望が多くみられたが、建物の老朽化などの設備面での内容であった。 教室の設備については、新校舎にはなったが1学年と演習室は合同校舎となり、移動距離などでの意見が新たに出されるようになった。
リハ・理学	約5割の学生が予習を行なっておらず、作業療法専攻より多かった。効果的な教育を実践するためにも学生に予習を行わせるよう指導を行う必要がある。また、予習に比べ、復讐は行われていたが、その時間数は十分とは言えないものであった。上記のアルバイトを行う時間を考慮しても、日々復讐と予習に当てる時間は十分取れると考えられる。教育・制度に対する不十分点には、授業・試験・成績などの教務情報やカリキュラムの回答が多かった。理学療法専攻は他大学に比べ、長期間の臨床実習を設定しているため、タイトなスケジュールになっており、学生の心理的負担が多いと考えられる。今後、学生とのコミュニケーションを十分に図るよう努める必要があると考えられる。

リハ・作業	約 4 割弱の学生が予習を行なっていなかった。効果的な教育を実践するためにも学生に予習を行わせるよう指導を行う必要がある。また、予習に比べ、復讐は行われていたが、その時間数は十分とは言えないものであった。上記のアルバイトを行う時間を考慮しても、日々復讐と予習に当てる時間は十分取れると考えられる。教育・制度に対する不十分点には、授業・試験・成績などの教務情報やカリキュラムの回答が多かった。作業療法専攻は他大学に比べ、長期間の臨床実習を設定しているため、タイトなスケジュールになっており、学生の心理的負担が多いと考えられる。今後、学生とのコミュニケーションを十分に図るよう努める必要があると考えられる。
-------	--

<健康についての考察>

看護	睡眠時間は 46.9%の学生が約 5～7 時間であった。朝食を摂らない学生は 1 割弱見られたが、他学科よりは多くの学生が朝ごはんを食べていた。「自宅・下宿での自炊」や「持参した弁当やおにぎり」が多かった。自宅通学生が多く、保護者若しくは各自で生活リズムを整え、規則正しく食生活を送っていると推測できる。
リハ・理学	約 7 割以上の学生が 4～7 時間の睡眠をとっていたが、特に臨床実習では一時的に睡眠不足になる傾向があるので、適宜、学生の動向を確認し、対応することが必要である。食事に関しては、多くの学生がほぼ 3 食摂取していたが、睡眠同様に、臨床実習または試験前には不規則な生活になりやすいので、適宜、規則正しい生活を学生に促していく必要がある。
リハ・作業	約 8 割以上の学生が 5～7 時間の睡眠をとっていたが、特に臨床実習では一時的に睡眠不足になる傾向があるので、適宜、学生の動向を確認し、対応することが必要である。食事に関しては、多くの学生がほぼ 3 食摂取していたが、睡眠同様に、臨床実習または試験前には不規則な生活になりやすいので、適宜、規則正しい生活を学生に促していく必要がある。

<その他悩み事の考察>

看護	悩みごとの中では「学習面」に関する内容が最も多く、「金銭面」「性格や能力」「将来の進路」などであった。悩み事を抱えながら大学生活を送っているのがうかがえた。バイトをしていく学生も多くみられることから、学業だけではなくバイトやその他のことに対応していることが推察された。他学科でみられた「就職・将来の進路」について低いという結果は、看護学科の就職のしやすさと関連していると思われる。ただ、今後は自分の志望する病院に必ずしも就職できない場合も増えてきたため、経過を観察していく必要がある。
リハ・理学	悩みごとは、学習面が最も多く、金銭面、進路が上位であった。また、これらの相談相手は、同級生、親、学外の友人が上位を占めていた。教員が相談相手として選ばれていなかったことは、今後の課題である。

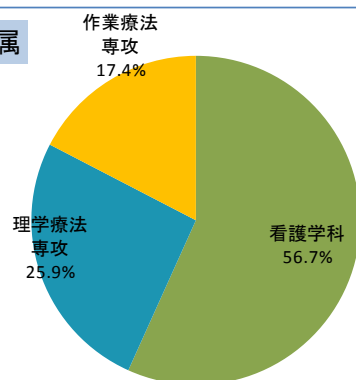
リハ・作業

悩みごとは、学習面が最も多く、金銭面、進路が上位であった。また、性格や能力について悩んでいる学生が一定数存在したことも特徴の一つである。これらの相談相手は、同級生、親、学外の友人が上位を占めていた。教員が相談相手として選ばれていなかったことは、今後の課題である。

2. 2. 学生生活・学修実態調査報告の全データ分析

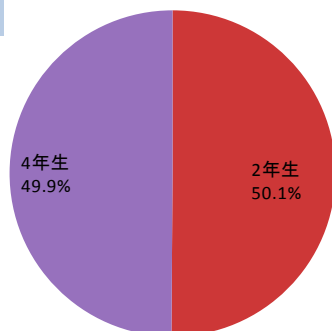
【基本属性】

所属



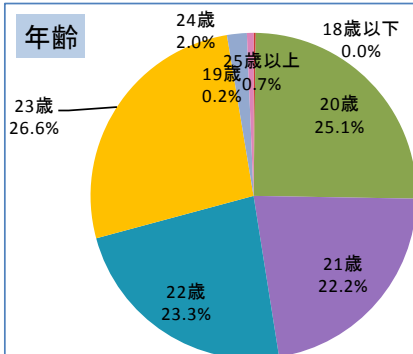
A-01：所属	件数	割合
看護学科	261	56.7%
理学療法専攻	119	25.9%
作業療法専攻	80	17.4%
合計	460	100.0%

学年



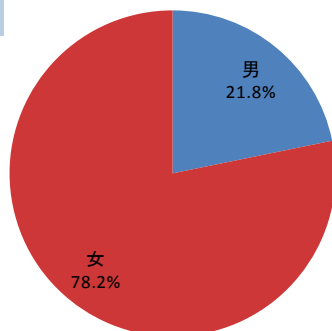
A-02：学年	件数	割合
2年生	230	50.1%
4年生	229	49.9%
合計	459	100.0%

年齢



A-03：年齢	件数	割合
18歳以下	0	0.0%
19歳	1	0.2%
20歳	115	25.1%
21歳	102	22.2%
22歳	107	23.3%
23歳	122	26.6%
24歳	9	2.0%
25歳以上	3	0.7%
合計	459	100.0%

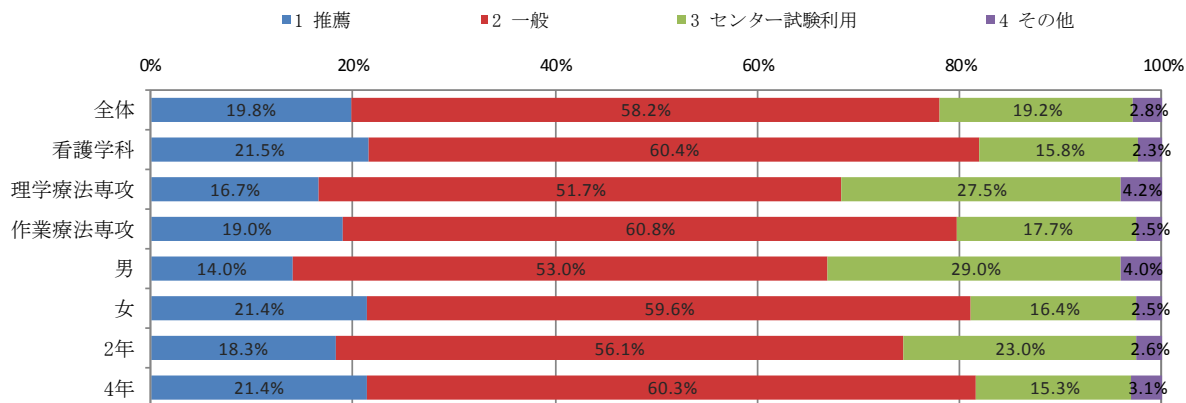
性別



A-04：性別	件数	割合
男	100	21.8%
女	322	78.2%
合計	459	100.0%

<大学全体について>

1. 入試区分



※「センター試験利用」は大学のみ回答

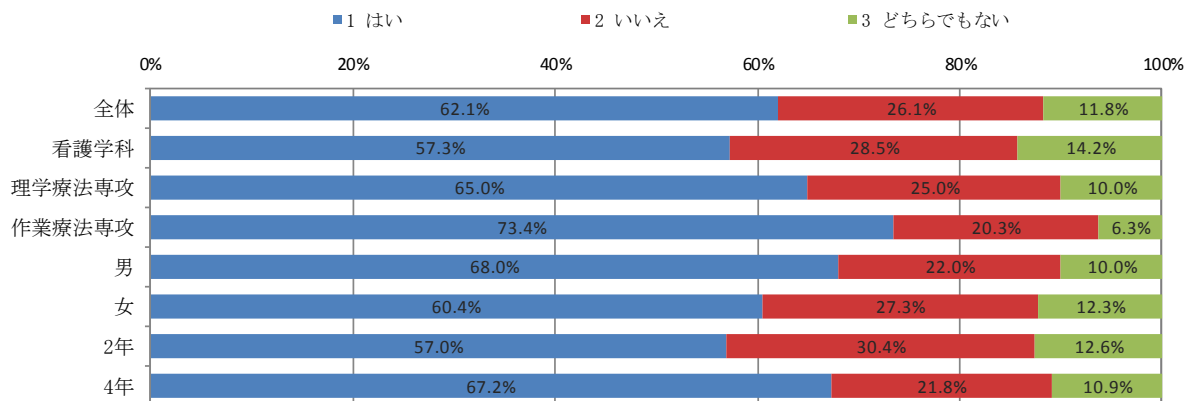
		有効 回 答 者 数	大学の入学方法は			
			推 薦	一 般	セ ン タ ー 試 験 利 用	そ の 他
※「センター試験利用」は大学のみ回答						
全体		459	91	267	88	13
			19.8%	58.2%	19.2%	2.8%
学 科 別	看護学科	260	56	157	41	6
			21.5%	60.4%	15.8%	2.3%
	理学療法専攻	120	20	62	33	5
			16.7%	51.7%	27.5%	4.2%
	作業療法専攻	79	15	48	14	2
			19.0%	60.8%	17.7%	2.5%
性 別	男	100	14	53	29	4
			14.0%	53.0%	29.0%	4.0%
	女	359	77	214	59	9
			21.4%	59.6%	16.4%	2.5%
学 年 別	2年	230	42	129	53	6
			18.3%	56.1%	23.0%	2.6%
	4年	229	49	138	35	7
			21.4%	60.3%	15.3%	3.1%

＜大学全体についての考察：１．入試区分＞

看護	「一般入試」による入学者の割合が 60.4%であり、次いで「推薦」 21.5%、「センター試験利用」 18.8%、「その他」 3.8%であった。その他はアセンブリ入試利用である。
リハ・理学	「一般入試」による入学者の割合が 51.7%と最も多く、次いで「センター試験利用」 27.5%、「推薦」 16.7%、「その他」 4.2%であった。その他はアセンブリ入試利用である。
リハ・作業	「一般入試」による入学者の割合が 60.8%であり、次いで「推薦」 19.0%、「センター試験利用」 17.7%、「その他」 2.5%であった。その他はアセンブリ入試利用である。

<大学全体について>

2. 入学時希望順位



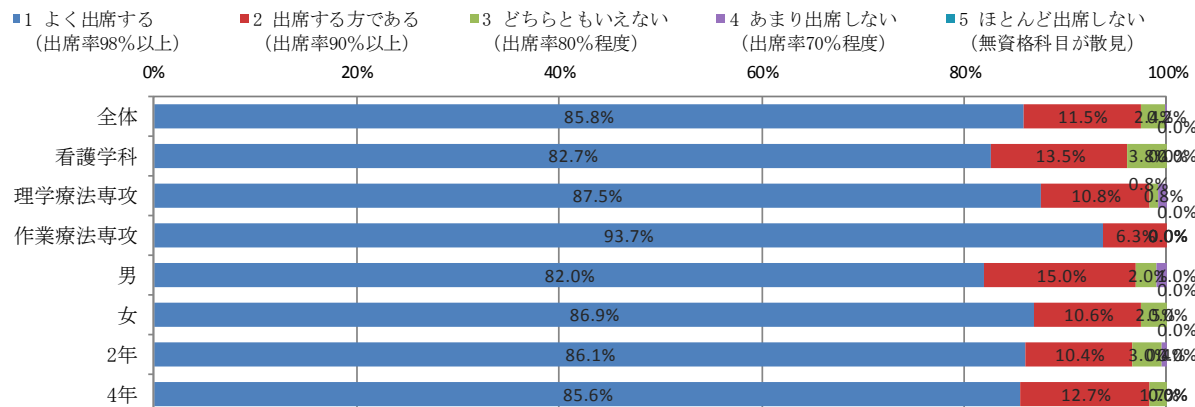
		有効回答者数	希望の大学へ入学できましたか		
			はい	いいえ	どちらでもない
全体		459	285	120	54
			62.1%	26.1%	11.8%
学科別	看護学科	260	149	74	37
			57.3%	28.5%	14.2%
	理学療法専攻	120	78	30	12
			65.0%	25.0%	10.0%
	作業療法専攻	79	58	16	5
			73.4%	20.3%	6.3%
性別	男	100	68	22	10
			68.0%	22.0%	10.0%
	女	359	217	98	44
			60.4%	27.3%	12.3%
学年別	2年	230	131	70	29
			57.0%	30.4%	12.6%
	4年	229	154	50	25
			67.2%	21.8%	10.9%

＜大学全体についての考察：2. 入学希望順位＞

看護	希望大学であると回答した学生の割合が 57.3%であり、学部平均より低かった。昨年度の割合（52.9%）より高かった。
リハ・理学	希望大学であると回答した学生の割合が 65.0%と最も多く、学部平均より高かったが、昨年度の希望大学と回答した割合（69.8%）より低かった。また、希望大学ではないと回答した学生の割合は 25.0%、どちらでもないと回答した学生の割合は 10.0%であった。
リハ・作業	希望大学であると回答した学生の割合が 73.4%と最も多く、学部平均より高く、昨年度の希望大学と回答した割合（62.1%）よりも高かった。また、希望大学ではないと回答した学生の割合は 20.3%、どちらでもないと回答した学生の割合は 6.3%であった。

<大学全体について>

3. 授業出席率



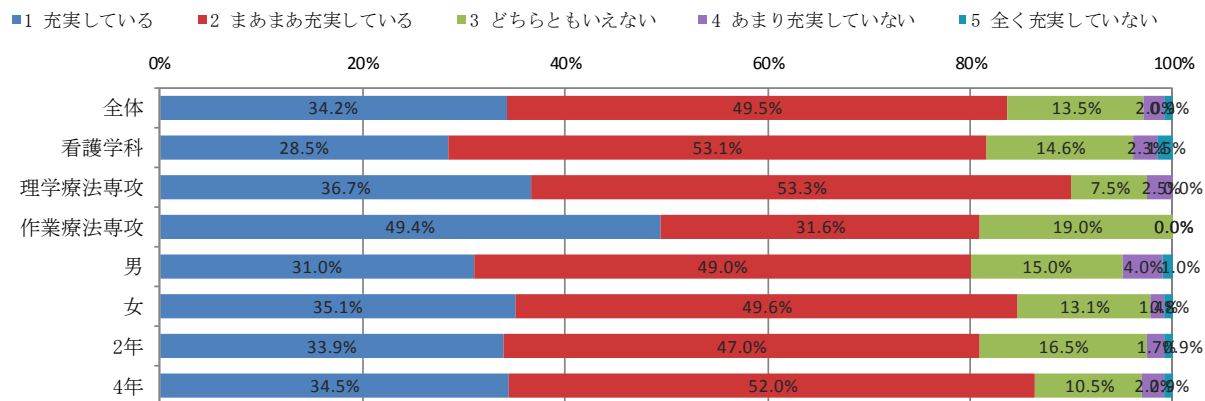
		有効回答者数	授業の出席状況について				
			よく出席する (出席率98%以上)	出席する方である (出席率90%以上)	どちらともいえない (出席率80%程度)	あまり出席しない (出席率70%程度)	ほとんど出席しない (無資格科目が散見)
全体		459	394	53	11	1	0
			85.8%	11.5%	2.4%	0.2%	0.0%
学科別	看護学科	260	215	35	10	0	0
			82.7%	13.5%	3.8%	0.0%	0.0%
	理学療法専攻	120	105	13	1	1	0
			87.5%	10.8%	0.8%	0.8%	0.0%
	作業療法専攻	79	74	5	0	0	0
			93.7%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
性別	男	100	82	15	2	1	0
			82.0%	15.0%	2.0%	1.0%	0.0%
	女	359	312	38	9	0	0
			86.9%	10.6%	2.5%	0.0%	0.0%
学年別	2年	230	198	24	7	1	0
			86.1%	10.4%	3.0%	0.4%	0.0%
	4年	229	196	29	4	0	0
			85.6%	12.7%	1.7%	0.0%	0.0%

＜大学全体についての考察：3. 授業出席率＞

看護	「よく出席する（出席率 98%以上）」と回答した学生の割合が 82.7%であった。次いで、「出席するほうである（出席率 90%以上）」が 13.5%であり、出席率 90%以上の学生の割合は 96.2%であった。「どちらともいえない」が 3.8%見られた。
リハ・理学	「よく出席する（出席率 98%以上）」と回答した学生の割合が 87.5%であった。次いで、「出席するほうである（出席率 90%以上）」が 10.8%であり、出席率 90%以上の学生の割合は 98.3%であった。「どちらともいえない」、「あまり出席しない」がともに 0.8%認められた。
リハ・作業	「よく出席する（出席率 98%以上）」と回答した学生の割合が 93.7%であった。次いで、「出席するほうである（出席率 90%以上）」が 6.3%であり、出席率 90%以上の学生の割合は 100%であった。

<大学全体について>

4. 学生生活充実度…学修面



		有効回答者数	学生生活の充実度について…学修面では				
			充実している	まあまあ充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	全く充実していない
全体		459	157	227	62	9	4
			34.2%	49.5%	13.5%	2.0%	0.9%
学科別	看護学科	260	74	138	38	6	4
			28.5%	53.1%	14.6%	2.3%	1.5%
	理学療法専攻	120	44	64	9	3	0
			36.7%	53.3%	7.5%	2.5%	0.0%
	作業療法専攻	79	39	25	15	0	0
			49.4%	31.6%	19.0%	0.0%	0.0%
性別	男	100	31	49	15	4	1
			31.0%	49.0%	15.0%	4.0%	1.0%
	女	359	126	178	47	5	3
			35.1%	49.6%	13.1%	1.4%	0.8%
学年別	2年	230	78	108	38	4	2
			33.9%	47.0%	16.5%	1.7%	0.9%
	4年	229	79	119	24	5	2
			34.5%	52.0%	10.5%	2.2%	0.9%

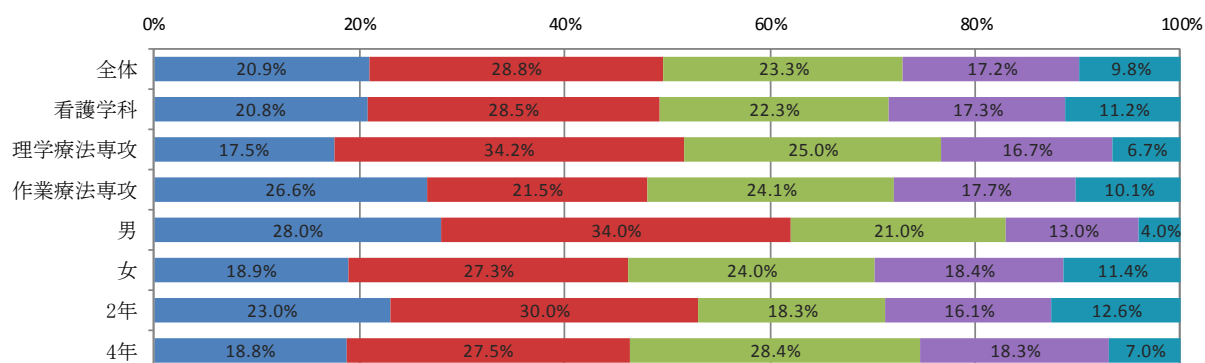
＜大学全体についての考察：4 学生生活充実度…学修面＞

看護	「充実している」が 28.5%、「まあまあ充実している」が 53.1%で合計 81.6%であった。「あまり充実していない」と「全く充実していない」の合計は 3.8%であり、昨年度（5.7%）より減少した。
リハ・理学	「充実している」が 36.7%、「まあまあ充実している」が 28.5%と学習面において充実と回答した学生の合計は 65.2%であった。また、「あまり充実していない」は 2.5%を認めたが、「全く充実していない」は 0%であり、昨年度（0.9%）より減少していた。
リハ・作業	「充実している」が 49.4%、「まあまあ充実している」が 31.6%と学習面において充実と回答した学生の合計は 81.0%であった。また、「どちらともいえない」は 19.0%を認めたが、「あまり充実していない」、「全く充実していない」はともに 0%であり、昨年度（両合計 3.8%）より減少していた。

<大学全体について>

5. 学生生活充実度…クラブ等

■1 充実している ■2 まあまあ充実している ■3 どちらともいえない ■4 あまり充実していない ■5 全く充実していない



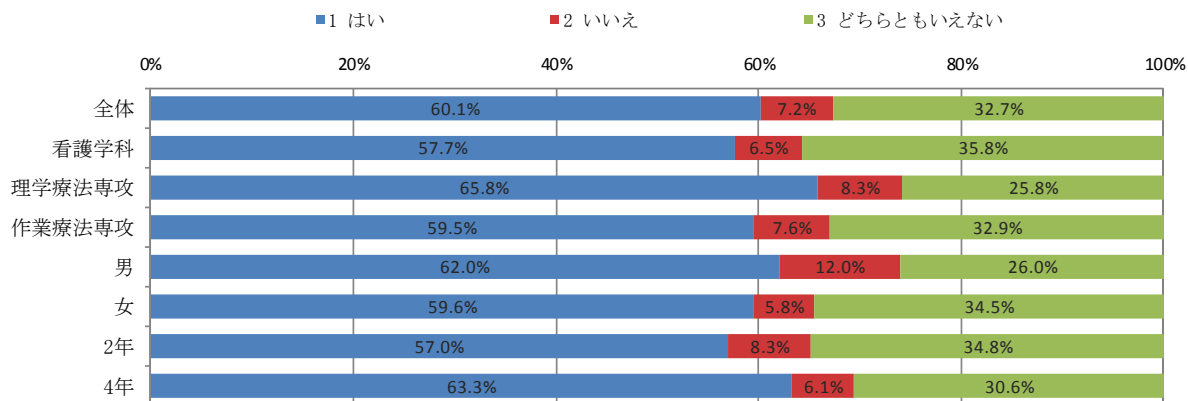
		有効回答者数	学生生活の充実度について…クラブ・学外活動など				
			充実している	まあまあ充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	全く充実していない
全体		459	96	132	107	79	45
			20.9%	28.8%	23.3%	17.2%	9.8%
学科別	看護学科	260	54	74	58	45	29
			20.8%	28.5%	22.3%	17.3%	11.2%
	理学療法専攻	120	21	41	30	20	8
			17.5%	34.2%	25.0%	16.7%	6.7%
	作業療法専攻	79	21	17	19	14	8
			26.6%	21.5%	24.1%	17.7%	10.1%
性別	男	100	28	34	21	13	4
			28.0%	34.0%	21.0%	13.0%	4.0%
	女	359	68	98	86	66	41
			18.9%	27.3%	24.0%	18.4%	11.4%
学年別	2年	230	53	69	42	37	29
			23.0%	30.0%	18.3%	16.1%	12.6%
	4年	229	43	63	65	42	16
			18.8%	27.5%	28.4%	18.3%	7.0%

＜大学全体についての考察：5. 学生生活充実度…クラブ等＞

看護	「充実している」が 20.8%、「まあまあ充実している」が 28.5%で合計 49.3%であった。「あまり充実していない」と「全く充実していない」を合わせると 28.5%を占め、昨年度（24.6%）より増加した。学習面の充実度に比べ低い結果であり、改善の余地があると考ええる。
リハ・理学	「充実している」が 17.5%、「まあまあ充実している」が 34.2%と充実を回答した学生の合計は 51.7%であった。また、「あまり充実していない」、「全く充実していない」の合計は 23.4%を占め、昨年度（20.7%）より増加した。学修面の充実度に比べ低い結果であり、改善の余地があると考えられる。
リハ・作業	「充実している」が 26.6%、「まあまあ充実している」が 21.5%と充実を回答した学生の合計は 48.1%であった。また、「あまり充実していない」、「全く充実していない」の合計は 27.8%を占め、昨年度（25.2%）より増加した。学修面の充実度に比べ低い結果であり、改善の余地があると考えられる。

<大学全体について>

6. 学生生活充実度…総合



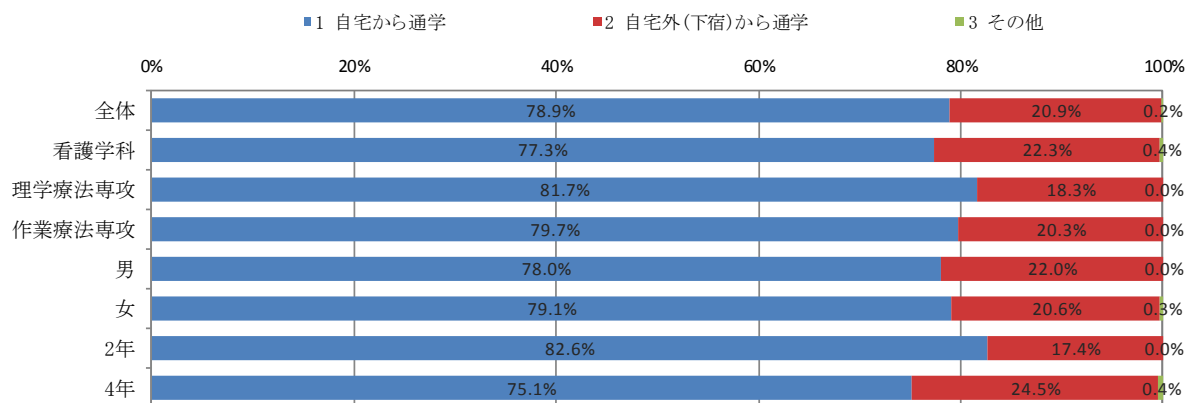
		有効回答者数	総合的にみて学生生活に満足していますか		
			はい	いいえ	どちらともいえない
全体		459	276 60.1%	33 7.2%	150 32.7%
学科別	看護学科	260	150 57.7%	17 6.5%	93 35.8%
			理学療法専攻	120	79 65.8%
	作業療法専攻	79			47 59.5%
			男	100	62 62.0%
	女	359			214 59.6%
			学年別	2年	230
4年	229	145 63.3%			

＜大学全体についての考察：6. 学生生活充実度…総合＞

看護	「はい」が 57.7%であった。「いいえ」は 6.5%で昨年より低く、「どちらともいえない」が 35.8%が上昇したが、概ね満足できていると思われる。
リハ・理学	「はい」が 65.8%で昨年(65.5%)とほぼ同様であった。「いいえ」は 8.3%で昨年(10.3%)より低かった。
リハ・作業	「はい」が 59.5%で昨年(65.0%)より低かった。「いいえ」は 7.6%で昨年(11.7)より低く、「どちらともいえない」の回答が 32.9%（昨年 23.3%）と増加した。

<通学について>

7. 通学形態



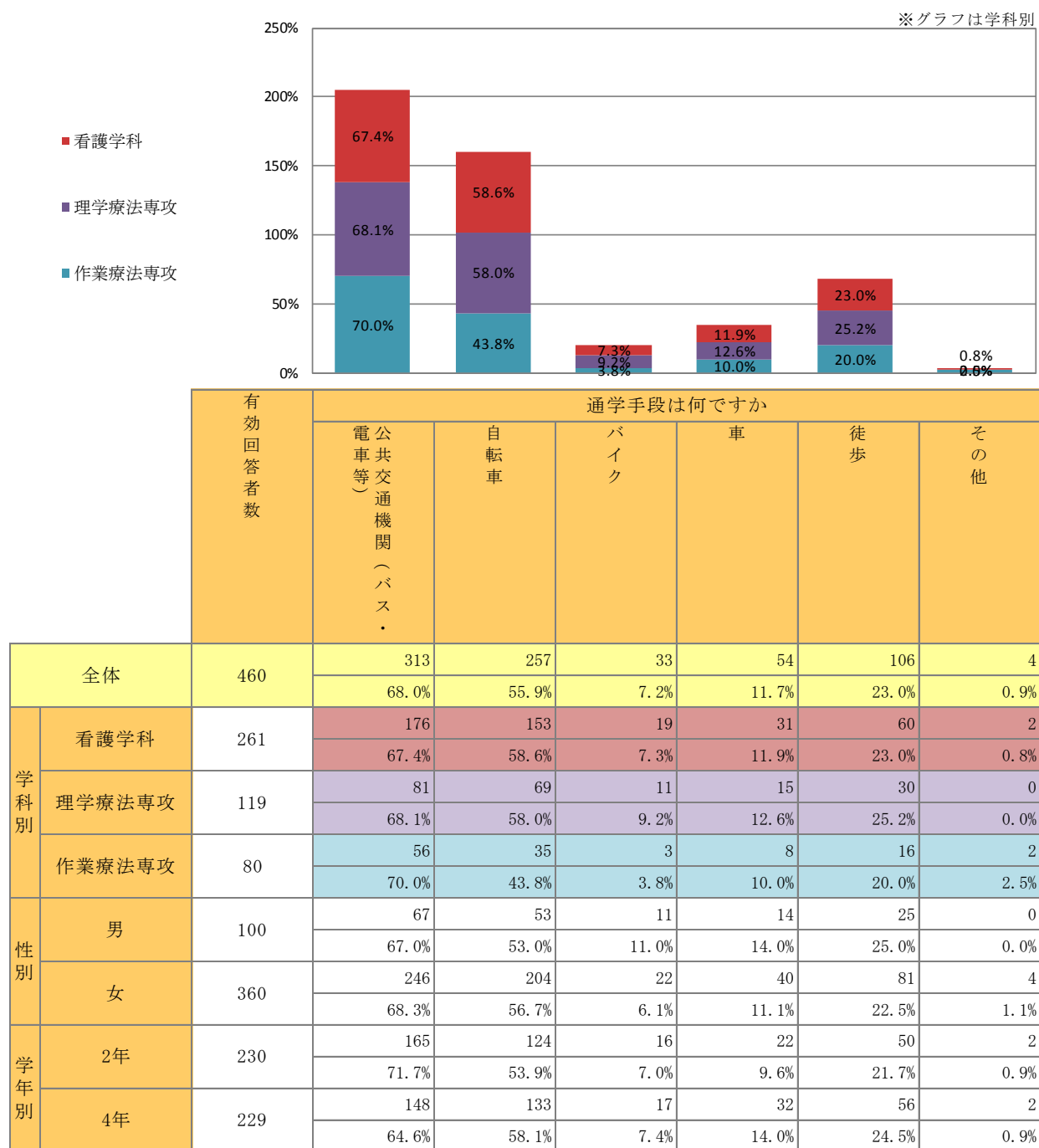
		有効回答者数	通学の住居について		
			自宅から通学	自宅外（下宿）から通学	その他
全体		459	362	96	1
			78.9%	20.9%	0.2%
学科別	看護学科	260	201	58	1
			77.3%	22.3%	0.4%
	理学療法専攻	120	98	22	0
			81.7%	18.3%	0.0%
	作業療法専攻	79	63	16	0
			79.7%	20.3%	0.0%
性別	男	100	78	22	0
			78.0%	22.0%	0.0%
	女	359	284	74	1
			79.1%	20.6%	0.3%
学年別	2年	230	190	40	0
			82.6%	17.4%	0.0%
	4年	229	172	56	1
			75.1%	24.5%	0.4%

＜通学についての考察：7. 通学形態＞

看護	「自宅から通学」が 77.3%（昨年 75.0%）で、「自宅外（下宿）から通学」が 22.3% であり、自宅通学者は昨年より増加した。自動車通学者は 11.9%であった。
リハ・理学	「自宅から通学」が 81.7%（昨年 69.8%）で、「自宅外（下宿）から通学」が 18.3% であり、自宅通学者は昨年より増加した。
リハ・作業	「自宅から通学」が 79.7%（昨年 72.8%）で、「自宅外（下宿）から通学」が 20.3% であり、自宅通学者は昨年より増加した。

<通学について>

8. 通学手段（複数回答） - 学科別 -

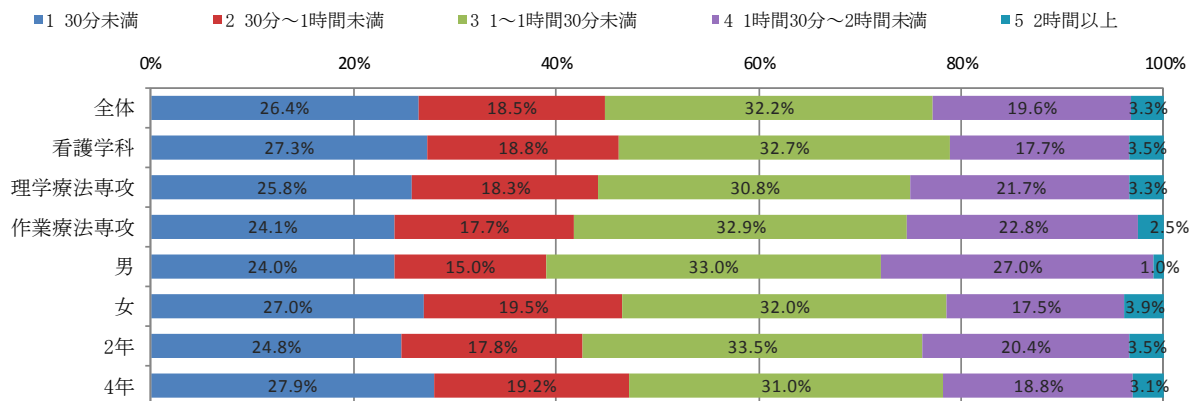


＜通学についての考察：8. 通学手段（複数回答）―学科別―＞

看護	「公共交通機関（バス・電車等）」が 67.4%（昨年 61.9%）と最も高く、次いで自転車 58.6%（昨年 48.8%）、「徒歩」 23.0%（昨年 25.8%）であった。自宅通学生が多いのが影響していると思われる。
リハ・理学	「公共交通機関（バス・電車等）」が 68.1%（昨年 57.8%）と最も高く、次いで自転車 58.0%（昨年 59.9%）、「徒歩」 25.2%（昨年 21.6%）であった。昨年と比べ、「公共交通機関（バス・電車等）」が増加した傾向であった。
リハ・作業	「公共交通機関（バス・電車等）」が 70.0%（昨年 63.1%）と最も高く、次いで自転車 43.8%（昨年 60.2%）、「徒歩」 20.0%（昨年 31.1%）であった。昨年と比べ、自転車が増加し、徒歩が減少した傾向であった。

<通学について>

9. 通学時間



			通学の所要時間（片道）について				
			30分未満	30分～1時間未満	1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上
有効回答者数							
全体		459	121	85	148	90	15
			26.4%	18.5%	32.2%	19.6%	3.3%
学科別	看護学科	260	71	49	85	46	9
			27.3%	18.8%	32.7%	17.7%	3.5%
	理学療法専攻	120	31	22	37	26	4
			25.8%	18.3%	30.8%	21.7%	3.3%
性別	作業療法専攻	79	19	14	26	18	2
			24.1%	17.7%	32.9%	22.8%	2.5%
	男	100	24	15	33	27	1
			24.0%	15.0%	33.0%	27.0%	1.0%
学年別	女	359	97	70	115	63	14
			27.0%	19.5%	32.0%	17.5%	3.9%
	2年	230	57	41	77	47	8
			24.8%	17.8%	33.5%	20.4%	3.5%
4年	229		64	44	71	43	7
			27.9%	19.2%	31.0%	18.8%	3.1%

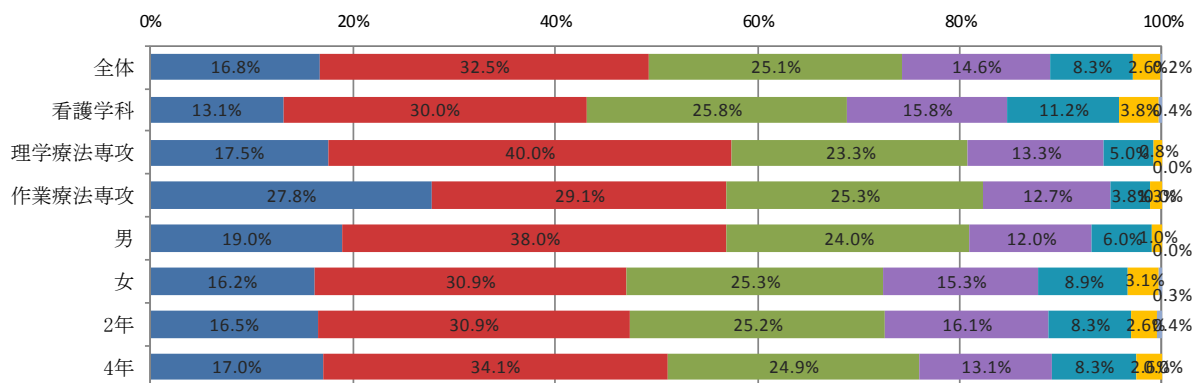
＜通学についての考察：9. 通学時間＞

看護	「1～1時間30分未満」が32.7%と最も多く、次いで「30分未満」27.3%、「30分～1時間未満」18.8%、「1時間30分～2時間未満」17.7%であった。「2時間以上」は3.5%であった。
リハ・理学	「1～1時間30分未満」が30.8%と最も多く、次いで「30分未満」25.8%、「1時間30分～2時間未満」21.7%、「30分～1時間未満」18.3%であった。「2時間以上」は3.3%であった。
リハ・作業	「1～1時間30分未満」が32.9%と最も多く、次いで「30分未満」24.1%、「1時間30分～2時間未満」22.8%、「30分～1時間未満」17.7%であった。「2時間以上」は2.5%であった。

<経済面について>

10. お小遣い

■ 1 1万円未満 ■ 2 1～2万円未満 ■ 3 2～3万円未満 ■ 4 3～4万円未満 ■ 5 4～5万円未満 ■ 6 5～10万円未満 ■ 7 10万円以上



		有効回答者数	1か月の趣味や娯楽費等に掛ける費用はいくらですか						
			1万円未満	1 ～ 2万円未満	2 ～ 3万円未満	3 ～ 4万円未満	4 ～ 5万円未満	5 ～ 10万円未満	10万円以上
全体		459	77	149	115	67	38	12	1
			16.8%	32.5%	25.1%	14.6%	8.3%	2.6%	0.2%
学科別	看護学科	260	34	78	67	41	29	10	1
			13.1%	30.0%	25.8%	15.8%	11.2%	3.8%	0.4%
	理学療法専攻	120	21	48	28	16	6	1	0
			17.5%	40.0%	23.3%	13.3%	5.0%	0.8%	0.0%
	作業療法専攻	79	22	23	20	10	3	1	0
			27.8%	29.1%	25.3%	12.7%	3.8%	1.3%	0.0%
性別	男	100	19	38	24	12	6	1	0
			19.0%	38.0%	24.0%	12.0%	6.0%	1.0%	0.0%
	女	359	58	111	91	55	32	11	1
			16.2%	30.9%	25.3%	15.3%	8.9%	3.1%	0.3%
学年別	2年	230	38	71	58	37	19	6	1
			16.5%	30.9%	25.2%	16.1%	8.3%	2.6%	0.4%
	4年	229	39	78	57	30	19	6	0
			17.0%	34.1%	24.9%	13.1%	8.3%	2.6%	0.0%

＜経済面についての考察：10. お小遣い＞

看護	「1～2 万円」が 30.0%（昨年 26.2%）と最も高く、次いで「2～3 万円未満」25.8%「3～4 万円未満」15.8%、「4～5 万円未満」11.2%であった。「5～10 万円未満」「10 万以上」と回答する学生が 4.2%見られた。
リハ・理学	「1～2 万円」が 40.0%と最も高く、次いで「2～3 万円未満」23.3%、「1 万円未満」17.5%、「3～4 万円未満」13.3%、「4～5 万円未満」5.0%で、昨年と同様の傾向であった。
リハ・作業	「1～2 万円」が 29.1%と最も高く、次いで「1 万円未満」27.8%、「2～3 万円未満」25.3%、「3～4 万円未満」12.7%、「4～5 万円未満」3.8%であった。昨年に比べ、「1～2 万円」が減少した。

<経済面について>

11. 奨学金（複数回答） - 学科別 -



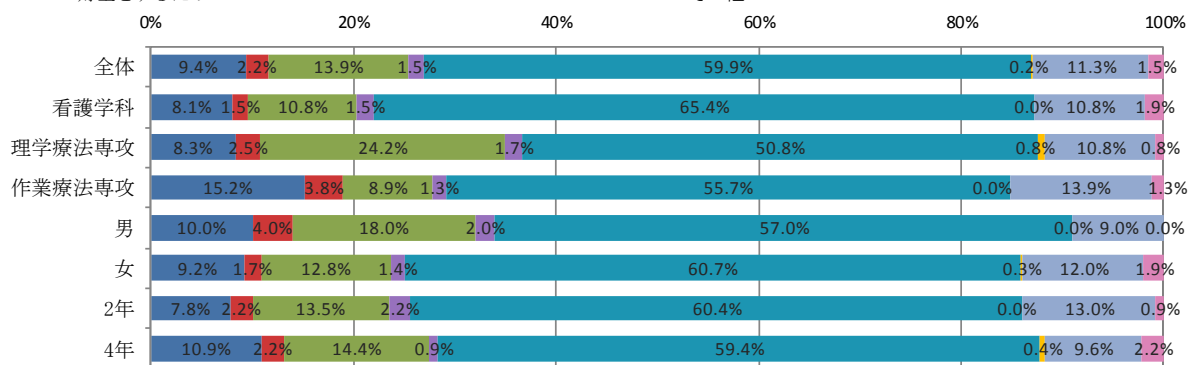
＜経済面についての考察：11. 奨学金（複数回答）―学科別―＞

看護	何らかの奨学金を受けている学生は 23.0%（昨年 27.9%）であり、昨年より減少した。奨学金を受けている学生のうち、約 92%が日本学生支援機構の奨学金を受けている学生であった。
リハ・理学	何らかの奨学金を受けている学生は 22.7%（昨年 30.2%）であり、昨年より減少した。奨学金を受けている学生のうち、日本学生支援機構の奨学金を受けている学生が最も多かった。
リハ・作業	何らかの奨学金を受けている学生は 33.7%（昨年 24.3%）であり、昨年より増加した。奨学金を受けている学生は、すべて日本学生支援機構の奨学金であった。

<アルバイトについて>

12. アルバイト有無と目的

- 1 していない
- 3 生活費・教養費を得るため
- 5 旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため
- 7 貯金をするため
- 2 学費を得るため
- 4 クラブ活動費を得るため
- 6 耐久消費財（電化用品、家具など）を購入するため
- 8 その他



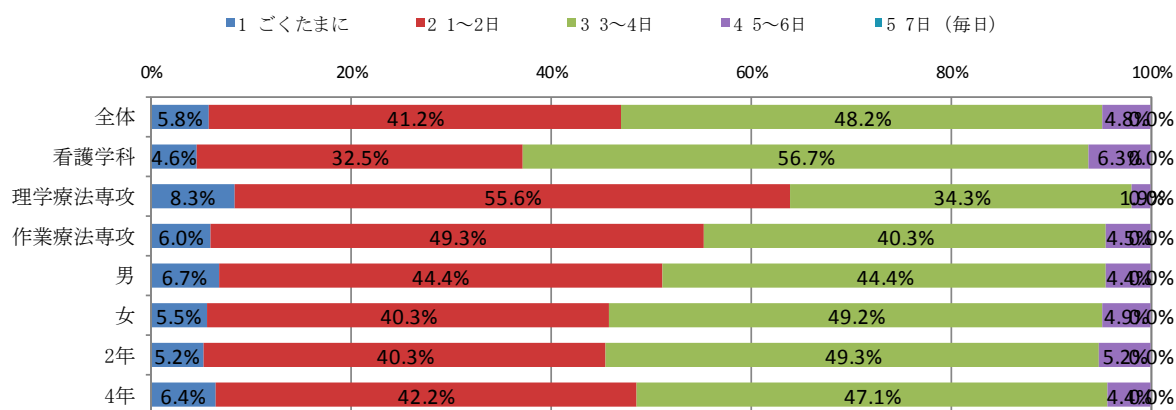
		有効回答者数	現在のアルバイトの有無と目的について							
			していない	学費を得るため	生活費・教養費を得るため	クラブ活動費を得るため	旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため	品、家具など）を購入するため	耐久消費財（電化用品）を購入するため	貯金をするため
全体		459	43	10	64	7	275	1	52	7
			9.4%	2.2%	13.9%	1.5%	59.9%	0.2%	11.3%	1.5%
学科別	看護学科	260	21	4	28	4	170	0	28	5
			8.1%	1.5%	10.8%	1.5%	65.4%	0.0%	10.8%	1.9%
	理学療法専攻	120	10	3	29	2	61	1	13	1
			8.3%	2.5%	24.2%	1.7%	50.8%	0.8%	10.8%	0.8%
	作業療法専攻	79	12	3	7	1	44	0	11	1
			15.2%	3.8%	8.9%	1.3%	55.7%	0.0%	13.9%	1.3%
性別	男	100	10	4	18	2	57	0	9	0
			10.0%	4.0%	18.0%	2.0%	57.0%	0.0%	9.0%	0.0%
	女	359	33	6	46	5	218	1	43	7
			9.2%	1.7%	12.8%	1.4%	60.7%	0.3%	12.0%	1.9%
学年別	2年	230	18	5	31	5	139	0	30	2
			7.8%	2.2%	13.5%	2.2%	60.4%	0.0%	13.0%	0.9%
	4年	229	25	5	33	2	136	1	22	5
			10.9%	2.2%	14.4%	0.9%	59.4%	0.4%	9.6%	2.2%

＜アルバイトについての考察：12. アルバイトの有無と目的＞

看護	アルバイトについて「していない」と回答した学生は 8.1%（昨年 7.8%）であり、ほとんどの学生は何らかのアルバイトをしている。アルバイトの目的としては「旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため」が 65.4%（昨年 73.0%）と他学科に比べ 15%以上高い、次いで「生活費・教養費を得るため」「貯金をするため」1.08%であった。「学費を得るため」は 1.5%であった。
リハ・理学	アルバイトについて「していない」と回答した学生は 8.3%（昨年 11.3%）であり、ほとんどの学生は何らかのアルバイトをしていた。アルバイトの目的は「旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため」が 50.8%（昨年 61.7%）と高く、次いで「生活費・教養費を得るため」24.2%、「貯金をするため」10.8%であった。「学費を得るため」は 2.5%で昨年より増加した。
リハ・作業	アルバイトについて「していない」と回答した学生は 15.2%（昨年 28.2%）であり、ほとんどの学生は何らかのアルバイトをしていた。アルバイトの目的は「旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため」が 55.7%（昨年 41.7%）と高く、次いで「貯金をするため」13.9%、「生活費・教養費を得るため」8.9%であった。「学費を得るため」は 3.8%で昨年より減少した。

<アルバイトについて>

13. アルバイト日数



※アルバイトをしている人のみ回答

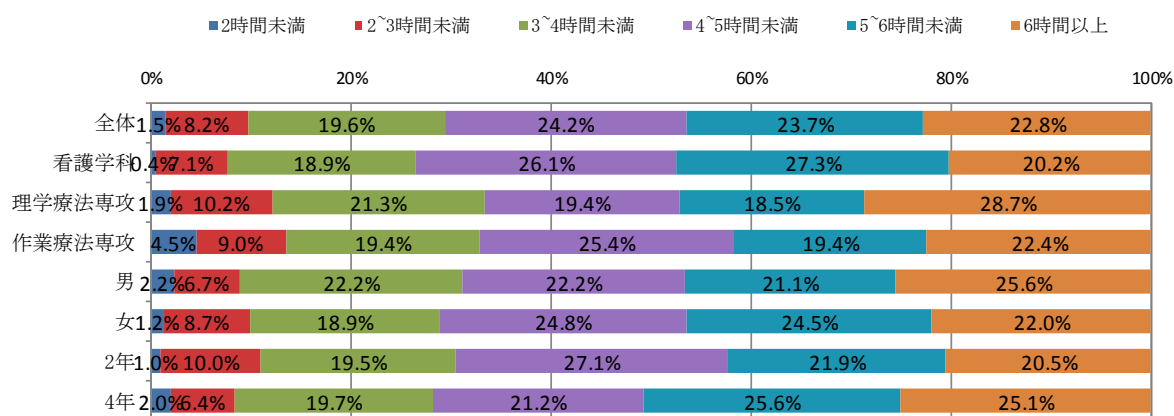
※アルバイトをしている人のみ回答		有効回答者数	アルバイトは1週間に何日しますか					
			ごくたまに	1 ～ 2 日	3 ～ 4 日	5 ～ 6 日	7 日 (毎日)	
全体		415	24	171	200	20	0	
			5.8%	41.2%	48.2%	4.8%	0.0%	
学科別	看護学科	240	11	78	136	15	0	
			4.6%	32.5%	56.7%	6.3%	0.0%	
	理学療法専攻	108	9	60	37	2	0	
			8.3%	55.6%	34.3%	1.9%	0.0%	
	作業療法専攻	67	4	33	27	3	0	
			6.0%	49.3%	40.3%	4.5%	0.0%	
性別	男	90	6	40	40	4	0	
			6.7%	44.4%	44.4%	4.4%	0.0%	
	女	325	18	131	160	16	0	
			5.5%	40.3%	49.2%	4.9%	0.0%	
学年別	2年	211	11	85	104	11	0	
			5.2%	40.3%	49.3%	5.2%	0.0%	
	4年	204	13	86	96	9	0	
			6.4%	42.2%	47.1%	4.4%	0.0%	

＜アルバイトについての考察：13. アルバイト日数＞

看護	週に「3～4日」と答えた学生の割合が 56.7%（昨年 48.9%）と最も高く、次いで「1～2日」32.5%であった。「5～6日」と答えた学生は 6.3%であった。学部平均と比べると、3日以上と答えた学生の割合は高かった。学習面への影響が懸念される。
リハ・理学	週に「1～2日」と答えた学生の割合が 55.6%（昨年 58.3%）と最も高く、次いで「3～4日」34.3%であった。「5～6日」と答えた学生は 1.9%であった。
リハ・作業	週に「1～2日」と答えた学生の割合が 49.3%（昨年 45.9%）と最も高く、次いで「3～4日」40.3%であった。「5～6日」と答えた学生は 4.5%であった。

<アルバイトについて>

14. アルバイト時間



※アルバイトをしている人のみ回答		有効回答者数	アルバイトは、主に一日あたり何時間していますか					
			2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満	5～6時間未満	6時間以上
全体		413	6	34	81	100	98	94
			1.5%	8.2%	19.6%	24.2%	23.7%	22.8%
学科別	看護学科	238	1	17	45	62	65	48
			0.4%	7.1%	18.9%	26.1%	27.3%	20.2%
	理学療法専攻	108	2	11	23	21	20	31
			1.9%	10.2%	21.3%	19.4%	18.5%	28.7%
	作業療法専攻	67	3	6	13	17	13	15
			4.5%	9.0%	19.4%	25.4%	19.4%	22.4%
性別	男	90	2	6	20	20	19	23
			2.2%	6.7%	22.2%	22.2%	21.1%	25.6%
	女	323	4	28	61	80	79	71
			1.2%	8.7%	18.9%	24.8%	24.5%	22.0%
学年別	2年	210	2	21	41	57	46	43
			1.0%	10.0%	19.5%	27.1%	21.9%	20.5%
	4年	203	4	13	40	43	52	51
			2.0%	6.4%	19.7%	21.2%	25.6%	25.1%

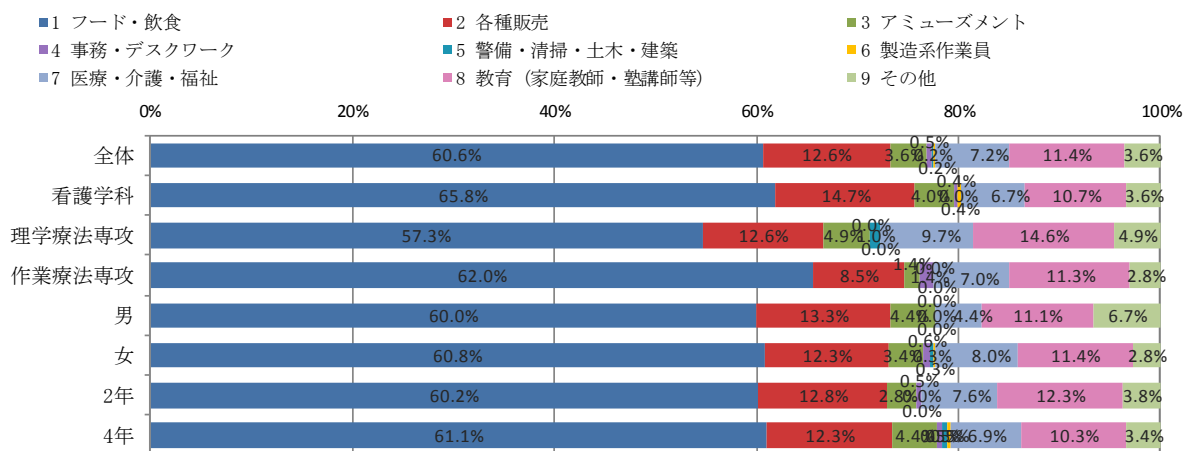
※アルバイトをしている人のみ回答

＜アルバイトについての考察：14. アルバイト時間＞

看護	1日あたり「5～6時間未満」と答えた学生の割合が27.3%と最も高く、次いで「4～5時間未満」26.1%、「6時間以上」20.2%であった。
リハ・理学	1日あたり「6時間以上」と答えた学生の割合が28.7%と最も高く、次いで「3～4時間未満」21.3%、「4～5時間未満」19.4%であった。
リハ・作業	1日あたり「4～5時間未満」と答えた学生の割合が25.4%と最も高く、次いで「6時間以上」22.4%、「3～4時間未満」「5～6時間未満」がともに19.4%であった。

<アルバイトについて>

15. アルバイト職種



※アルバイトをしている人のみ回答

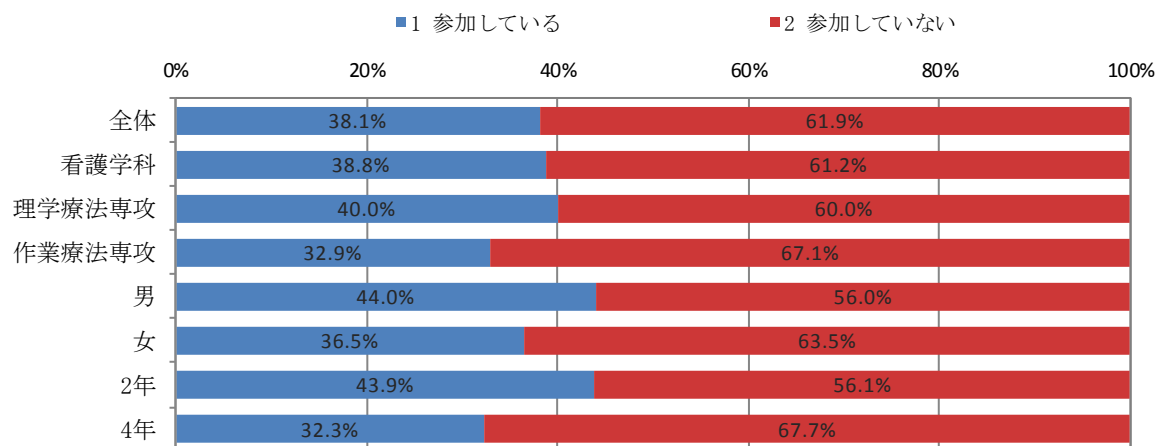
		有効回答者数	アルバイトの主な職種								
			フード・飲食	各種販売	アミューズメント	事務・デスクワーク	警備・清掃・土木・建築	製造系作業員	医療・介護・福祉	教育（家庭教師・塾講師等）	その他
※アルバイトをしている人のみ回答											
全体		414	251	52	15	2	1	1	30	47	15
			60.6%	12.6%	3.6%	0.5%	0.2%	0.2%	7.2%	11.4%	3.6%
学科別	看護学科	225	148	33	9	1	0	1	15	24	8
			65.8%	14.7%	4.0%	0.4%	0.0%	0.4%	6.7%	10.7%	3.6%
	理学療法専攻	103	59	13	5	0	1	0	10	15	5
			57.3%	12.6%	4.9%	0.0%	1.0%	0.0%	9.7%	14.6%	4.9%
	作業療法専攻	71	44	6	1	1	0	0	5	8	2
			62.0%	8.5%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	7.0%	11.3%	2.8%
性別	男	90	54	12	4	0	0	0	4	10	6
			60.0%	13.3%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	11.1%	6.7%
	女	324	197	40	11	2	1	1	26	37	9
			60.8%	12.3%	3.4%	0.6%	0.3%	0.3%	8.0%	11.4%	2.8%
学年別	2年	211	127	27	6	1	0	0	16	26	8
			60.2%	12.8%	2.8%	0.5%	0.0%	0.0%	7.6%	12.3%	3.8%
	4年	203	124	25	9	1	1	1	14	21	7
			61.1%	12.3%	4.4%	0.5%	0.5%	0.5%	6.9%	10.3%	3.4%

＜アルバイトについての考察：15. アルバイト職種＞

看護	「フード・飲食」が65.8%と最も高く、次いで「各種販売」14.7%、「教育（家庭教師・塾講師等）」10.7%であった。昨年とほぼ同じであった。
リハ・理学	「フード・飲食」が57.3%と最も高く、次いで「教育（家庭教師・塾講師等）」14.6%、「各種販売」12.6%であった。また、「医療・介護・福祉」が9.7%であった。
リハ・作業	「フード・飲食」が62.0%と最も高く、次いで「教育（家庭教師・塾講師等）」11.3%、「各種販売」8.5%であった。また、「医療・介護・福祉」が7.0%であった。

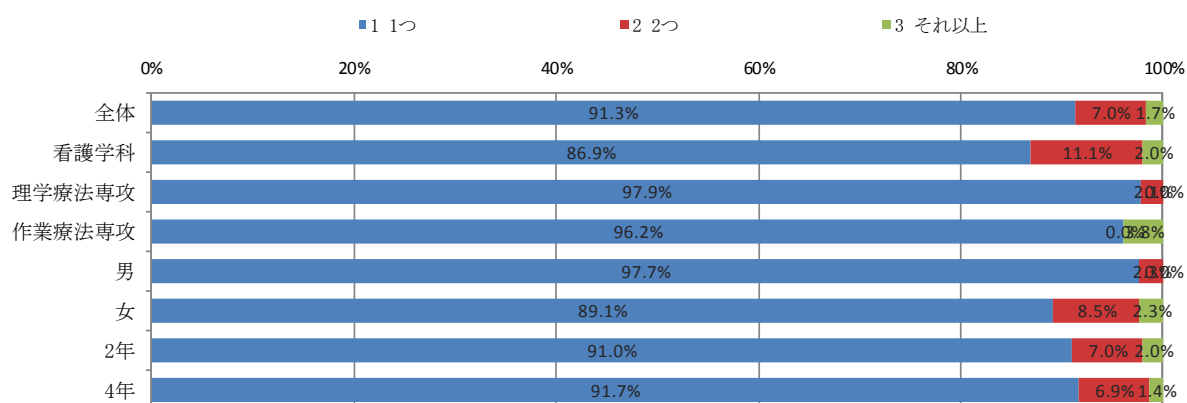
<クラブ活動/ボランティア活動等について>

16-1. クラブ活動参加有無



		有効 回答者 数	あなたはクラブ活動に参加していますか	
			参 加 し て い る	参 加 し て い ない
全体		459	175	284
			38.1%	61.9%
学 科 別	看護学科	260	101	159
			38.8%	61.2%
	理学療法専攻	120	48	72
			40.0%	60.0%
	作業療法専攻	79	26	53
			32.9%	67.1%
性 別	男	100	44	56
			44.0%	56.0%
	女	359	131	228
			36.5%	63.5%
学 年 別	2年	230	101	129
			43.9%	56.1%
	4年	229	74	155
			32.3%	67.7%

16-2. クラブ活動参加数



		有効回答者数	いくつのクラブに所属していますか		
			1つ	2つ	それ以上
※クラブ活動に参加している人のみ回答					
全体		172	157	12	3
			91.3%	7.0%	1.7%
学科別	看護学科	99	86	11	2
			86.9%	11.1%	2.0%
	理学療法専攻	47	46	1	0
			97.9%	2.1%	0.0%
性別	作業療法専攻	26	25	0	1
			96.2%	0.0%	3.8%
	男	43	42	1	0
			97.7%	2.3%	0.0%
学年別	女	129	115	11	3
			89.1%	8.5%	2.3%
	2年	100	91	7	2
			91.0%	7.0%	2.0%
	4年	72	66	5	1
			91.7%	6.9%	1.4%

＜クラブ活動/ボランティア活動等についての考察：

16-1. クラブ活動参加有無 / 16-2. クラブ活動参加数＞

看護	何らかのクラブ活動に参加している学生は 38.8%（昨年 49.6%）であり、昨年より 1 割減少した。参加していない学生は 6 割を超えている。「複数のクラブに参加している」学生は 13%であった。
リハ・理学	何らかのクラブ活動に参加している学生は 40.0%（昨年 63.8%）であり、昨年より大きく減少し、参加していない学生は 6 割を超えていた。「1 つのクラブに参加している」学生は 97.6%であった。
リハ・作業	何らかのクラブ活動に参加している学生は 32.9%（昨年 48.5%）であり、昨年より減少し、参加していない学生は 5 割を超えていた。「1 つのクラブに参加している」学生は 96.2%であった。

<クラブ活動/ボランティア活動等について>

17. クラブ活動参加きっかけ（複数回答） - 学科別 -



＜クラブ活動/ボランティア活動等についての考察：

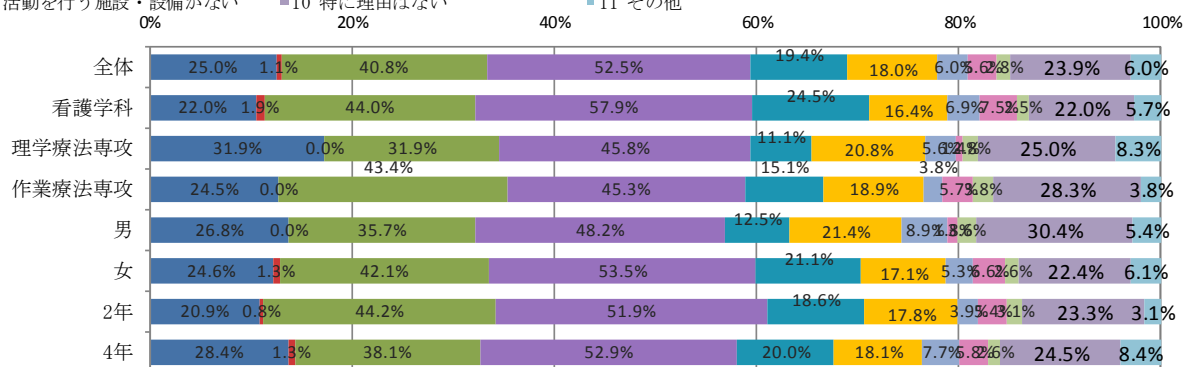
17. クラブ活動参加きっかけ（複数回答）―学科別―

看護	「活動内容が好きまたは興味がある」が 73.3%と最も高く、次いで「交友関係を広げるため」 53.5%、「友人を得るため」 28.7%と昨年と同様に結果であった。
リハ・理学	「活動内容が好きまたは興味がある」が 72.9%と最も高く、次いで「交友関係を広げるため」 50.0%、「友人を得るため」 22.9%が上位であった。
リハ・作業	「活動内容が好きまたは興味がある」が 73.1%と最も高く、次いで「交友関係を広げるため」 30.8%、「教養・知識・技術の向上」 19.2%が上位であった。

<クラブ活動/ボランティア活動等について>

18. クラブ活動参加しない理由（複数回答）

- 1 勉学の妨げになる ■ 2 健康上の理由 ■ 3 自分の関心に合うものがない ■ 4 アルバイトや通学等で時間がない
- 5 拘束されたくない ■ 6 経済的な負担が大きい ■ 7 対人関係が面倒 ■ 8 練習が苦痛
- 9 活動を行う施設・設備がない ■ 10 特に理由はない ■ 11 その他



※クラブ不参加者のみ回答		有効回答者数	クラブ活動に参加しない主な理由										
			勉学の妨げになる	健康上の理由	自分の関心に合うものがない	アルバイトや通学等で時間がない	拘束されたくない	経済的な負担が大きい	対人関係が面倒	練習が苦痛	活動を行う施設・設備がない	特に理由はない	その他
全体		284	71	3	116	149	55	51	17	16	8	68	17
			25.0%	1.1%	40.8%	52.5%	19.4%	18.0%	6.0%	5.6%	2.8%	23.9%	6.0%
学科別	看護学科	159	35	3	70	92	39	26	11	12	4	35	9
			22.0%	1.9%	44.0%	57.9%	24.5%	16.4%	6.9%	7.5%	2.5%	22.0%	5.7%
	理学療法専攻	72	23	0	23	33	8	15	4	1	2	18	6
			31.9%	0.0%	31.9%	45.8%	11.1%	20.8%	5.6%	1.4%	2.8%	25.0%	8.3%
	作業療法専攻	53	13	0	23	24	8	10	2	3	2	15	2
			24.5%	0.0%	43.4%	45.3%	15.1%	18.9%	3.8%	5.7%	3.8%	28.3%	3.8%
性別	男	56	15	0	20	27	7	12	5	1	2	17	3
			26.8%	0.0%	35.7%	48.2%	12.5%	21.4%	8.9%	1.8%	3.6%	30.4%	5.4%
	女	228	56	3	96	122	48	39	12	15	6	51	14
			24.6%	1.3%	42.1%	53.5%	21.1%	17.1%	5.3%	6.6%	2.6%	22.4%	6.1%
学年別	2年	129	27	1	57	67	24	23	5	7	4	30	4
			20.9%	0.8%	44.2%	51.9%	18.6%	17.8%	3.9%	5.4%	3.1%	23.3%	3.1%
	4年	155	44	2	59	82	31	28	12	9	4	38	13
			28.4%	1.3%	38.1%	52.9%	20.0%	18.1%	7.7%	5.8%	2.6%	24.5%	8.4%

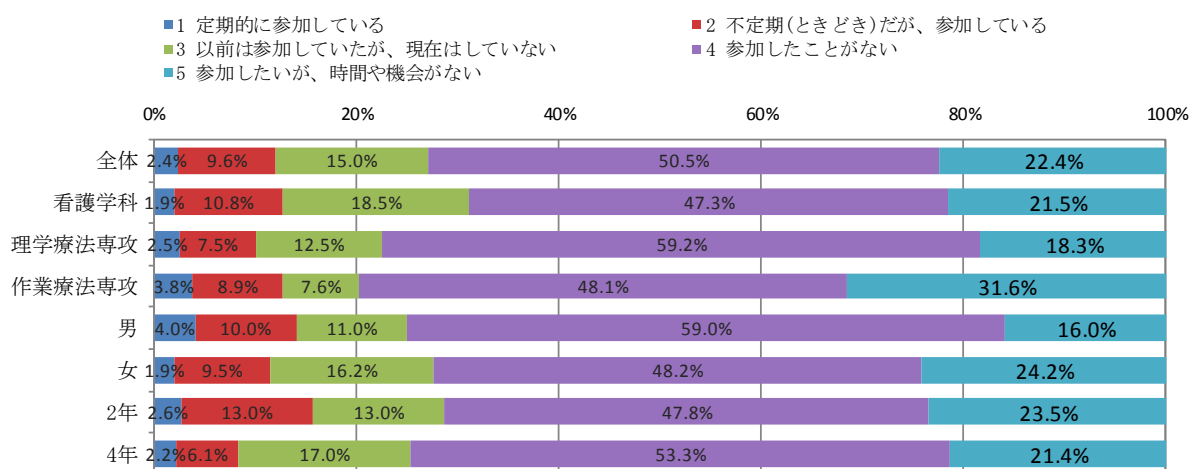
＜クラブ活動/ボランティア活動等についての考察：

18. クラブ活動に参加しない理由（複数回答）＞

看護	6割の学生がクラブ活動に参加していない。クラブ活動に参加しない理由として「アルバイトや通学等で時間がない」が57.9（昨年60.0%）と最も高く、次いで「自分の関心似合うものがない」44.0%、「拘束されたくない」24.5%、「勉強の妨げになる」22.0%であった。
リハ・理学	6割の学生がクラブ活動に参加していない。参加しない理由として「アルバイトや通学等で時間がない」が45.8（昨年54.8%）と最も高く、次いで「自分の関心似合うものがない」、「勉強の妨げになる」がともに31.9%、「特に理由がない」25.0%が上位であった。
リハ・作業	5割の学生がクラブ活動に参加していない。参加しない理由として「アルバイトや通学等で時間がない」が45.3（昨年51.9%）と最も高く、次いで「自分の関心似合うものがない」43.4%、「特に理由がない」28.3%、「勉強の妨げになる」24.5%が上位であった。

<クラブ活動/ボランティア活動等について>

19. ボランティア活動参加有無



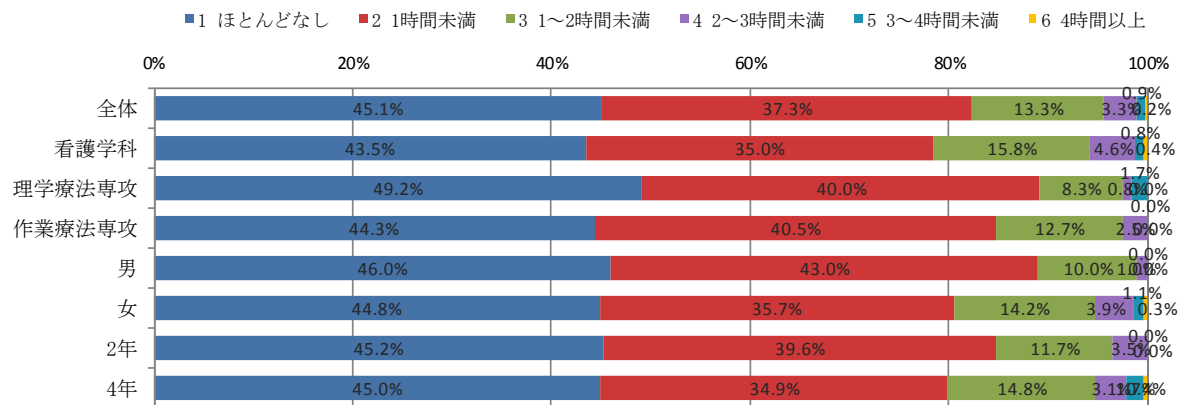
		有効回答者数	現在、ボランティア活動をしていますか				
			定期的に 参加している	不定期 （ときどき） が、参加している	以前は参加 していたが、 現在はして いない	参加した ことがない	参加したい が、時間や 機会がない
全体		459	11	44	69	232	103
			2.4%	9.6%	15.0%	50.5%	22.4%
学科別	看護学科	260	5	28	48	123	56
			1.9%	10.8%	18.5%	47.3%	21.5%
	理学療法専攻	120	3	9	15	71	22
			2.5%	7.5%	12.5%	59.2%	18.3%
	作業療法専攻	79	3	7	6	38	25
			3.8%	8.9%	7.6%	48.1%	31.6%
性別	男	100	4	10	11	59	16
			4.0%	10.0%	11.0%	59.0%	16.0%
	女	359	7	34	58	173	87
			1.9%	9.5%	16.2%	48.2%	24.2%
学年別	2年	230	6	30	30	110	54
			2.6%	13.0%	13.0%	47.8%	23.5%
	4年	229	5	14	39	122	49
			2.2%	6.1%	17.0%	53.3%	21.4%

＜クラブ活動/ボランティア活動等についての考察：１９．ボランティア活動参加有無＞

看護	「定期的に活動している」と「不定期に活動している」と回答した学生は 12.7%（昨年 14.8%）であり、何らかのボランティア活動を行っている学生の割合は学部平均とほぼ同じであった。活動していない学生については、「参加したことがない」47.3%、「活動したいが時間や機会がない」21.5%であった。
リハ・理学	「定期的に活動している」と「不定期に活動している」と回答した学生は 10.0%であった。活動していない学生については、「参加したことがない」59.2%、「活動したいが時間や機会がない」18.3%であった。
リハ・作業	「定期的に活動している」と「不定期に活動している」と回答した学生は 12.7%であった。活動していない学生については、「参加したことがない」48.1%、「活動したいが時間や機会がない」31.6%であった。

<学修及び学校生活について>

20. 予習時間



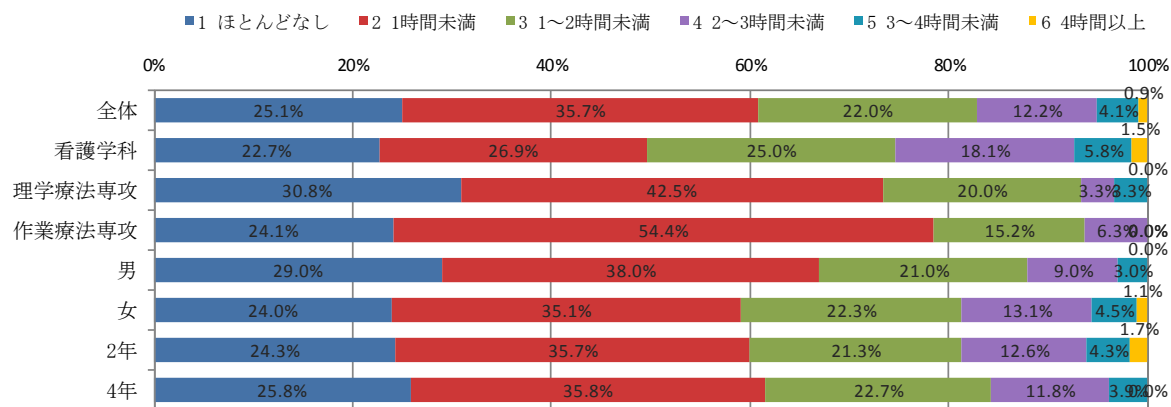
		有効回答者数	1日の平均予習時間はどれくらいですか					
			ほとんどなし	1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4時間以上
全体		459	207	171	61	15	4	1
			45.1%	37.3%	13.3%	3.3%	0.9%	0.2%
学科別	看護学科	260	113	91	41	12	2	1
			43.5%	35.0%	15.8%	4.6%	0.8%	0.4%
	理学療法専攻	120	59	48	10	1	2	0
			49.2%	40.0%	8.3%	0.8%	1.7%	0.0%
	作業療法専攻	79	35	32	10	2	0	0
			44.3%	40.5%	12.7%	2.5%	0.0%	0.0%
性別	男	100	46	43	10	1	0	0
			46.0%	43.0%	10.0%	1.0%	0.0%	0.0%
	女	359	161	128	51	14	4	1
			44.8%	35.7%	14.2%	3.9%	1.1%	0.3%
学年別	2年	230	104	91	27	8	0	0
			45.2%	39.6%	11.7%	3.5%	0.0%	0.0%
	4年	229	103	80	34	7	4	1
			45.0%	34.9%	14.8%	3.1%	1.7%	0.4%

＜学修及び学校生活についての考察：20. 予習時間＞

看護	「ほとんどなし」と回答した学生の割合は 43.5%（昨年 46.3%）であり、学部平均より低かった。予習を行っている学生の平均予習時間は「1 時間未満」が 35.0%と最も高く、次いで「1～2 時間」15.8%であった。
リハ・理学	「ほとんどなし」と回答した学生の割合は 49.2%と昨年（56.9%）より減少した。予習を行っている学生の平均予習時間は「1 時間未満」が 40.0%と最も高く、次いで「1～2 時間」8.3%であった。
リハ・作業	「ほとんどなし」と回答した学生の割合は 44.3%と昨年（56.3%）より減少した。予習を行っている学生の平均予習時間は「1 時間未満」が 40.5%と最も高く、次いで「1～2 時間」12.7%であった。

<学修及び学校生活について>

21. 復習時間



		有効回答者数	1日の平均復習時間はどれくらいですか					
			ほとんどなし	1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4時間以上
全体		459	115	164	101	56	19	4
			25.1%	35.7%	22.0%	12.2%	4.1%	0.9%
学科別	看護学科	260	59	70	65	47	15	4
			22.7%	26.9%	25.0%	18.1%	5.8%	1.5%
	理学療法専攻	120	37	51	24	4	4	0
			30.8%	42.5%	20.0%	3.3%	3.3%	0.0%
	作業療法専攻	79	19	43	12	5	0	0
			24.1%	54.4%	15.2%	6.3%	0.0%	0.0%
性別	男	100	29	38	21	9	3	0
			29.0%	38.0%	21.0%	9.0%	3.0%	0.0%
	女	359	86	126	80	47	16	4
			24.0%	35.1%	22.3%	13.1%	4.5%	1.1%
学年別	2年	230	56	82	49	29	10	4
			24.3%	35.7%	21.3%	12.6%	4.3%	1.7%
	4年	229	59	82	52	27	9	0
			25.8%	35.8%	22.7%	11.8%	3.9%	0.0%

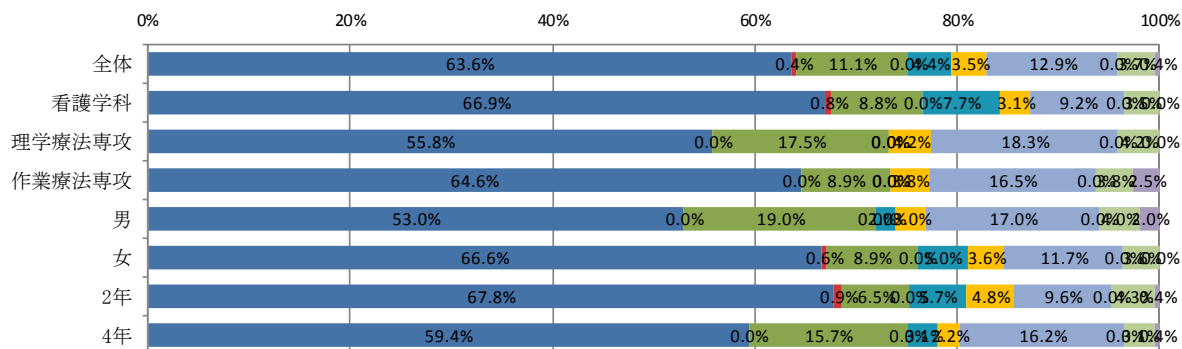
＜学修及び学校生活についての考察：21. 復習時間＞

看護	「ほとんどなし」と回答した学生の割合は 22.7%（昨年 21.3%）であり、学部平均より低かった。復習を行っている学生の平均復習時間は「1 時間未満」が 26.9%と最も高く、次いで「1～2 時間」25.0%であった。
リハ・理学	「ほとんどなし」と回答した学生の割合は 30.8%と昨年（36.2%）より減少した。復習を行っている学生の平均復習時間は「1 時間未満」が 42.5%と最も高く、次いで「1～2 時間」20.0%であった。
リハ・作業	「ほとんどなし」と回答した学生の割合は 24.1%と昨年（28.2%）より減少した。復習を行っている学生の平均復習時間は「1 時間未満」が 54.4%と最も高く、次いで「1～2 時間」15.2%であった。

<学修及び学校生活について>

22. 自主学修場所

■ 1 自宅 ■ 2 友人宅 ■ 3 教室 ■ 4 研究室 ■ 5 学生ホール・オープンスペース ■ 6 学生食堂 ■ 7 図書館 ■ 8 PC室 ■ 9 学外の飲食店 ■ 10 その他



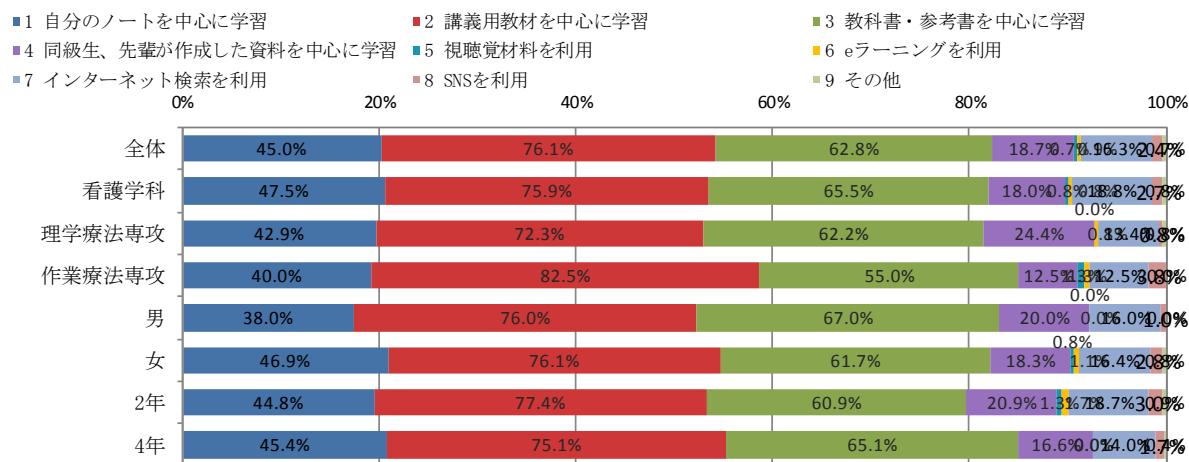
		有効回答者数	どこで自主学修することが多いですか									
			自宅	友人宅	教室	研究室	学生ホール・オープン	学生食堂	図書館	P C 室	学外の飲食店	その他
全体		459	292	2	51	0	20	16	59	0	17	2
			63.6%	0.4%	11.1%	0.0%	4.4%	3.5%	12.9%	0.0%	3.7%	0.4%
学科別	看護学科	260	174	2	23	0	20	8	24	0	9	0
			66.9%	0.8%	8.8%	0.0%	7.7%	3.1%	9.2%	0.0%	3.5%	0.0%
	理学療法専攻	120	67	0	21	0	0	5	22	0	5	0
			55.8%	0.0%	17.5%	0.0%	0.0%	4.2%	18.3%	0.0%	4.2%	0.0%
	作業療法専攻	79	51	0	7	0	0	3	13	0	3	2
			64.6%	0.0%	8.9%	0.0%	0.0%	3.8%	16.5%	0.0%	3.8%	2.5%
性別	男	100	53	0	19	0	2	3	17	0	4	2
			53.0%	0.0%	19.0%	0.0%	2.0%	3.0%	17.0%	0.0%	4.0%	2.0%
	女	359	239	2	32	0	18	13	42	0	13	0
			66.6%	0.6%	8.9%	0.0%	5.0%	3.6%	11.7%	0.0%	3.6%	0.0%
学年別	2年	230	156	2	15	0	13	11	22	0	10	1
			67.8%	0.9%	6.5%	0.0%	5.7%	4.8%	9.6%	0.0%	4.3%	0.4%
	4年	229	136	0	36	0	7	5	37	0	7	1
			59.4%	0.0%	15.7%	0.0%	3.1%	2.2%	16.2%	0.0%	3.1%	0.4%

＜学修及び学校生活についての考察：22. 自主学修場所＞

看護	「自宅」と回答した学生の割合は 66.9%（昨年 70.5%）、次いで「図書館」9.2%であり、「教室」8.8%であった。「自宅」と回答した学生の割合は、学部平均より高かった。
リハ・理学	「自宅」と回答した学生の割合は 55.8%（昨年 57.8%）、次いで「図書館」18.3%であり、「教室」17.5%であった。
リハ・作業	「自宅」と回答した学生の割合は 64.6%と昨年（47.6%）より増加した。次いで「図書館」16.5%であり、「教室」8.9%で、昨年に比べ、図書館は増加し、教室は減少した。

<学修及び学校生活について>

23. 自主学修方法（複数回答 3 つ）



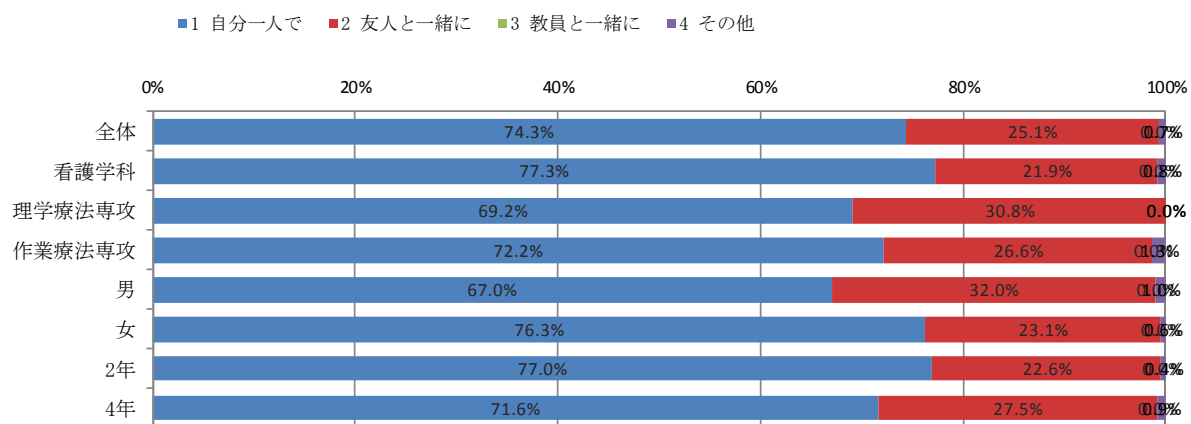
		有効回答者数	自主学修をどのようにしますか								
			学習 自分の ノート を中心 に	講義 用教材 を中心 に学	教科書 ・参考 書を中心	同級生 、先輩 が作成 した資 料を中 心に学 習	視聴 覚材 料を利用	eラー ニング を利用	イン ター ネッ ト検 索を	S N Sを 利用	その 他
全体		460	207	350	289	86	3	4	75	11	3
			45.0%	76.1%	62.8%	18.7%	0.7%	0.9%	16.3%	2.4%	0.7%
学科別	看護学科	261	124	198	171	47	2	2	49	7	2
			47.5%	75.9%	65.5%	18.0%	0.8%	0.8%	18.8%	2.7%	0.8%
	理学療法専攻	119	51	86	74	29	0	1	16	1	1
			42.9%	72.3%	62.2%	24.4%	0.0%	0.8%	13.4%	0.8%	0.8%
	作業療法専攻	80	32	66	44	10	1	1	10	3	0
			40.0%	82.5%	55.0%	12.5%	1.3%	1.3%	12.5%	3.8%	0.0%
性別	男	100	38	76	67	20	0	0	16	1	0
			38.0%	76.0%	67.0%	20.0%	0.0%	0.0%	16.0%	1.0%	0.0%
	女	360	169	274	222	66	3	4	59	10	3
			46.9%	76.1%	61.7%	18.3%	0.8%	1.1%	16.4%	2.8%	0.8%
学年別	2年	230	103	178	140	48	3	4	43	7	2
			44.8%	77.4%	60.9%	20.9%	1.3%	1.7%	18.7%	3.0%	0.9%
	4年	229	104	172	149	38	0	0	32	4	1
			45.4%	75.1%	65.1%	16.6%	0.0%	0.0%	14.0%	1.7%	0.4%

＜学修及び学校生活についての考察：23. 自主学修方法（複数回答3つ）＞

看護	「講義用教材を中心に学習」と回答した学生の割合は 79.1%と最も高く、次いで「教科書・参考書を中心に学習」 65.8%、「自分のノートを中心に学習 47.7%、「インターネット検索を利用」と「同級生、先輩が作成した資料を中心に学習」が 18%であった。
リハ・理学	「講義用教材を中心に学習」と回答した学生の割合は 72.3%と最も高く、次いで「教科書・参考書を中心に学習」 62.2%、「自分のノートを中心に学習」 42.9%、「同級生、先輩が作成した資料を中心に学習」 24.4%が上位であった。
リハ・作業	「講義用教材を中心に学習」と回答した学生の割合は 82.5%と最も高く、次いで「教科書・参考書を中心に学習」 55.0%、「自分のノートを中心に学習 40.0%、「インターネット検索を利用」と「同級生、先輩が作成した資料を中心に学習」がともに 12.5%と上位であった。

<学修及び学校生活について>

24. 誰と自主学修



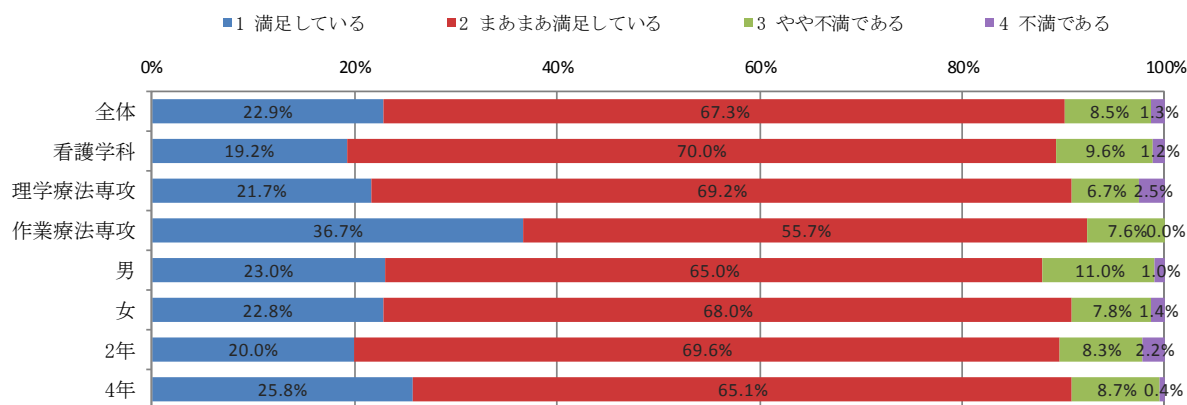
		有効回答者数	誰と学修することが多いですか			
			自分一人で	友人と一緒に	教員と一緒に	その他
全体		459	341	115	0	3
			74.3%	25.1%	0.0%	0.7%
学科別	看護学科	260	201	57	0	2
			77.3%	21.9%	0.0%	0.8%
	理学療法専攻	120	83	37	0	0
			69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
	作業療法専攻	79	57	21	0	1
			72.2%	26.6%	0.0%	1.3%
性別	男	100	67	32	0	1
			67.0%	32.0%	0.0%	1.0%
	女	359	274	83	0	2
			76.3%	23.1%	0.0%	0.6%
学年別	2年	230	177	52	0	1
			77.0%	22.6%	0.0%	0.4%
	4年	229	164	63	0	2
			71.6%	27.5%	0.0%	0.9%

＜学修及び学校生活についての考察：24. 誰と自主学修＞

看護	「自分一人で」と回答した学生の割合は 77.3%と最も高く、次いで「友人達と一緒に」 21.9%であった。学部平均と比べ、「一人のことが多い」の割合は高く、「友人達とのことが多い」の割合は最も低かった。
リハ・理学	「自分一人で」と回答した学生の割合は 69.2%（昨年 72.4%）と最も高く、次いで「友人達と一緒に」 30.8%であった。
リハ・作業	「自分一人で」と回答した学生の割合は 72.2%（昨年 69.9%）と最も高く、次いで「友人達と一緒に」 26.6%であった。その他が 1.3%認められた。

<学修及び学校生活について>

25. 講義実習満足度



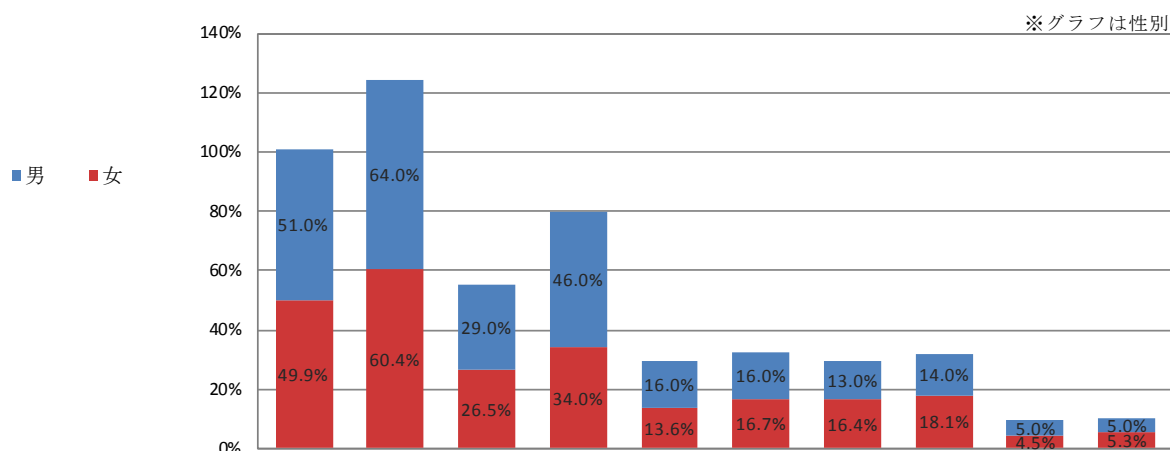
		有効回答者数	講義・実習には満足していますか			
			満足している	まあまあ満足している	やや不満である	不満である
全体		459	105	309	39	6
			22.9%	67.3%	8.5%	1.3%
学科別	看護学科	260	50	182	25	3
			19.2%	70.0%	9.6%	1.2%
	理学療法専攻	120	26	83	8	3
			21.7%	69.2%	6.7%	2.5%
	作業療法専攻	79	29	44	6	0
			36.7%	55.7%	7.6%	0.0%
性別	男	100	23	65	11	1
			23.0%	65.0%	11.0%	1.0%
	女	359	82	244	28	5
			22.8%	68.0%	7.8%	1.4%
学年別	2年	230	46	160	19	5
			20.0%	69.6%	8.3%	2.2%
	4年	229	59	149	20	1
			25.8%	65.1%	8.7%	0.4%

＜学修及び学校生活についての考察：25. 講義実習満足度＞

看護	「満足している」19.2%（昨年 21.7%）と「まあまあ満足している」70.0%（昨年 63.9%）を合計した割合は 89.2%であった。
リハ・理学	「満足している」21.7%（昨年 21.6%）と「まあまあ満足している」69.2%（昨年 70.7%）を合計した割合は 90.8%であった。また、「不満である」が 2.5%認められた。
リハ・作業	「満足している」36.7%（昨年 27.2%）と「まあまあ満足している」55.7%（昨年 59.2%）を合計した割合は 92.4%であった。

<学修及び学校生活について>

26. 教育制度不十分点（複数回答3つ） - 性別 -



		有効回答者数	教育や制度に関して、整備・充実してほしいものはなんですか									
			カリキュラム	の授業・試験・成績など	資格取得講座（対策授業）	就職支援・進路相談	奨学金制度の新設や増額	留学制度・海外研修プログラム	他学・海外との交流	テラプ活動・ボランティア活動支援	学生会自治活動（学友会）支援	その他
全体		459	230	281	124	168	65	76	72	79	21	24
			50.1%	61.2%	27.0%	36.6%	14.2%	16.6%	15.7%	17.2%	4.6%	5.2%
学科別	看護学科	260	137	165	65	72	39	39	37	46	17	16
			52.7%	63.5%	25.0%	27.7%	15.0%	15.0%	14.2%	17.7%	6.5%	6.2%
	理学療法専攻	120	56	69	36	65	16	20	24	13	2	6
			46.7%	57.5%	30.0%	54.2%	13.3%	16.7%	20.0%	10.8%	1.7%	5.0%
	作業療法専攻	79	37	47	23	31	10	17	11	20	2	2
			46.8%	59.5%	29.1%	39.2%	12.7%	21.5%	13.9%	25.3%	2.5%	2.5%
性別	男	100	51	64	29	46	16	16	13	14	5	5
			51.0%	64.0%	29.0%	46.0%	16.0%	16.0%	13.0%	14.0%	5.0%	5.0%
	女	359	179	217	95	122	49	60	59	65	16	19
			49.9%	60.4%	26.5%	34.0%	13.6%	16.7%	16.4%	18.1%	4.5%	5.3%
学年別	2年	230	104	141	64	78	32	36	36	39	9	14
			45.2%	61.3%	27.8%	33.9%	13.9%	15.7%	15.7%	17.0%	3.9%	6.1%
	4年 ※	229	126	140	60	90	33	40	36	40	12	10
			55.0%	61.1%	26.2%	39.3%	14.4%	17.5%	15.7%	17.5%	5.2%	4.4%

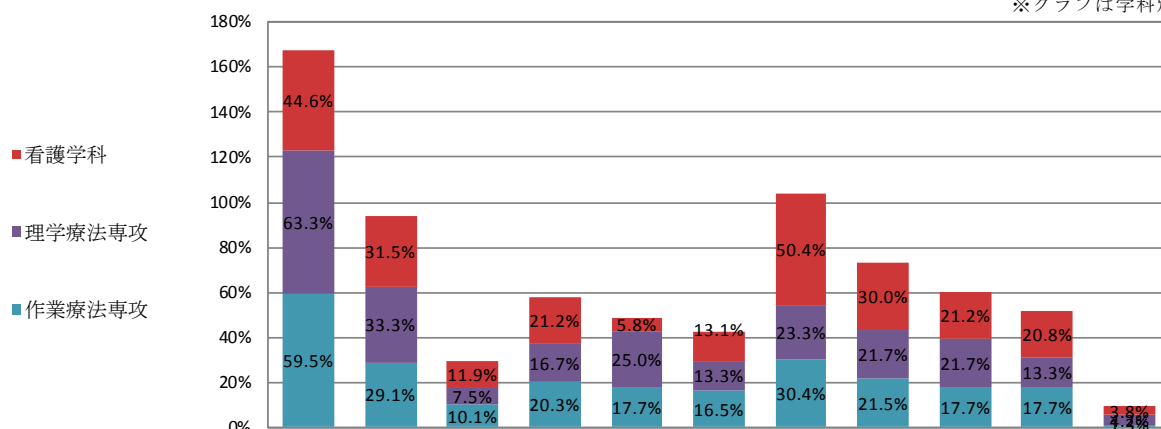
＜学修及び学校生活についての考察：26. 教育制度不十分点（複数回答3つ）―学科別―＞

看護	「授業・試験・成績などの教務情報」と回答した学生の割合が 63.5%と最も高かった。次いで「カリキュラム」52.7%、「就学支援・進路相談」27.7%「資格取得講座（対策授業）」25.0%、「クラブ活動・ボランティア活動支援」17.7%であった。学部平均と比べ、「資格取得講座（対策授業）」「就学支援・進路相談」と回答した学生の割合は低かったが、一方で「カリキュラム」「授業・試験・成績などの教務情報」「奨学金制度の新設や増額」と回答した学生の割合は高かった。
リハ・理学	「授業・試験・成績などの教務情報」と回答した学生の割合が 57.5%と最も高かった。次いで「就学支援・進路相談」54.2%、「カリキュラム」46.7%、「資格取得講座（対策授業）」30.0%、「他学・海外との交流」20.0%が上位であった。
リハ・作業	「授業・試験・成績などの教務情報」と回答した学生の割合が 59.5%と最も高かった。次いで「カリキュラム」46.8%、「就職支援・進路相談」39.2%、「資格取得講座（対策授業）」29.1%、「クラブ活動・ボランティア活動支援」25.3%が上位であった。

<学修及び学校生活について>

27. キャンパス施設・設備改善要望点（複数回答3つ） - 学科別 -

※グラフは学科別



		有効回答者数	キャンパス内の施設・設備について、整備・充実してほしいものは何ですか										
			教室・実習室	図書館	室 P C 教室など情報系教	インターネット環境	体育館等スポーツ施設	設クラブ活動の設備・施	食堂	駐輪場	駐車場	学生ホール・ラウンジ	その他
全体		459	239	145	48	91	59	63	183	121	95	84	16
			52.1%	31.6%	10.5%	19.8%	12.9%	13.7%	39.9%	26.4%	20.7%	18.3%	3.5%
学科別	看護学科	260	116	82	31	55	15	34	131	78	55	54	10
			44.6%	31.5%	11.9%	21.2%	5.8%	13.1%	50.4%	30.0%	21.2%	20.8%	3.8%
	理学療法専攻	120	76	40	9	20	30	16	28	26	26	16	5
			63.3%	33.3%	7.5%	16.7%	25.0%	13.3%	23.3%	21.7%	21.7%	13.3%	4.2%
	作業療法専攻	79	47	23	8	16	14	13	24	17	14	14	1
			59.5%	29.1%	10.1%	20.3%	17.7%	16.5%	30.4%	21.5%	17.7%	17.7%	1.3%
性別	男	100	61	29	12	22	29	17	27	25	26	15	2
			61.0%	29.0%	12.0%	22.0%	29.0%	17.0%	27.0%	25.0%	26.0%	15.0%	2.0%
	女	359	178	116	36	69	30	46	156	96	69	69	14
			49.6%	32.3%	10.0%	19.2%	8.4%	12.8%	43.5%	26.7%	19.2%	19.2%	3.9%
学年別	2年	230	113	67	14	42	27	33	110	61	45	38	7
			49.1%	29.1%	6.1%	18.3%	11.7%	14.3%	47.8%	26.5%	19.6%	16.5%	3.0%
	4年	229	126	78	34	49	32	30	73	60	50	46	9
			55.0%	34.1%	14.8%	21.4%	14.0%	13.1%	31.9%	26.2%	21.8%	20.1%	3.9%

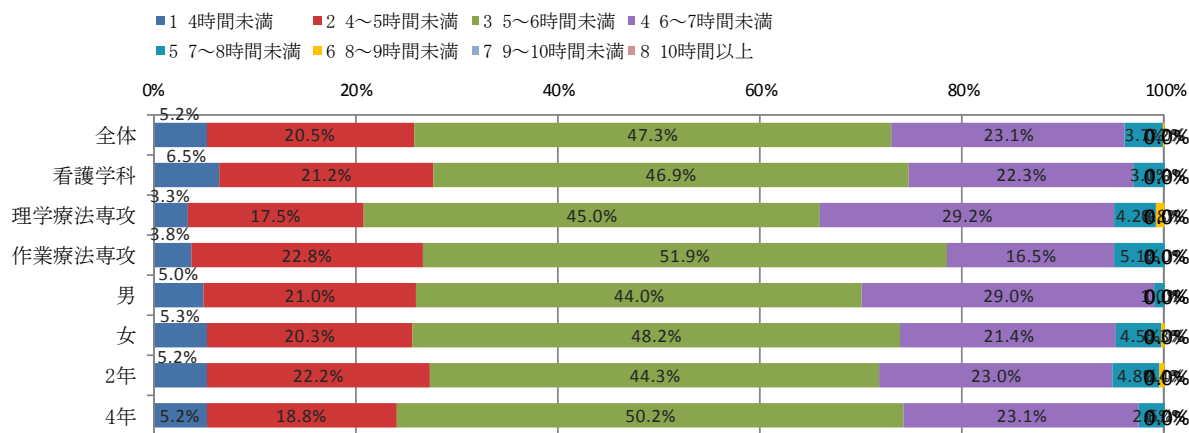
＜学修及び学校生活についての考察＞

27. キャンパス施設・設備改善要求点（複数回答3つ）－学科別－

看護	「食堂」50.4%が最も多く、次いで「教室・実習室」が44.6%、「図書館」31.5%、「駐輪場」30.0%、「インターネット環境」「駐車場」21.2%、「学生ホール・ラウンジ」20.8%であった。学部平均と比べると「教室・実習室」や「体育館等スポーツ施設」「クラブ活動の整備・施設」と回答した学生の割合は低い、「図書館」と回答した学生の割合が高かった。建物が新しいこととクラブ活動を行っていない学生が多いことが結果に反映していると推察する。
リハ・理学	「教室・実習室」63.3%が最も多く、次いで「図書館」33.3%、「体育館等スポーツ施設」25.0%、「食堂」23.3%が上位であった。
リハ・作業	「教室・実習室」59.5%が最も多く、次いで「食堂」30.4%、「図書館」29.1%、「インターネット環境」20.3%が上位であった。また、「体育館等スポーツ施設」、「駐車場」、「学生ホール・ラウンジ」も同数（17.7%）で多い回答であった。

<健康について>

28. 睡眠時間



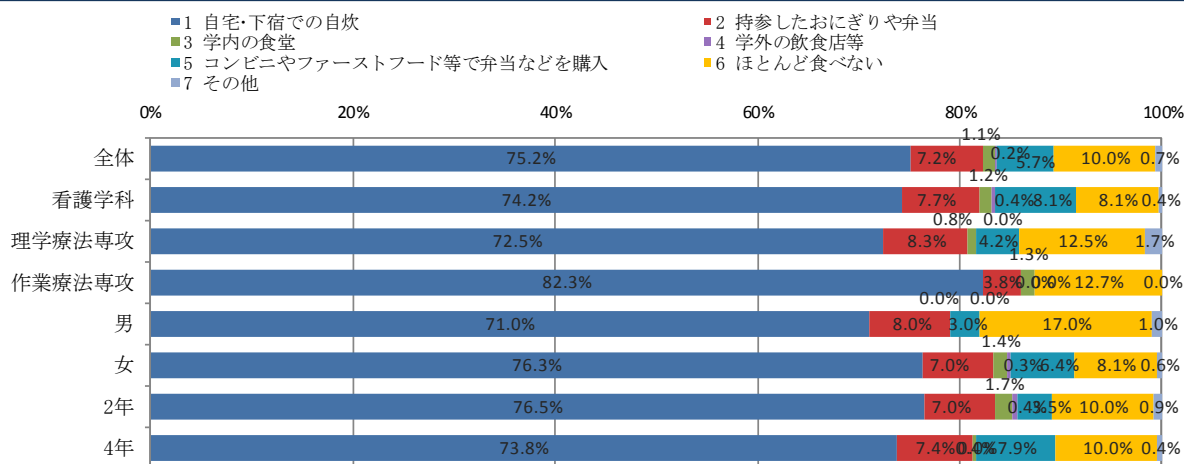
		有効回答者数	平均睡眠時間はどれくらいですか							
			4時間未満	4～5時間未満	5～6時間未満	6～7時間未満	7～8時間未満	8～9時間未満	9～10時間未満	10時間以上
全体		459	24 5.2%	94 20.5%	217 47.3%	106 23.1%	17 3.7%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%
学科別	看護学科	260	17 6.5%	55 21.2%	122 46.9%	58 22.3%	8 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
			理学療法専攻	120	4 3.3%	21 17.5%	54 45.0%	35 29.2%	5 4.2%	1 0.8%
	作業療法専攻	79			3 3.8%	18 22.8%	41 51.9%	13 16.5%	4 5.1%	0 0.0%
			男	100	5 5.0%	21 21.0%	44 44.0%	29 29.0%	1 1.0%	0 0.0%
	女	359			19 5.3%	73 20.3%	173 48.2%	77 21.4%	16 4.5%	1 0.3%
			学年別	2年	230	12 5.2%	51 22.2%	102 44.3%	53 23.0%	11 4.8%
4年	229	12 5.2%				43 18.8%	115 50.2%	53 23.1%	6 2.6%	0 0.0%

＜健康についての考察：28. 睡眠時間＞

看護	「5～6 時間」が 50.4%と最も高く、次いで「4～5 時間」25.8%であった。睡眠時間が約 4 時間未満の学生の割合が 3.3%であった。
リハ・理学	「5～6 時間」が 45.0%と最も高く、次いで「6～7 時間」29.2%であった。睡眠時間が約 4 時間未満の学生の割合が 3.3%であった。
リハ・作業	「5～6 時間」が 59.1%と最も高く、次いで「4～5 時間」22.8%であった。睡眠時間が約 4 時間未満の学生の割合が 3.8%であった。

<健康について>

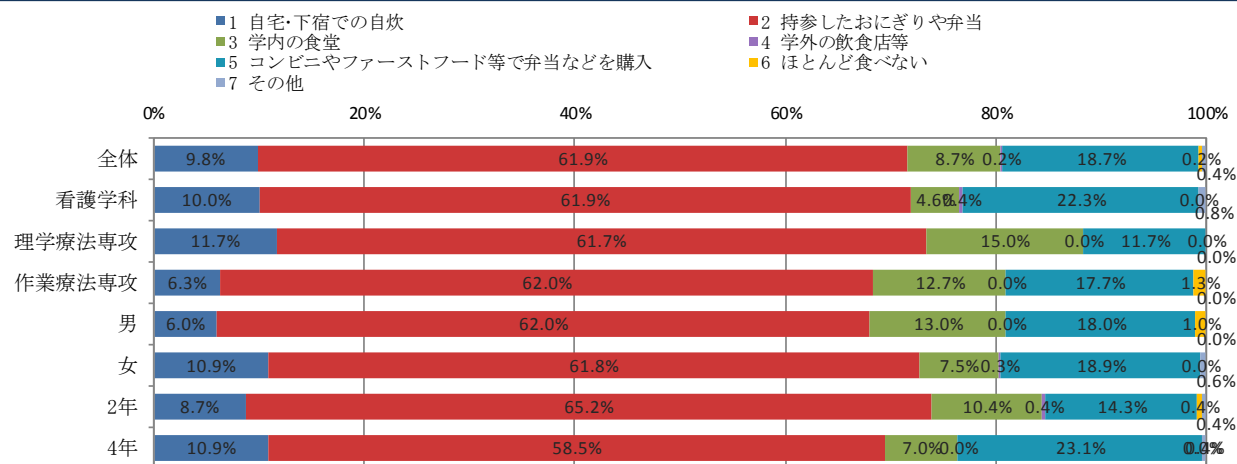
29-1. 食事について…朝食



		有効回答者数	朝食はどのようにしていますか						
			自宅・下宿での自炊	持参したおにぎりや弁当	学内の食堂	学外の飲食店等	コンビニやファーストフード等で弁当などを購入	ほとんど食べない	その他
全体		459	345	33	5	1	26	46	3
			75.2%	7.2%	1.1%	0.2%	5.7%	10.0%	0.7%
学科別	看護学科	260	193	20	3	1	21	21	1
			74.2%	7.7%	1.2%	0.4%	8.1%	8.1%	0.4%
	理学療法専攻	120	87	10	1	0	5	15	2
			72.5%	8.3%	0.8%	0.0%	4.2%	12.5%	1.7%
	作業療法専攻	79	65	3	1	0	0	10	0
			82.3%	3.8%	1.3%	0.0%	0.0%	12.7%	0.0%
性別	男	100	71	8	0	0	3	17	1
			71.0%	8.0%	0.0%	0.0%	3.0%	17.0%	1.0%
	女	359	274	25	5	1	23	29	2
			76.3%	7.0%	1.4%	0.3%	6.4%	8.1%	0.6%
学年別	2年	230	176	16	4	1	8	23	2
			76.5%	7.0%	1.7%	0.4%	3.5%	10.0%	0.9%
	4年	229	169	17	1	0	18	23	1
			73.8%	7.4%	0.4%	0.0%	7.9%	10.0%	0.4%

<健康について>

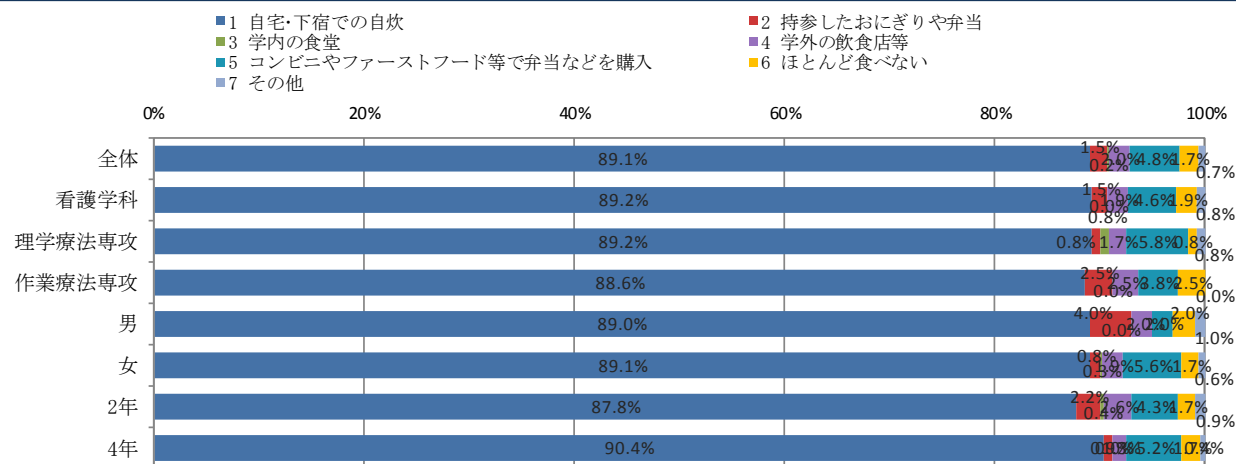
29-2. 食事について…昼食



		有効回答者数	昼食はどのようにしていますか						
			自宅・下宿での自炊	持参したおにぎりや弁当	学内の食堂	学外の飲食店等	コンビニやファーストフード等で弁当などを購入	ほとんど食べない	その他
全体		459	45	284	40	1	86	1	2
			9.8%	61.9%	8.7%	0.2%	18.7%	0.2%	0.4%
学科別	看護学科	260	26	161	12	1	58	0	2
			10.0%	61.9%	4.6%	0.4%	22.3%	0.0%	0.8%
	理学療法専攻	120	14	74	18	0	14	0	0
			11.7%	61.7%	15.0%	0.0%	11.7%	0.0%	0.0%
	作業療法専攻	79	5	49	10	0	14	1	0
			6.3%	62.0%	12.7%	0.0%	17.7%	1.3%	0.0%
性別	男	100	6	62	13	0	18	1	0
			6.0%	62.0%	13.0%	0.0%	18.0%	1.0%	0.0%
	女	359	39	222	27	1	68	0	2
			10.9%	61.8%	7.5%	0.3%	18.9%	0.0%	0.6%
学年別	2年	230	20	150	24	1	33	1	1
			8.7%	65.2%	10.4%	0.4%	14.3%	0.4%	0.4%
	4年	229	25	134	16	0	53	0	1
			10.9%	58.5%	7.0%	0.0%	23.1%	0.0%	0.4%

<健康について>

29-3. 食事について…夕食



		有効回答者数	夕食はどのようにしていますか						
			自宅・下宿での自炊	持参したおにぎりや弁当	学内の食堂	学外の飲食店等	コンビニやファーストフード等で弁当などを購入	ほとんど食べない	その他
全体		459	409	7	1	9	22	8	3
			89.1%	1.5%	0.2%	2.0%	4.8%	1.7%	0.7%
学科別	看護学科	260	232	4	0	5	12	5	2
			89.2%	1.5%	0.0%	1.9%	4.6%	1.9%	0.8%
	理学療法専攻	120	107	1	1	2	7	1	1
			89.2%	0.8%	0.8%	1.7%	5.8%	0.8%	0.8%
	作業療法専攻	79	70	2	0	2	3	2	0
			88.6%	2.5%	0.0%	2.5%	3.8%	2.5%	0.0%
性別	男	100	89	4	0	2	2	2	1
			89.0%	4.0%	0.0%	2.0%	2.0%	2.0%	1.0%
	女	359	320	3	1	7	20	6	2
			89.1%	0.8%	0.3%	1.9%	5.6%	1.7%	0.6%
学年別	2年	230	202	5	1	6	10	4	2
			87.8%	2.2%	0.4%	2.6%	4.3%	1.7%	0.9%
	4年	229	207	2	0	3	12	4	1
			90.4%	0.9%	0.0%	1.3%	5.2%	1.7%	0.4%

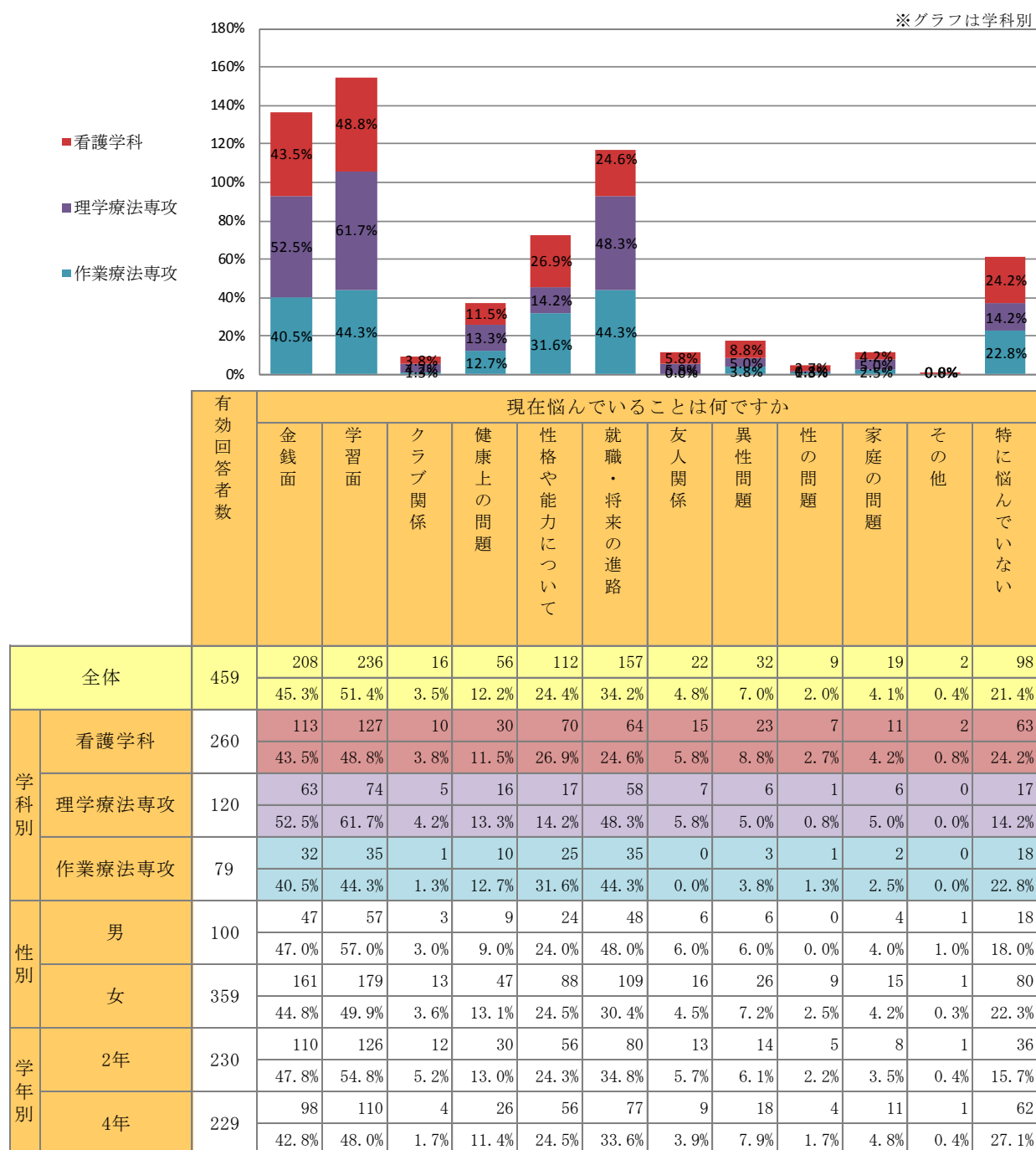
＜健康についての考察＞

29-1. 食事について…朝食／29-2. 食事について…昼食／29-3. 食事について…夕食＞

看護	朝食は「自宅・下宿での自炊」が 74.2%と最も多かった。朝食を摂っていない学生は 1 割であり、他学科の平均を大きく下回り、9 割の学生は朝食を摂取している。昼食は「持参した弁当やおにぎり」が 57.8%と高く、次いで「コンビニやファーストフード等で弁当などを購入」16.0%であった。昼食を食べない学生は 0.4%だった。夕食については「自宅・下宿での自炊」が 86.5%と高かった。夕食をほとんど食べない学生は 1.6%見られた。比較的 3 食摂取している学生が多かった。
リハ・理学	朝食は「自宅・下宿での自炊」が 72.5%と最も多く、朝食を摂っていない学生は 12.5%認められた。昼食は「持参した弁当やおにぎり」が 61.7%と高く、次いで「学内の食堂」が 15.0%であった。昼食を食べない学生は 0%だった。夕食については「自宅・下宿での自炊」が 89.2%と高かった。夕食をほとんど食べない学生は 0.8%認められた。
リハ・作業	朝食は「自宅・下宿での自炊」が 82.3%と最も多く、朝食を摂っていない学生は 12.7%認められた。昼食は「持参した弁当やおにぎり」が 62.0%と高く、次いで「コンビニやファーストフード等で弁当などを購入」が 17.7%であった。昼食を食べない学生は 1.3%認められた。夕食については「自宅・下宿での自炊」が 88.6%と高かった。夕食をほとんど食べない学生は 2.5%認められた。

<その他悩み事について>

30. 悩み事（複数回答） - 学科別 -

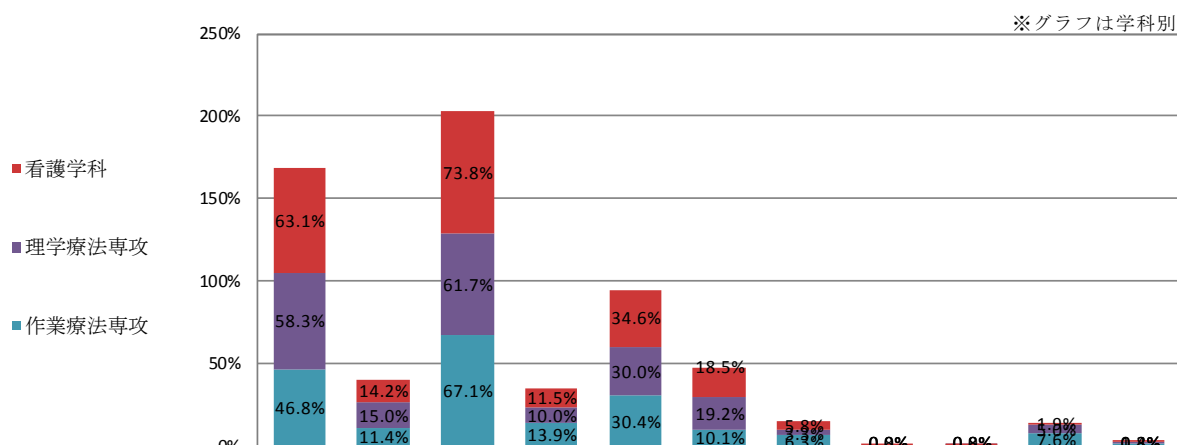


＜その他悩み事についての考察：30. 悩み事（複数回答）―学科別―＞

看護	「学習面」が48.8%と最も高く、次いで「金銭面」43.5%、「性格や能力について」26.9%、「就職・将来の進路」24.6%であった。「特に悩んでいない」は24.2%であった。他学科と比べて高かったのは「異性問題」であった。他学科と比べて特に低かったのは「就職・将来の進路」で学部平均に比べ大幅に低かった。
リハ・理学	「学習面」が61.7%と最も高く、次いで「金銭面」52.5%、「就職・将来の進路」18.3%であった。「特に悩んでいない」は14.2%であった。
リハ・作業	「学習面」、「就職・将来の進路」がともに44.3%と最も高く、次いで「金銭面」40.5%、「性格や能力について」31.6%であった。「特に悩んでいない」は22.8%であった。

<その他悩み事について>

31. 相談相手（複数回答） - 学科別 -



		有効回答者数	学生生活上の悩み・不安や困った時に相談しやすいのはどなたですか										
			親	兄弟	同級生	先輩・後輩	学外の友人	恋人	教員	職員	保健室（カウンセラーを含む）	相談する人がいない	その他
全体		459	271	64	319	53	150	79	24	2	3	17	3
			59.0%	13.9%	69.5%	11.5%	32.7%	17.2%	5.2%	0.4%	0.7%	3.7%	0.7%
学科別	看護学科	260	164	37	192	30	90	48	15	2	2	5	1
			63.1%	14.2%	73.8%	11.5%	34.6%	18.5%	5.8%	0.8%	0.8%	1.9%	0.4%
	理学療法専攻	120	70	18	74	12	36	23	4	0	1	6	1
			58.3%	15.0%	61.7%	10.0%	30.0%	19.2%	3.3%	0.0%	0.8%	5.0%	0.8%
	作業療法専攻	79	37	9	53	11	24	8	5	0	0	6	1
			46.8%	11.4%	67.1%	13.9%	30.4%	10.1%	6.3%	0.0%	0.0%	7.6%	1.3%
性別	男	100	48	17	67	10	31	18	7	0	1	5	2
			48.0%	17.0%	67.0%	10.0%	31.0%	18.0%	7.0%	0.0%	1.0%	5.0%	2.0%
	女	359	223	47	252	43	119	61	17	2	2	12	1
			62.1%	13.1%	70.2%	12.0%	33.1%	17.0%	4.7%	0.6%	0.6%	3.3%	0.3%
学年別	2年	230	131	32	152	25	78	41	8	2	1	13	1
			57.0%	13.9%	66.1%	10.9%	33.9%	17.8%	3.5%	0.9%	0.4%	5.7%	0.4%
	4年 ※	229	140	32	167	28	72	38	16	0	2	4	2
			61.1%	14.0%	72.9%	12.2%	31.4%	16.6%	7.0%	0.0%	0.9%	1.7%	0.9%

＜その他悩み事についての考察：31. 相談相手（複数回答）―学科別―＞

看護	「同級生」が 73.8%と最も高く、次いで「親」 63.1%、「学外の友人」 34.6%であった。親に相談する学生が昨年度と比較すると多い傾向にあった。「教員」と回答した学生の割合は 5.8%であった。
リハ・理学	「同級生」が 61.7%と最も高く、次いで「親」 58.3%、「学外の友人」 30.0%であった。「教員」と回答した学生の割合は 3.3%であった。
リハ・作業	「同級生」が 67.1%と最も高く、次いで「親」 46.8%、「学外の友人」 30.4%であった。「教員」と回答した学生の割合は 6.3%であった。

3. 自由記載の分析

3. 1. 看護学科

看護学科における 2018 年度調査と 2019 年度調査の概要及び比較

1) 対象学生について

学生数（単位：人）

	2018				2019			
	2 年		4 年		2 年		4 年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学生数	14	127	7	96	6	123	9	122
計	139		103		129		131	

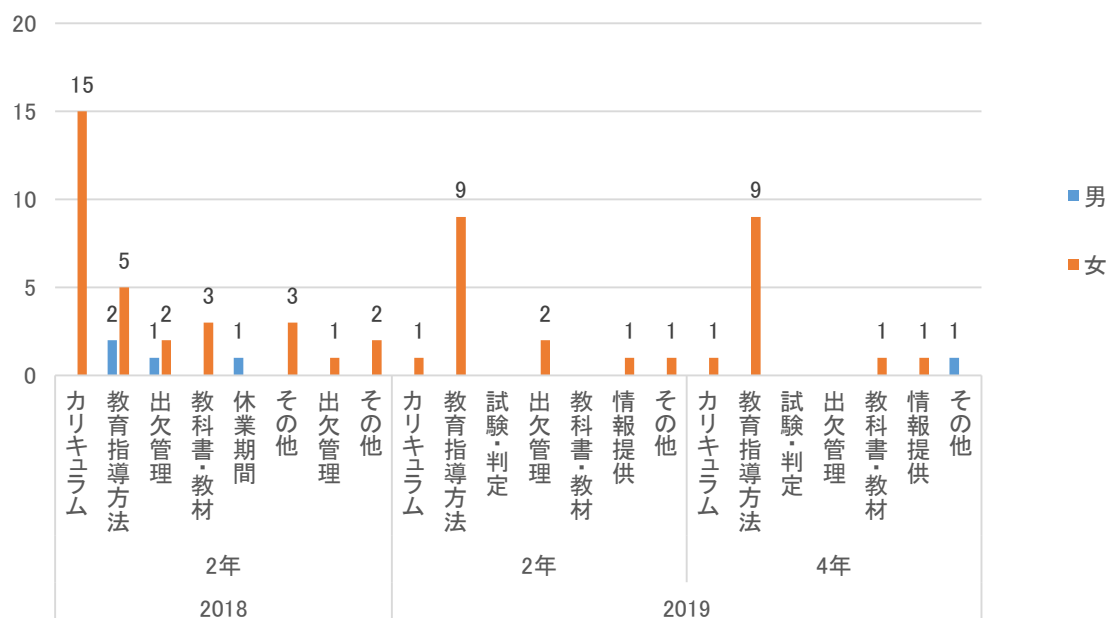
2) 教育内容

2-1) 回答率

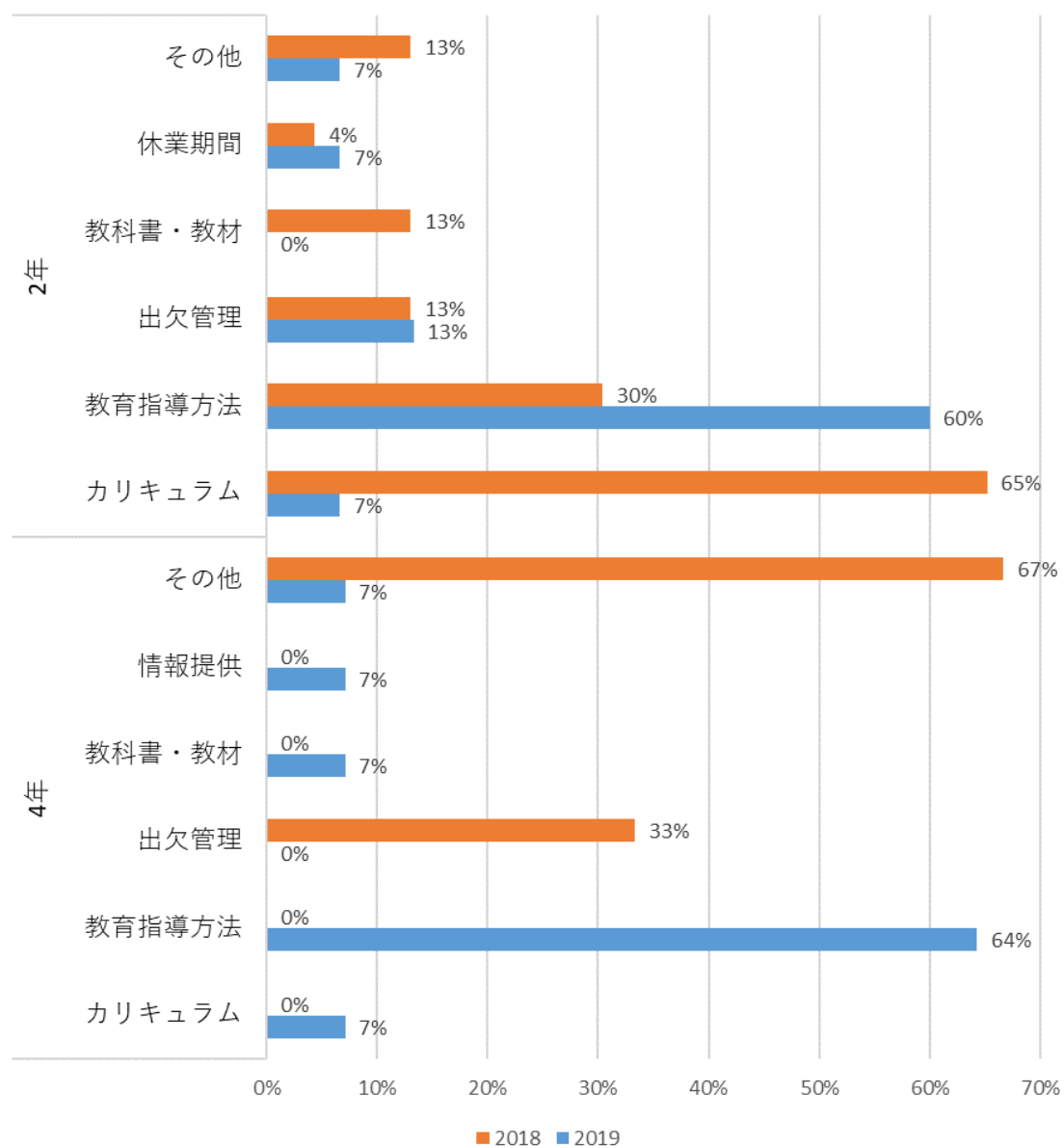
	2018				2019			
	2 年		4 年		2 年		4 年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
回答数	2	21	0	3	0	15	1	13
回答率	14.3%	15.1%	0.0%	3.1%	0.0%	12.2%	11.1%	10.7%
学年回答率	16.5%		2.9%		11.6%		10.7%	

2-2) 教育内容に関する回答内容の内訳

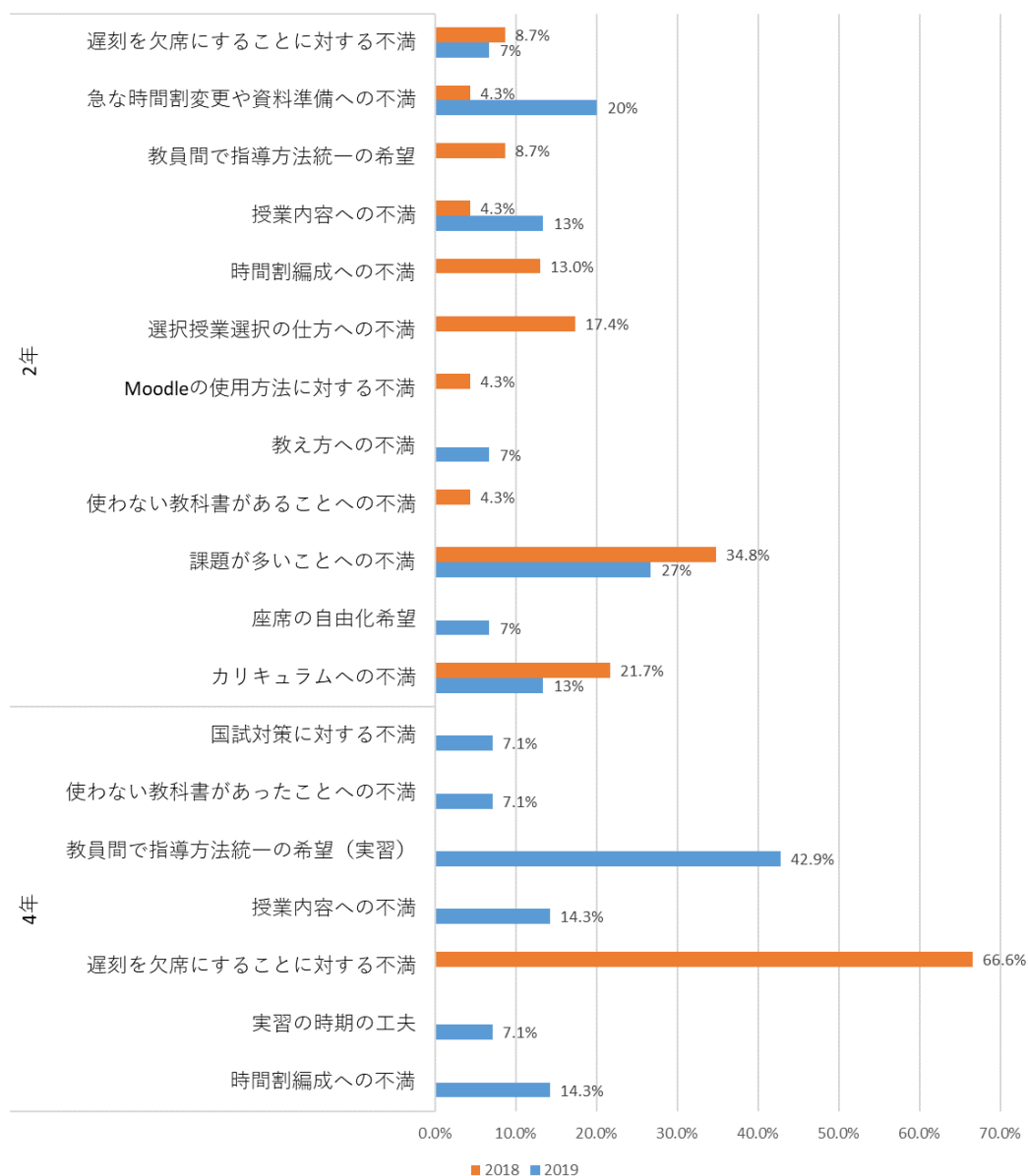
（単位：人）



2-3) 教育内容に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較



2-4) 教育内容に関する回答内容の詳細について 2018 年度と 2019 年度の比較



2-5) 小括

2019 年度の回答率は 2018 年度と比べ、2 年生は減少、4 年生は増加した。2018 年度から Moodle を用いた回答方法となったことから、回答方法の変更が影響した可能性もあるが、Moodle は授業評価アンケートなど多くの科目で試用しているため学生も使用になってきた。2018 年の 2 年生で最も多かった項目は「カリキュラム」であったが 2019 年度は「教育指導方法」であった。4 年生も同様に結果であった。演習・実習では 6～7 人のスモールグループでの指導が始まり、複数名の教員から直接指導を受けることになる。多くの科目は統一した指導要領に基づき展開し、統一した評価基準によって評価を出している。教員個々の指導技術や教授法、学生個々の理解度等に応じで実施しているが、学生の受け取り方では教員間に差があり、当たりはずれのような意見が表出されている。前年度よりこれらの意見が増えた要因としては、学生定員が 120 人となり、130～140 人となっている。看護学科の特徴として、毎年の教員の入退職や兼務者も増加も要因の一つかもしれない。カリキュラム改正により、現行カリキュラムは 4 年生の完成年度を迎えた。2 年程前より学生から「課題が多いことへの不満」が聞かれ始めた。2 年生から 3 年生前期にかけ、各専門領域の演習科目が実施され、課題レポートや予習復習をすることが前提として実施

している。複数科目の締め切りが同一日になることもあり、2年前より教務委員会主導で各領域の演習担当者が集まり、課題の提出時期を調整することや、各領域で課題やカリキュラム内容の見直しをしている。少しずつは改善されているが、依然課題としてあげられる。2022年度にカリキュラム改正が実施される予定となっており、カリキュラムの進捗計画に参考として計画していきたい。

そのたの項目としては、毎年意見として聞かれる「時間割編成への不満」「使わない教科書への不満」等が見られた。「急な時間割変更」については、やむを得ない事情もあり得るが、連絡や周知をできるだけ早くしてほしいという要望があげられた。「時間割編成への不満」では、空きコマ設定をなくしてほしいという要望もあるが、教員側としては空きコマを有効に活用し、予習復習やセルフトレーニングに使用してほしい希望がある。学生としては、空きコマは自己学習より、遊ぶ事やバイトに使いたい希望があり、教員と学生間で相違が見られる。時間割を作成するときには、1限目を必修科目にし、朝から学修する姿勢を養うようにしているが、編成上必ずしも効果的にできているわけではないことが見受けられた。

現行カリキュラムは、新しい選択科目を増やし、選択科目の取得についても学年毎で必要単位数を設定するのではなく、4年間通して既定の単位数を選択できるようにした。学生が興味あるものや、他の必修科目の状況を見ながら4年間で計画をするがよくなっている。選択科目は原則複数の科目が重複しないように組まれているため、選択状況によっては、空きコマが増え、保健師課程選択科目の学生は5限目の開講や集中講義の形態をとっている。学修の効果上、認知、技術習得、実習と進めていくことにより、2、3学年に演習科目が集中し、事前・事後課題が提示することにより、学生の負担が見られている。アンケートでは他学科より看護学科の学生は予習・復習の時間が比較的多いことに反映されていると思われる。

大学3号館、合同校舎ではWi-Fi環境があり、Moodleも学外からのアクセスが可能となった。ICTに向けての環境は整ってきているため、Wi-Fi環境への不満については減少した。ELSEVIERのナーシングスキルを導入し、動画視聴や主義の確認など学生の事前事後学習のツールも準備し、環境は整えられている。

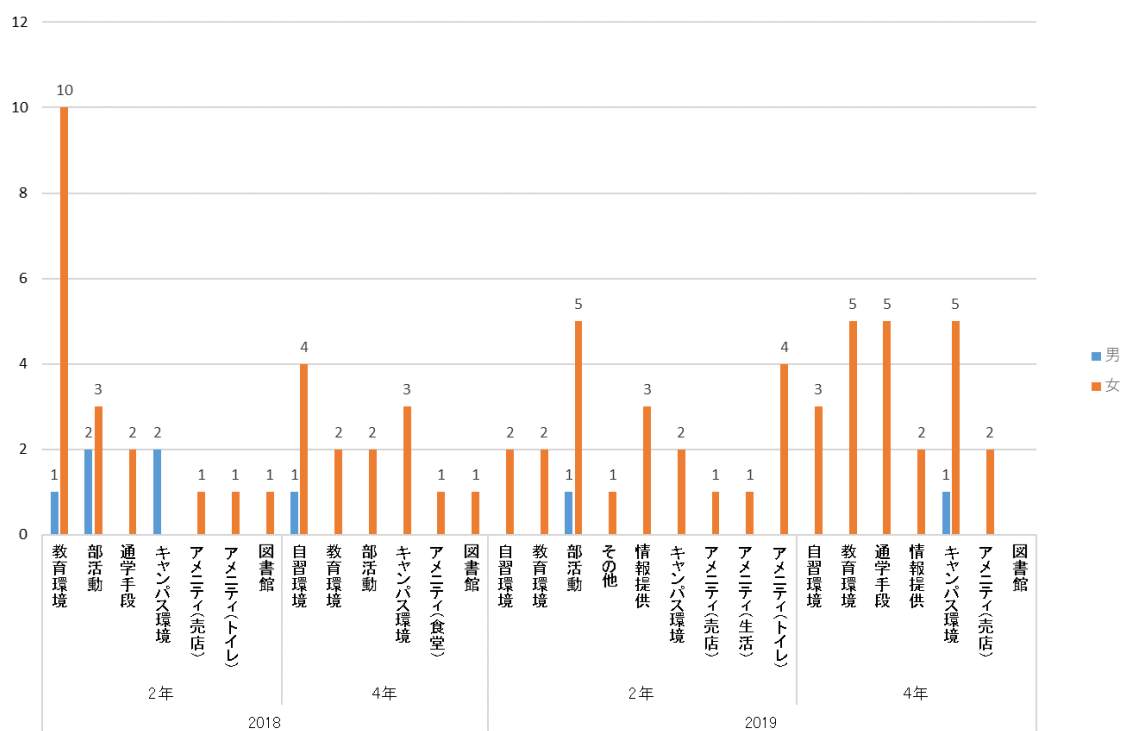
3) 生活環境

3-1) 回答率

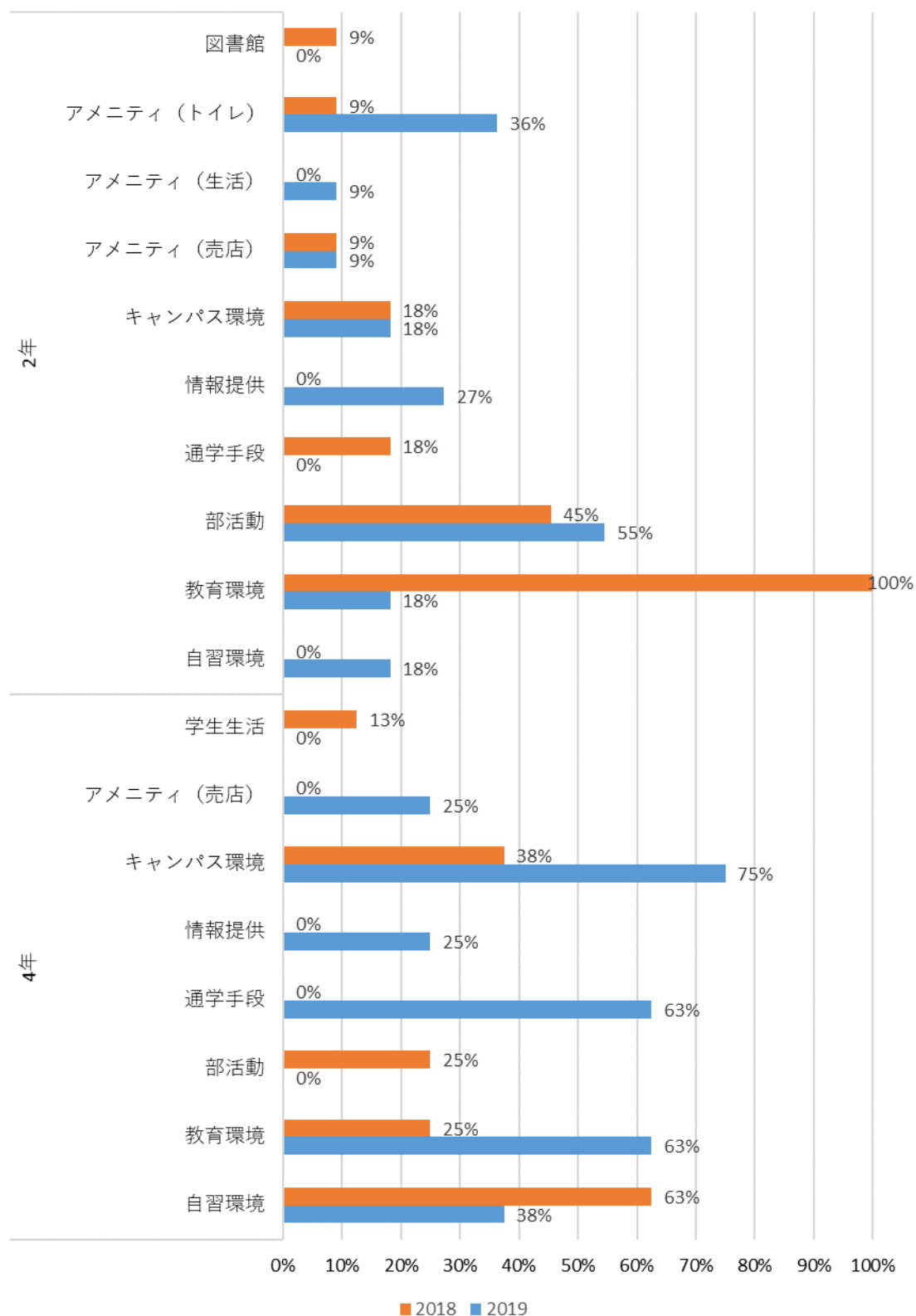
	2018				2019			
	2年		4年		2年		4年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
回答数	3	8	1	7	1	22	2	21
回答率	2.1%	6.3%	14.3%	7.3%	16.7%	17.9%	22.2%	17.2%
学年回答率	7.9%		7.8%		17.8%		17.6%	

3-2) 生活環境に関する回答内容の内訳

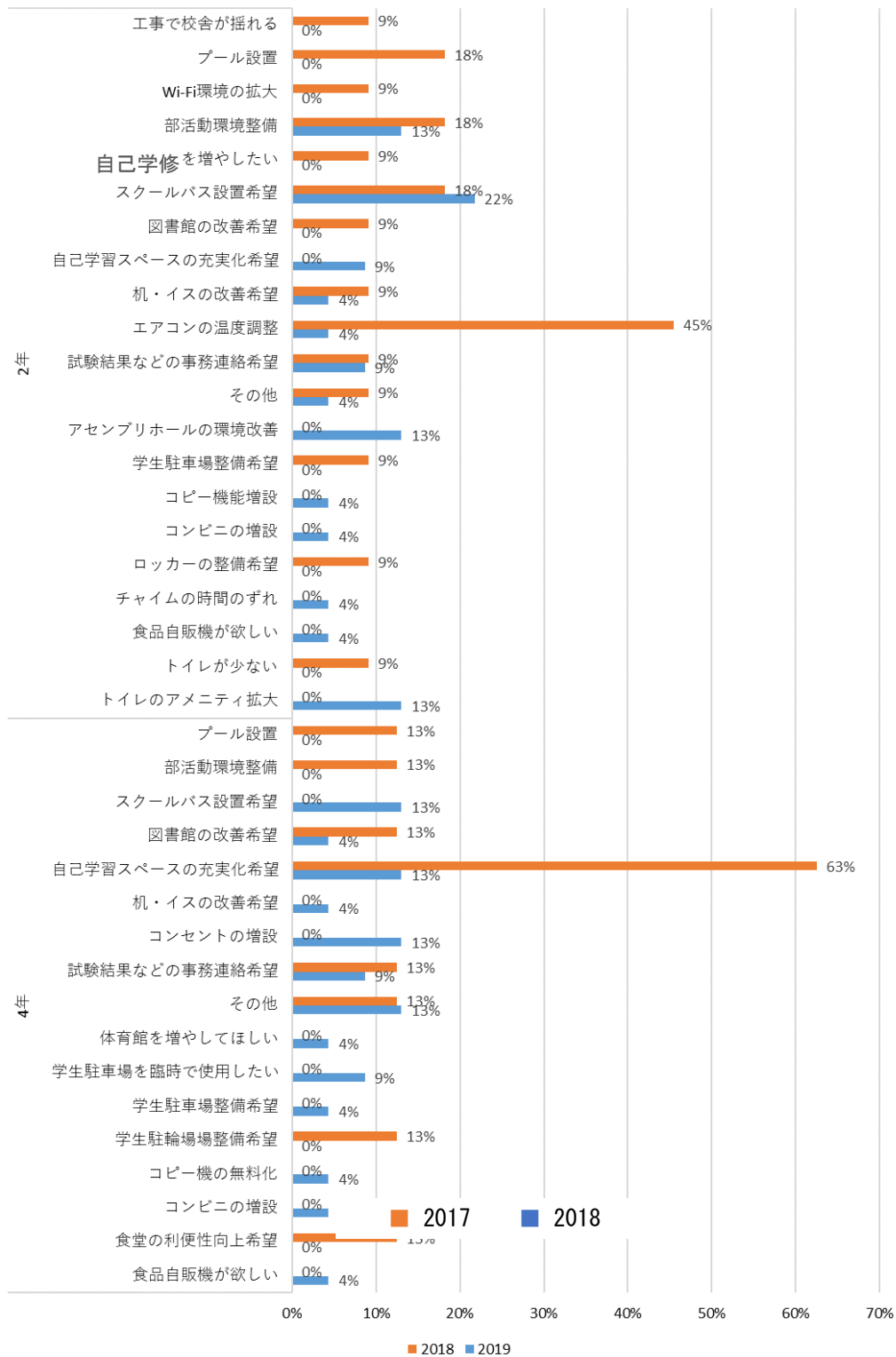
(単位：人)



3-3) 生活環境に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較



3-4) 生活環境に関する回答内容の詳細について 2018 年度と 2019 年度の比較



3-5) 小括

2019 年度の学校生活環境に関する意見を記載した学生数（回答率）は、2 年生、4 年生ともに 2～3 倍増加した。この意見の増加については、前述したようにアンケート回収方法が変更したことも影響があると思われる。2018 年度は 8 人からの少数の意見が反映されていたが、2019 年度は約 3 倍の人数から意見が出された。2019 年度の回答では、2 年生が「アメニティ（トイレ）」「部活動」に関する意見が多く

みられた。4年生では、「教育環境」「通学手段」「キャンパス環境」であった。

「アメニティ（トイレ）」では、大学3号館の設置と同時期に合同校舎の改修も行われたが、3号館に比べいくつか設備に違いがあることが学生からの不満になっているようである。そのため3号館と同じ設備にしてほしいという要望が見られた。「部活動」については、アセンブリホールの空調設備（エアコン）への要望が最も多く、グラウンドの照明や西日対策などの環境面での要望も見られた。昨年意見があった、部活動の数を増やすことやプールの設置などはみられなかった。「教育環境」では、教室のエアコンの温度設定について、合同校舎の教室で意見が出された。設備上難しいのが現状であるが、夏季の時期など、冷気がしっかり効くよう施設関係の部署が対応してくれているが、温度調整ができないため寒すぎることもある。学生には衣服などで調整するよう促している。また出席管理については例年同様の意見が出されているが、年度初めのガイダンスで説明し理解を得るようにしている。「スクールバスの設置希望」については例年あげられているが、今年度は名鉄バスから朝の臨時バスが増便された。またバスマナーについて患者など利用者からの苦情もあり、スクールバス等については今後検討が必要になっている。「自己学習スペースの充実化」については希望が高いものであるが、学生ホールは充実したものの、オープンスペースであるため、試験期間中には多くの学生が使用し場所の確保が厳しい状況もある。大学3号館5、6階の看護学科オープンスペースは看護学科以外の学生も利用するのは承知しているが、試験期間中だけは看護学科専用とするような工夫をしてほしいという意見もあり、2018年度は試験的に運用し、2019年度も継続している。

また学生駐車場や駐輪場の充実や整備に関する意見があった。駐輪場については自転車やバイクの置き方について利用する学生自身のマナーの問題もあるため、学生指導委員会を中心とした指導が定期的に行われている。部活動に関しては環境整備の意見が見られた。

生活環境については大学3号館ができたことにより、改善されてきている。大学3号館号館には3学年の教室があり、合同校舎に1学年分の教室と在学・公衆衛生看護学以外の演習室がある。ホーム教室を設定せず、毎日曜日ごとに教室を変更している。学生数が多くなったことによりロッカーが大学3号館以外の場所にも設置することになったが、学生からの要望により大学事務部の担当者が検討し、まとまるような配置に変更した。PSA委員会からの要望があった電子レンジの設置したりなど柔軟に対応し、学生の生活環境を整えるようにしている。今後も学生生活がより良いものとなるよう、学生の意見を慎重に精査し、具体的な改善案を検討し、計画的に改善を行っていく必要がある。

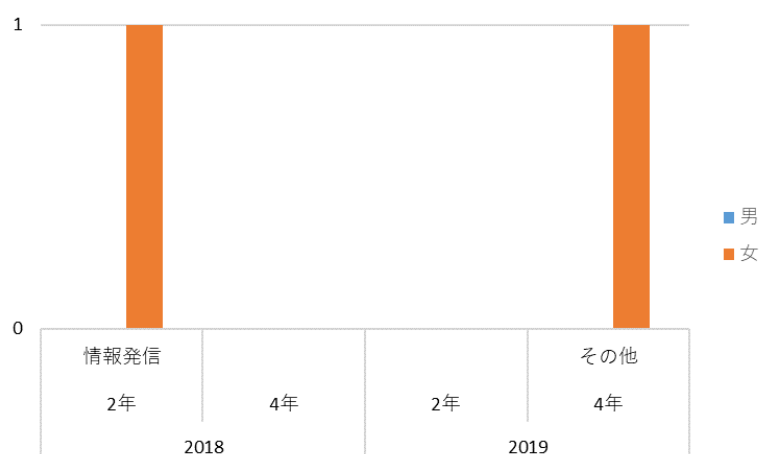
4) 特色

4-1) 回答率

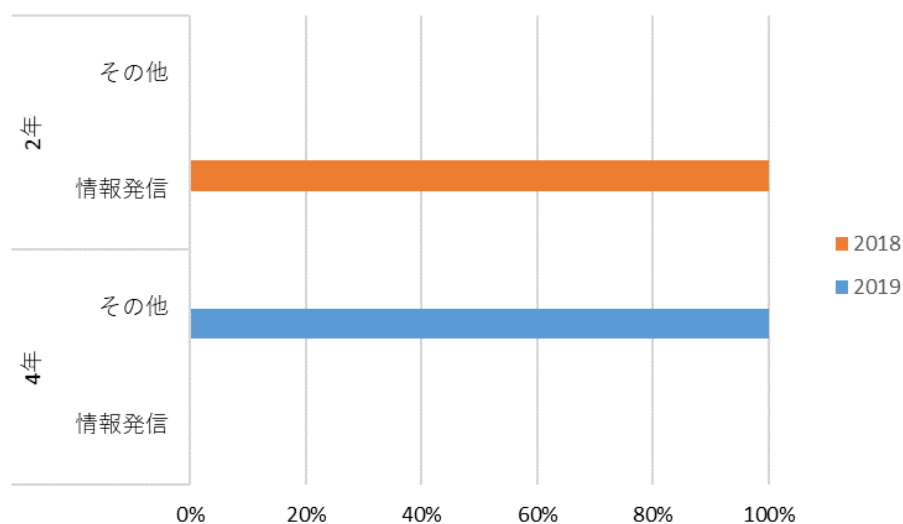
	2018				2019			
	2年		4年		2年		4年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
回答数	0	1	0	0	0	0	0	1
回答率	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
学年回答率	0.7%		0.0%		0.0%		0.8%	

4-2) 特色に関する回答内容の内訳

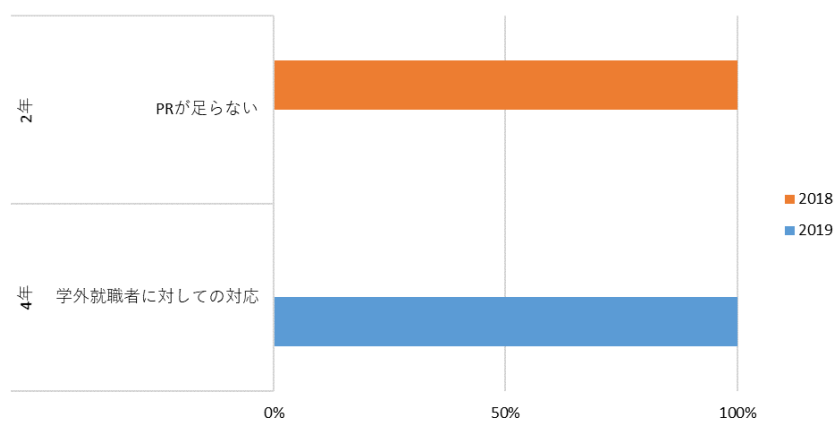
(単位：人)



4-3) 特色に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較



4-4) 特色に関する回答内容の詳細について2018年度と2019年度の比較



4-5) 小括

2019 年度の特色についての回答率は低く、2019 年度は 4 年生から 1 件であり、2 年生 2 年生は意見がなかった。特色については例年意見が少ない結果となっている。

4 年生で出された意見は特色に関するものというよりは、学外就職者に対しての対応を検討してほしいという内容であった。学科の特徴として、7~8 割は学園関連病院に就職するためだと推察される。引き続き、大学の特色を掲げ、戦略的に努力していくことが必要であると思われる。

5) 総括

2019 年度の看護学科の回答率は、2018 年度と比べ、教育内容、生活環境に関する事由記載の意見は増加し、特色に関するものは例年どおりであった。大学 3 号館で授業が行われるようになり、生活環境面だけでなく教育内容についても改善充実してきた。2018 年度から Moodle を用いた回答方法となり、Moodle の活用度も上がり事由記載も増えたかもしれない。

教育内容については、現行カリキュラムが 4 年生まで進み、カリキュラムの課題も明らかになってきた。演習の時期が重なり事前・事後課題が集中することによる問題も明らかになった。教育内容で多くの課題が出された「教員間での指導方法統一の希望」については、今回は 4 年生を中心に実習に関連した内容が多く出された。グループ間での教育の学びに差はできるだけ生じないように、教員間での指導体制の共通理解が必要にある。また、学生個々の学びのレベルの違いもあり、教員からの指導内容が理解できていない、実習態度について注意しても改善されない学生もいるのが事実であり、個々に応じた教育体制も課題にあげられる。

生活環境については、大学 3 号館移転に伴い、「建物老朽化への不満」「教室構造の改善希望」が大幅に減少した。合同校舎については、設備上の課題もあり以前学生の要望はみられた。学生の自主学習の場所としては、学生の人数に応じた容量は確保できていないため、そのことが学生の不満とつながった。また、昨年見られた看護学科の学生のフロア内に他学科、他学部の学生が自主学習をしに来ており、試験期間中などは特に場所が少ないことに対する苦情が意見として出された。これについて試験期間は看護学科専有とする運用をすることにより、今年度は意見としてはみられなかった。生涯 2 号館にすべての教室と実習室は入らず、合同校舎の 2 か所になったことが新たな学生の不満の原因となった。これについては解決するのは難しく、カリキュラムや時間割の見直しなどで軽減していく必要がある。

特色については、2018 年度は回答が 1 件だけだった。内容は学外就職者への対応であった。2019 年度入学生からは iPad を購入、授業資料配信システムが稼働し、講義資料はペーパーレスとなっている。現在コンセントが少ないという要望は、4 年生の学生が多く聞かれているだけだが、今後は全学年度で iPad 電源が確保できるような環境を整えていくことになる。

今回の調査で得られた教育内容、生活環境、特色に関する学生からの貴重な意見は今後の大学の計画的な改善の参考となるものであり、より良い学生環境にしていくことが望まれる。

3. 2. 1. リハビリテーション学科 理学療法専攻

リハビリテーション学科理学療法専攻における 2018 年度調査と 2019 年度調査の概要及び比較

1) 対象学生について

学生数（単位：人）

	2018				2019			
	2 年		4 年		2 年		4 年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学生数	31	25	36	24	30	29	30	30
計	56		60		59		60	

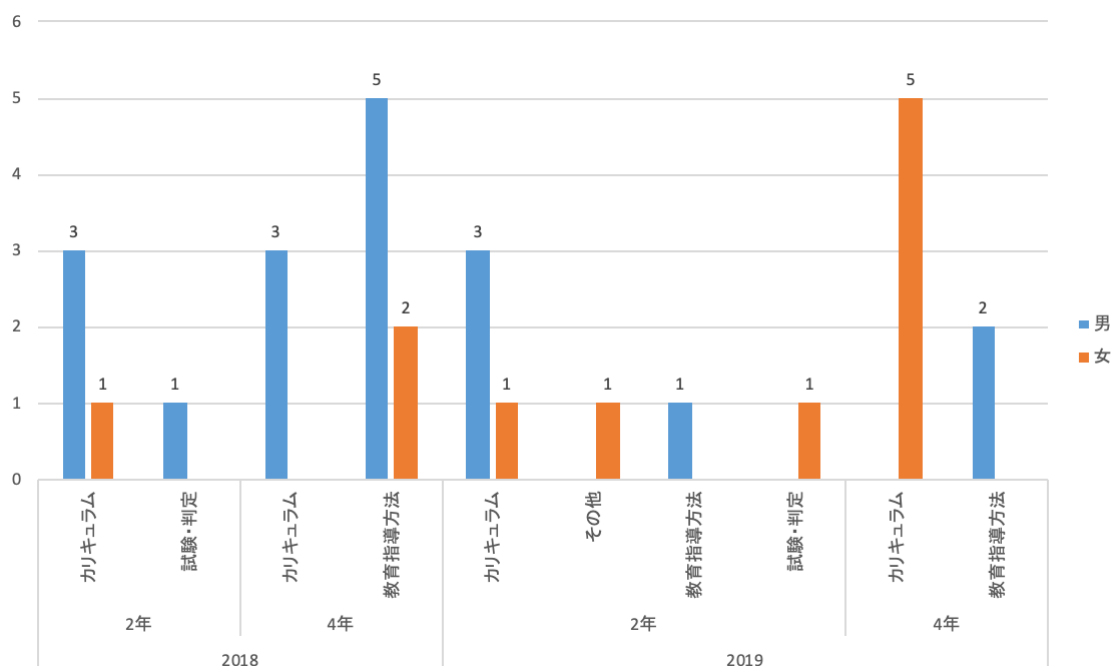
2) 教育内容

2-1) 回答率

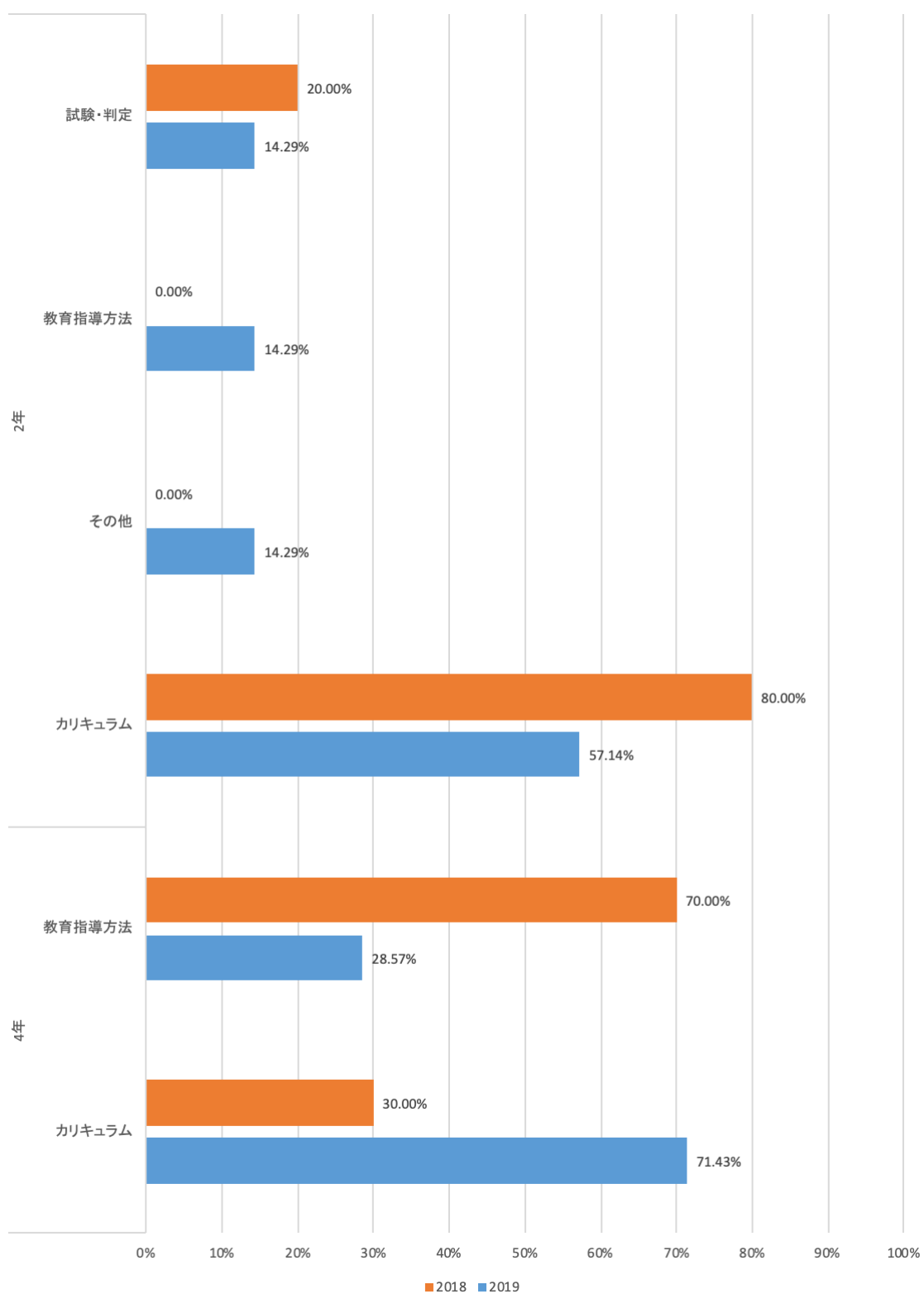
	2018				2019			
	2 年		4 年		2 年		4 年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
回答数	4	1	8	2	4	3	2	5
回答率	12.9%	4.0%	22.2%	8.3%	13.3%	10.3%	6.7%	16.7%
学年回答率	8.9%		16.7%		11.9%		11.7%	

2-2) 教育内容に関する回答内容の内訳

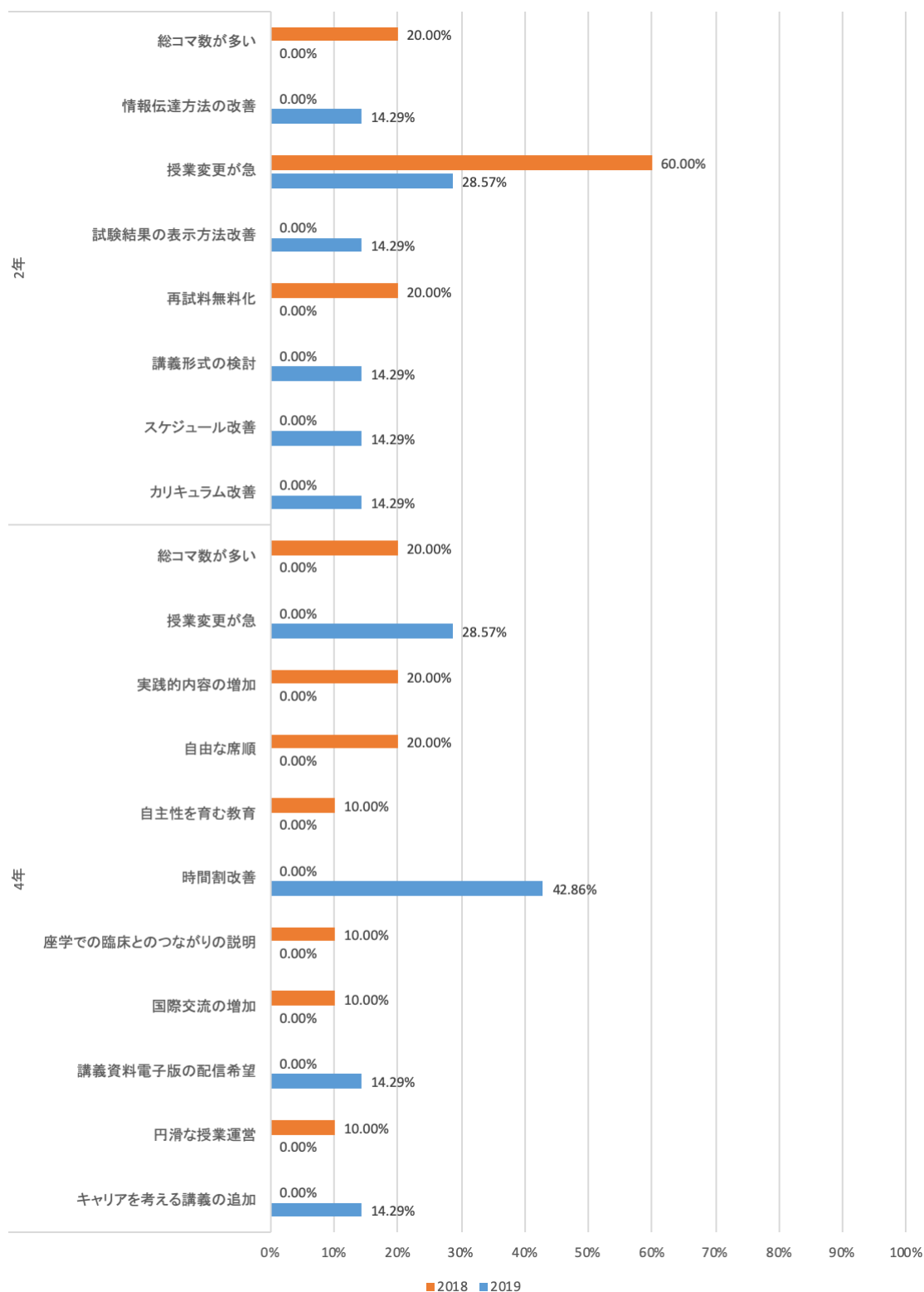
（単位：人）



2-3) 教育内容に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較



2-4) 教育内容に関する回答内容の詳細について 2018 年度と 2019 年度の比較



2-5) 小括

2019 年度の回答率は、2018 年度と比べ、教育内容に関する意見を記載した学生数（回答率）2 年生は増加し、4 年生は減少した。2019 年度で意見が最も多かったのは、2 年生、4 年生とも「カリキュラム」に関する内容（2 年生 57.14%、4 年生 71.43%）であり、次いで 2 年生は「試験・判定」、「教育指導方

法」、「その他」が同数（14.29%）、4年生は「教育指導方法」（28.57%）であった。

最も多かったカリキュラムに関する詳細は、2年生では「授業変更が急」（28.57%）で、2018年度と同様の傾向であり、また、「総コマ数が多い」が2018年度ではみられなかったが、2019年度は意見として上がっていた（20.00%）。4年生では「時間割改善」が最も多く（42.86%）、次いで「授業変更が急」（28.57%）であった。

2年生で教員の授業変更、総コマ数に関する意見が多く上がった理由は、2年生のカリキュラムは、全学年において最も授業数が多いことが影響していると推察した。総コマ数が多いのは、3年生、4年生で長期間の臨床実習を実施し、より多くの実践経験を積ませるという本専攻の教育には必要なものである。しかしながら、授業変更が急という意見は、改善する余地があり、教員は授業以外の業務計画を立て、授業変更は、事前に時間的余裕をもって行うよう、改善を図る余地がある。4年生で時間割改善の意見が多かったのは、特に後期から行われている国家試験対策となる特論講義が影響していると推察した。特論講義は、複数の教員が関わるものであり、教員の予定上、例えば、1限と3限というように時間割が不規則になっていることが原因と考えられた。しかしながら、学生には、生活リズムを整え、勉強するよう講義がなくても、基本的には1限から4限までは登校し、講義がない時間は自習するよう指導しており、不規則な時間割でも学生が時間を持て余すことはないことになる。それにも関わらず、このような意見が挙がるということは、一部の学生は、登校せず、学内で自習できていないことが考えられるため、今後、学生の行動把握を強化する必要があると考える。

2018年度と比較して変化があった意見として、2年生の意見では、「試験結果の表示方法改善」についてであった。現在、試験結果の開示は、登校し確認しなければならない。Moodle導入により、レポート提出も自宅から行えるように利便性が増しているなか、学生は講義予定がないにも関わらず、試験結果を知るために登校しなければならない状態である。今後、学生がインターネットを利用して自分の成績を確認できるシステムを構築して、大学として改善していくべき課題であると考ええる。4年生では「講義資料電子版の配信希望」が意見として挙がっていた。2019年度より授業配信システムが導入されており、この問題はいずれ解決すると考えるが、移行期間となる現2年生、3年生にはMoodle等を活用し、対応することが望ましいと考える。

本専攻は、2020年度より新カリキュラムに変更となるため、本調査の結果を生かし、より充実した学生教育を図るよう努めることが必要である。

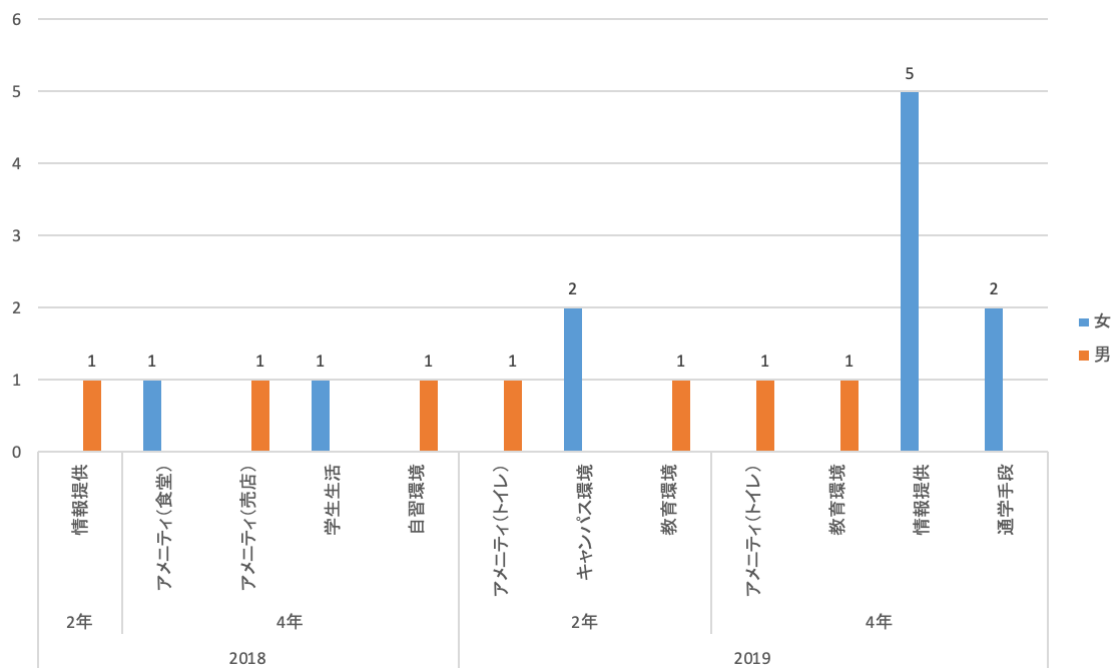
3) 生活環境

3-1) 回答率

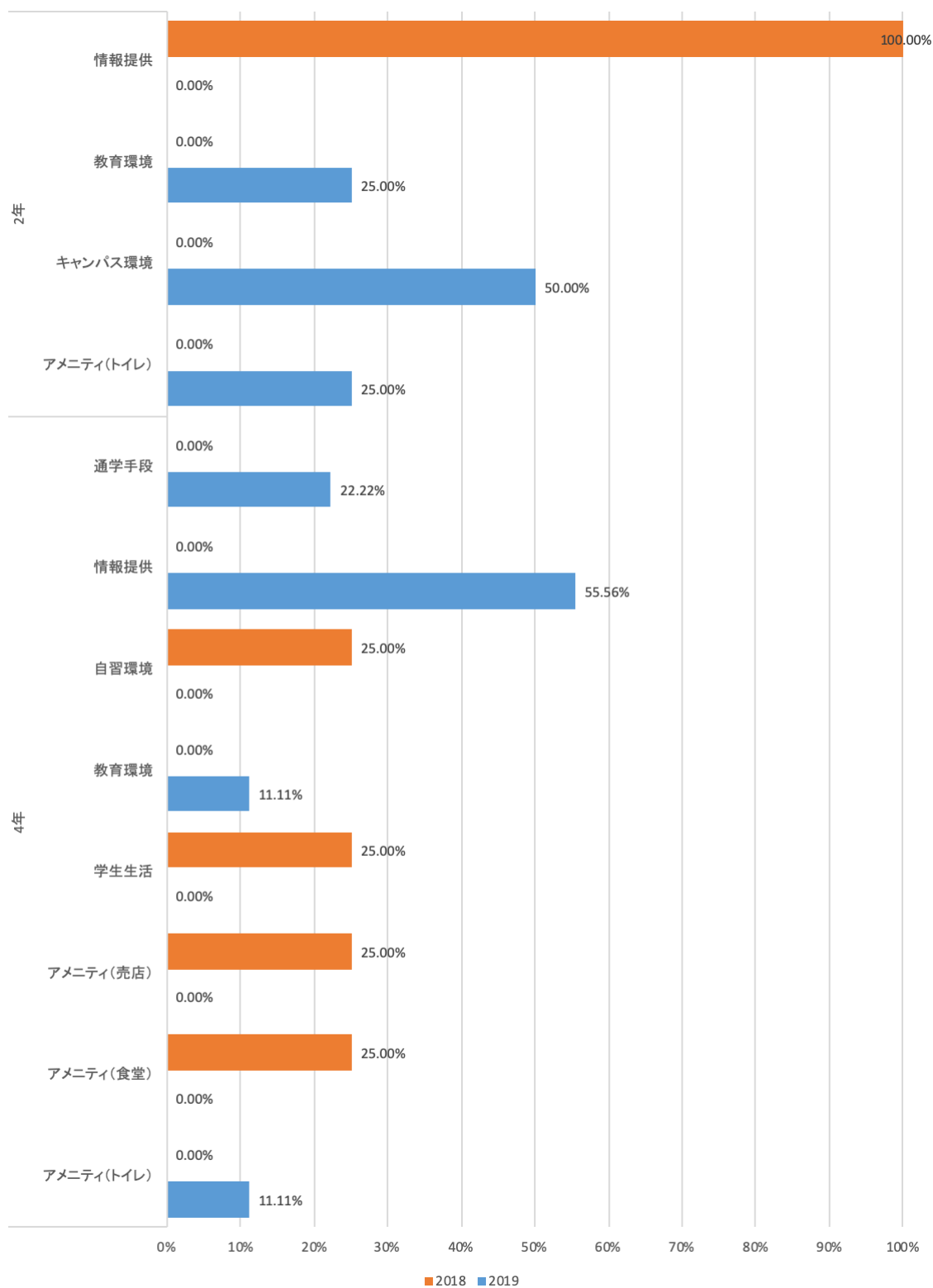
	2018				2019			
	2年		4年		2年		4年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
回答数	3	2	5	6	2	2	2	7
回答率	9.7%	8.0%	13.9%	25.0%	6.7%	6.9%	6.7%	23.3%
学年回答率	8.9%		18.3%		6.8%		15.0%	

3-2) 生活環境に関する回答内容の内訳

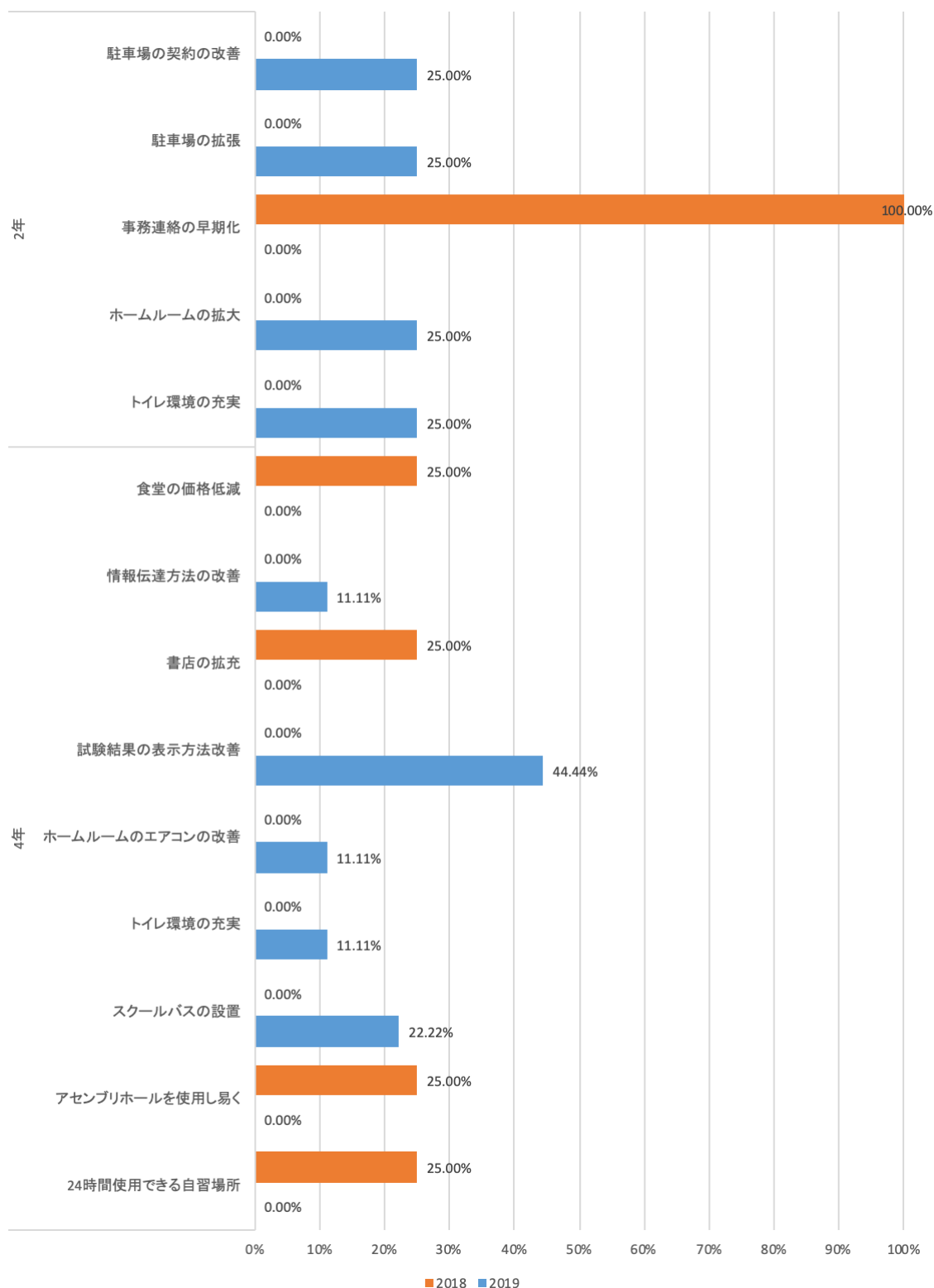
(単位：人)



3-3) 生活環境に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較



3-4) 生活環境に関する回答内容の詳細について 2018 年度と 2019 年度の比較



3-5) 小括

2019 年度の学校生活環境に関する意見を記載した学生数（回答率）は、2 年生、4 年生とも減少した。2019 年度の 2 年生では、2018 年度に多かった「情報提供」に関する意見は挙がらなかったものの、2018 年度には挙がっていなかった「教育環境」（25.00%）、「キャンパス環境」（50.00%）、「アメニティ（トイ

レ)」（25.00%）に関する意見が多かった。4年生では2018年度に多かった「学生生活」、「アメニティ（売店）」、「アメニティ（食堂）」は減少またはみられず、2019年度に挙がっていなかった「通学手段」（22.22%）、「情報提供」（55.56%）に関する意見が多かった。

回答内容の詳細は、2年生では、「駐車場の契約改善」、「駐車場の拡張」、「ホームルームの拡大」、「トイレ環境の充実」が同数（25.00%）であった。この中で多かった「ホームルームの拡張」は、本専攻が開学から定員数を増やしていることから、ホームルームが現学生数に対して、狭くなってきていることが影響していると考ええる。また、2019年度より定員数が増えているため、今後、これらの意見は増えることが予想される。今後、ホームルームの活用方法など更なる工夫が必要と考ええる。4年生の回答内容の詳細で多かったのは、「試験結果の表示方法の改善」（44.44%）、スクールバスの設置（22.22%）であった。試験結果の表示方法改善は、前項の教育内容に挙がっていたものと同様の回答であった。「スクールバスの設置」に関する意見は、本調査において毎年上がっている内容である。バス停での学生のマナーについて度々問題にあがっていることもあり、今後、学園として検討してほしい内容である。

本専攻は、前述通り2019年度より定員数が増加しており、ホームルームを中心とした学生の生活環境が不足することが予想されるため、本調査の結果を反映し、改善を図るとともに、不足する点を予測した対応が必要であると考ええる。

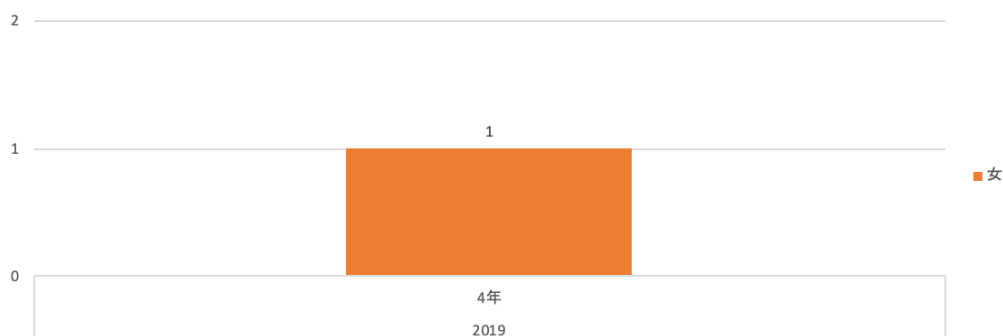
4) 特色

4-1) 回答率

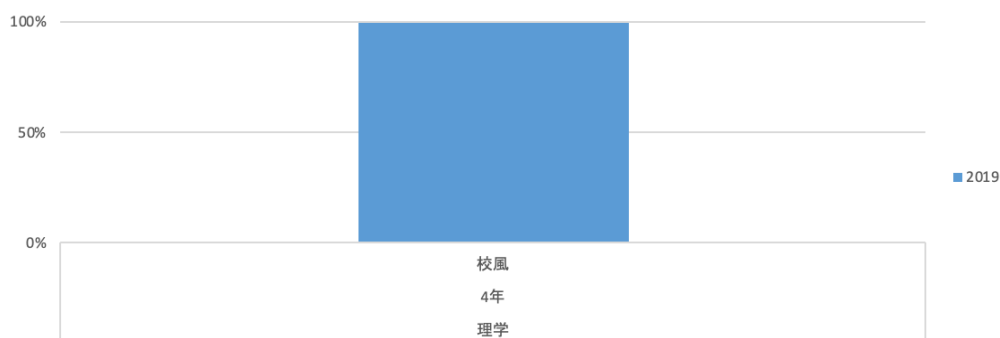
	2018				2019			
	2年		4年		2年		4年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
回答数	0	0	0	0	0	0	0	1
回答率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%
学年回答率	0.0%		0.0%		0.0%		1.7%	

4-2) 特色に関する回答内容の内訳

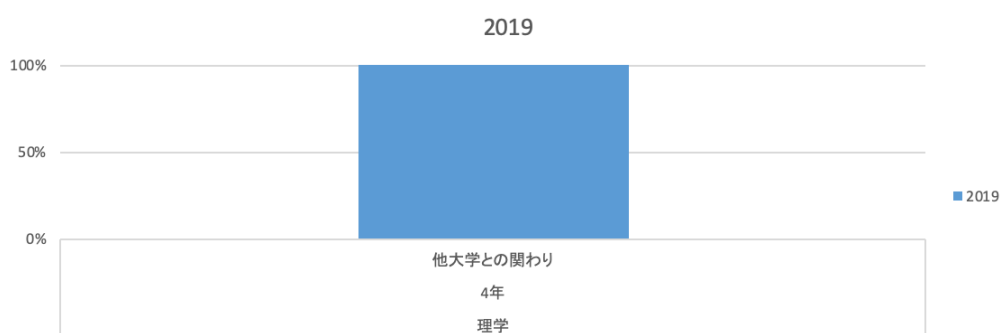
（単位：人）



4-3) 特色に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較



4-4) 特色に関する回答内容の詳細について2018年度と2019年度の比較



4-5) 小括

特色に関しては、意見は少なく、2019年度では4年生から他大学との関わりを増やして欲しいという意見があった。少数意見ではあるが、国内外問わず、学术交流は重要であり、今後、検討する余地があると考ええる。

5) 総括

2019年度は、2018年度と比べ、教育内容および生活環境に関する意見の回答率は、全体的に低下していた。

教育内容については、例年同様に全体的にはカリキュラムや時間割に関する内容の意見が多い傾向にあった。医療系の学科であるため講義や実習が多いうえ、本専攻は、長期間の臨床実習によって、より多くの実践を経験させるという教育の特色から、他大学のカリキュラムに比べ、非常にタイトであり、余裕のない時間割となっている。そのため、時間割の設定、急な時間割変更など、改善させる余地があり、学生への負担を軽減させることは可能であると考ええる。また、試験結果の表示方法の改善は、本調査が始まった時点から挙がっている意見であり、今後、学生がインターネットを利用して自分の成績を確認できるシステムを構築して、大学として改善していくべき課題であると考ええる。

生活環境については、2018年度には挙がっていなかった教育環境、キャンパス環境、アメニティ（トイレ）、通学手段、情報提供に関する意見が多かった。教育環境やキャンパス環境は、本専攻が開学から定員数を増えていることが影響していると考えられる。また、通学手段としてスクールバスの設置は、本調査が始まった時点から挙がっている意見であり、バス停での学生のマナーについて度々問題にあがっていることもふまえると、今後、学園として検討して欲しい内容である。さらに、本専攻は2019年度よ

り定員が増加しているため、これらの意見や問題が増えることが予想される。

特色に関しては、他大学との関わりを増やして欲しいという意見があったが、国内外問わず、学術交流は重要であり、今後、検討する余地があると考ええる。

2020年度より新カリキュラムがスタートする。今回の調査で得られた教育内容、生活環境、特色に関する学生からの貴重な意見は、医療検査学科の教育等の改善に活かしていくべきである。さらに、学生からの意見を大学が実施する学生環境等の改善の参考とし、より良い環境にしていくことが望まれる。

3. 2. 2. リハビリテーション学科 作業療法専攻

リハビリテーション学科作業療法専攻における 2018 年度調査と 2019 年度調査の概要及び比較

1) 対象学生について

学生数（単位：人）

	2018				2019			
	2 年		4 年		2 年		4 年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学生数	20	31	18	34	14	28	11	27
計	51		52		42		38	

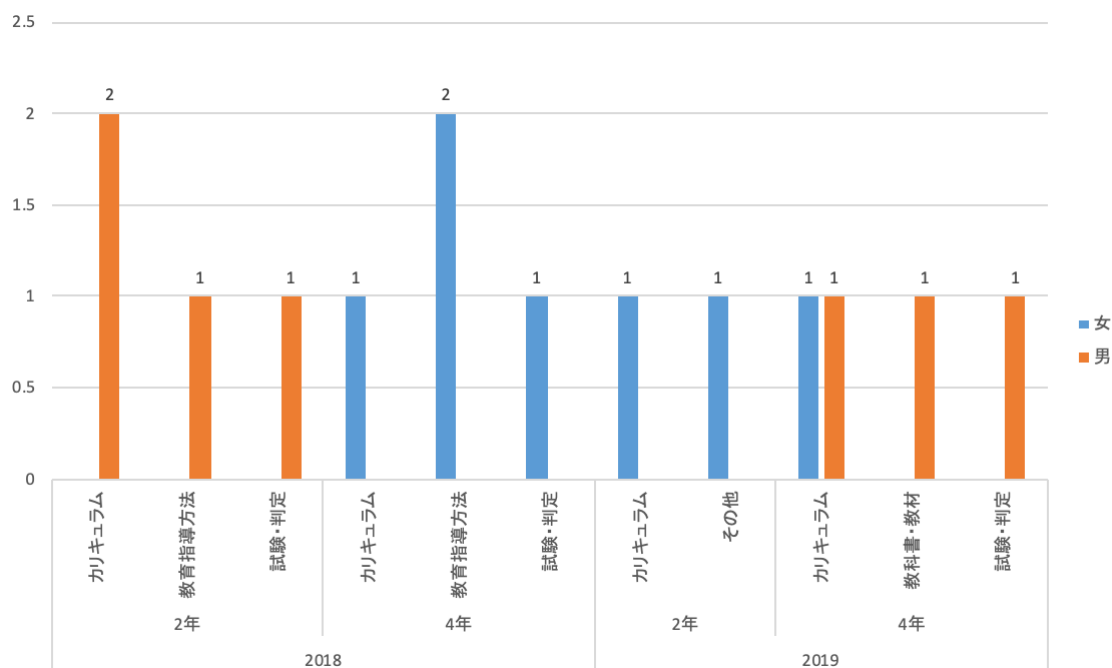
2) 教育内容

2-1) 回答率

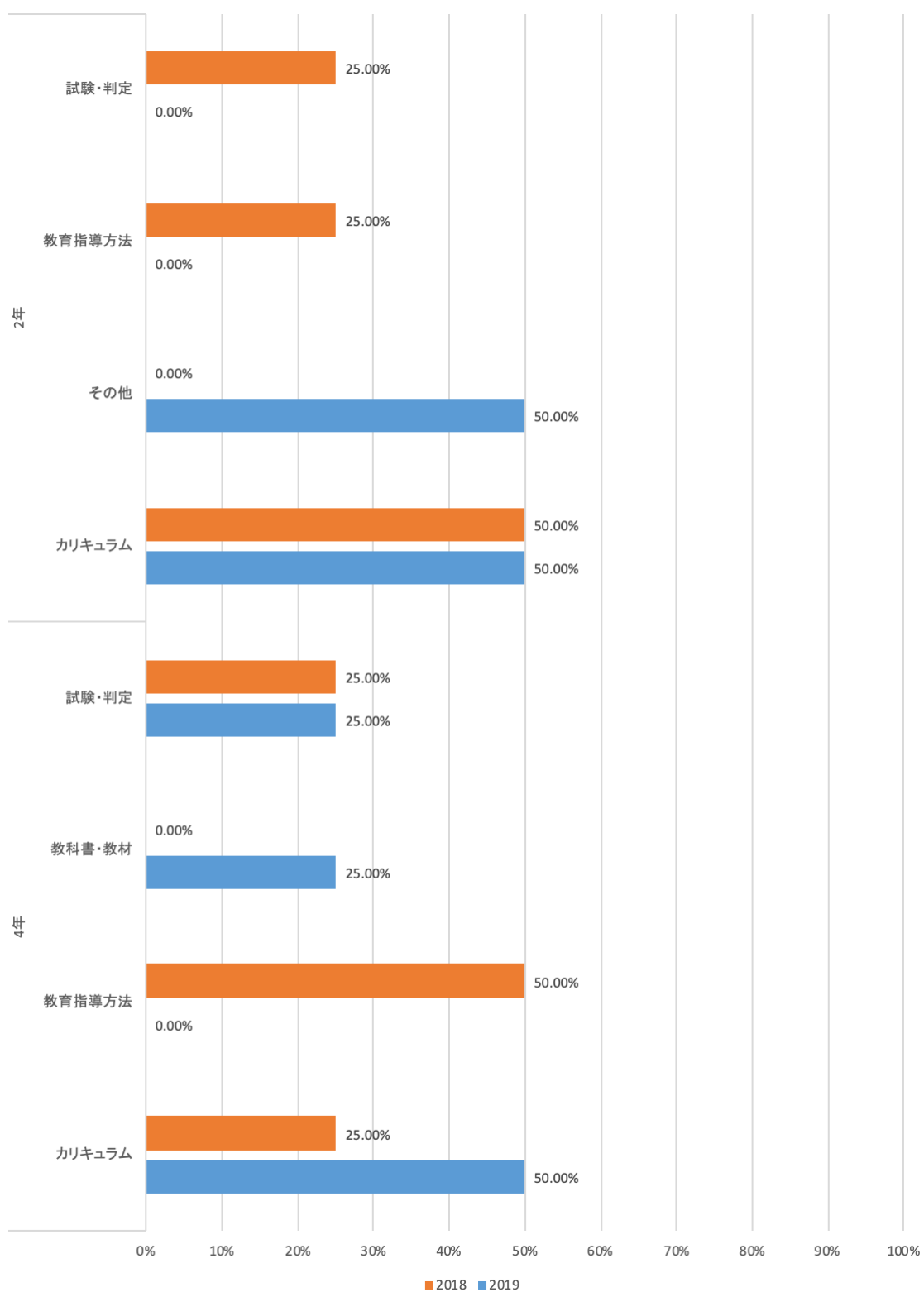
	2018				2019			
	2 年		4 年		2 年		4 年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
回答数	4	0	0	4	0	2	3	1
回答率	20.0%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	7.1%	27.3%	3.7%
学年回答率	7.8%		7.7%		4.8%		10.5%	

2-2) 教育内容に関する回答内容の内訳

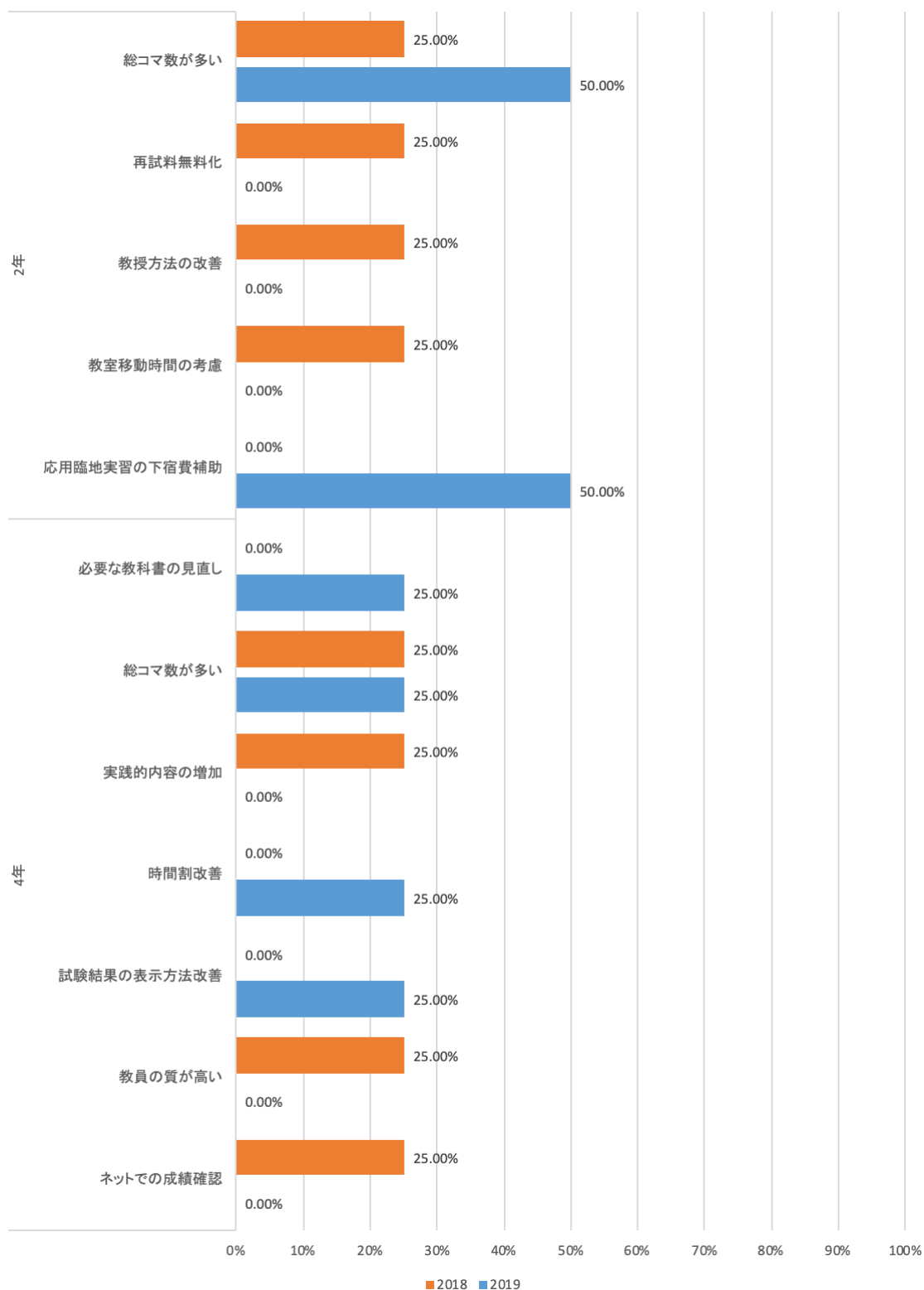
（単位：人）



2-3) 教育内容に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較



2-4) 教育内容に関する回答内容の詳細について 2018 年度と 2019 年度の比較



2-5) 小括

2019 年度の回答率は、2018 年度と比べ、教育内容に関する意見を記載した学生数（回答率）2 年生はほぼ変わらず、4 年生は増加した。2019 年度で意見が最も多かったのは、2 年生、4 年生とも「カリキュラム」に関する内容（2 年生、4 年生ともに 50.00%）であり、次いで 2 年生は「その他」（50.00%）、4

年生は「教科書・教材」、「試験・判定」（ともに 25.00%）であった。

最も多かったカリキュラムに関する詳細は、2年生では「総コマ数が多い」（50.00%）で、2018 年度も多かった。また、2018 年度に多かった「再試料無料化」、「授業方法の改善」、「教室移動時間の考慮」は挙がっていなかった。4年生では「必要な教科書の見直し」、「総コマ数が多い」、「時間割改善」、「試験結果の表示方法改善」（すべて 25.00%）であった。

2年生で総コマ数に関する意見が多く上がった理由は、2年生のカリキュラムは、全学年において最も授業数が多いことが影響していると推察した。総コマ数が多いのは、3年生、4年生で長期間の臨床実習を実施し、より多くの実践経験を積ませるといふ本専攻の教育には必要なものである。また、その他に関する詳細は、「応用臨地実習の下宿補助」であった。本専攻は4年生の応用臨地実習において一部の学生に遠隔地で実習を行っており、下宿費を負担させる場合があり、2年後の経済的負担を心配して挙げた意見と考える。現時点においても学生負担を減らすように下宿費が発生しないよう施設の寮の使用や遠隔地にはその施設に近い住まいの学生を配置するなどの対応を行っている。今後、学生との面談を行ううえで、状況把握し、対応に努める必要があると考える。4年生で挙げた必要な教科書の見直しは、購入した教科書をあまり活用しない講義があるため、挙げた意見である。今後、講義担当者に教科書の見直しと、講義方法の改善を図るよう促す必要がある。また、「試験結果の表示方法改善」は、現在、試験結果の開示が、登校し確認できない状況にあるために生じている問題であり、本調査を開始した時点が挙げられているものである。今後、学生がインターネットを利用して自分の成績を確認できるシステムを構築して、大学として改善していくべき課題であると考ええる。

本専攻は、2020 年度より新カリキュラムに変更となるため、本調査の結果を生かし、より充実した学生教育を図るよう努めることが必要である。

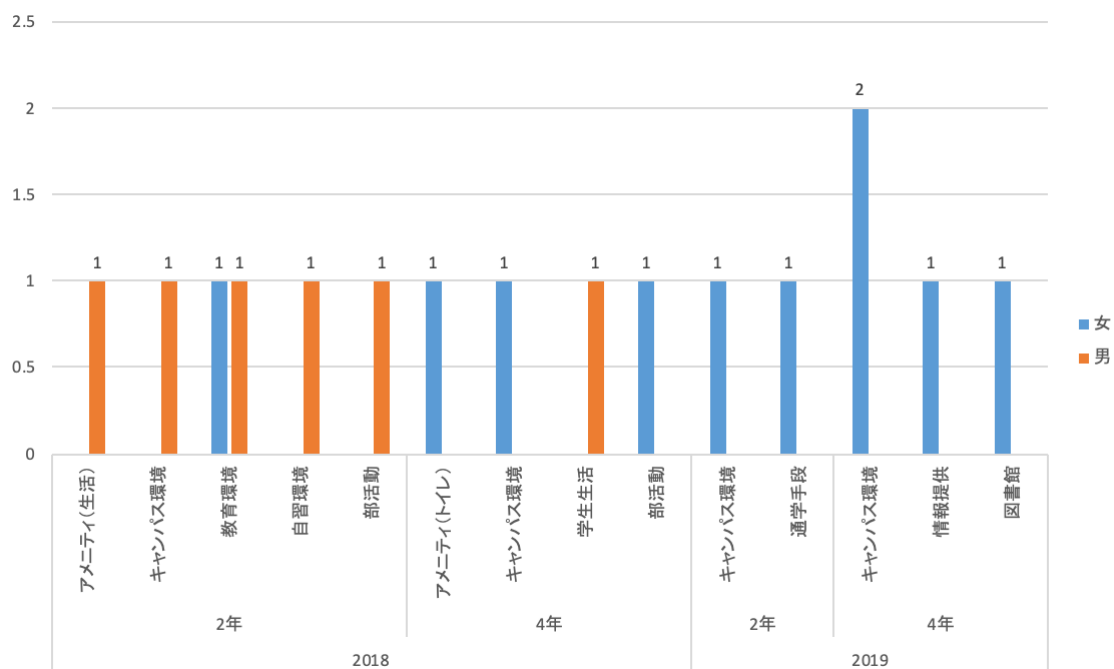
3) 生活環境

3-1) 回答率

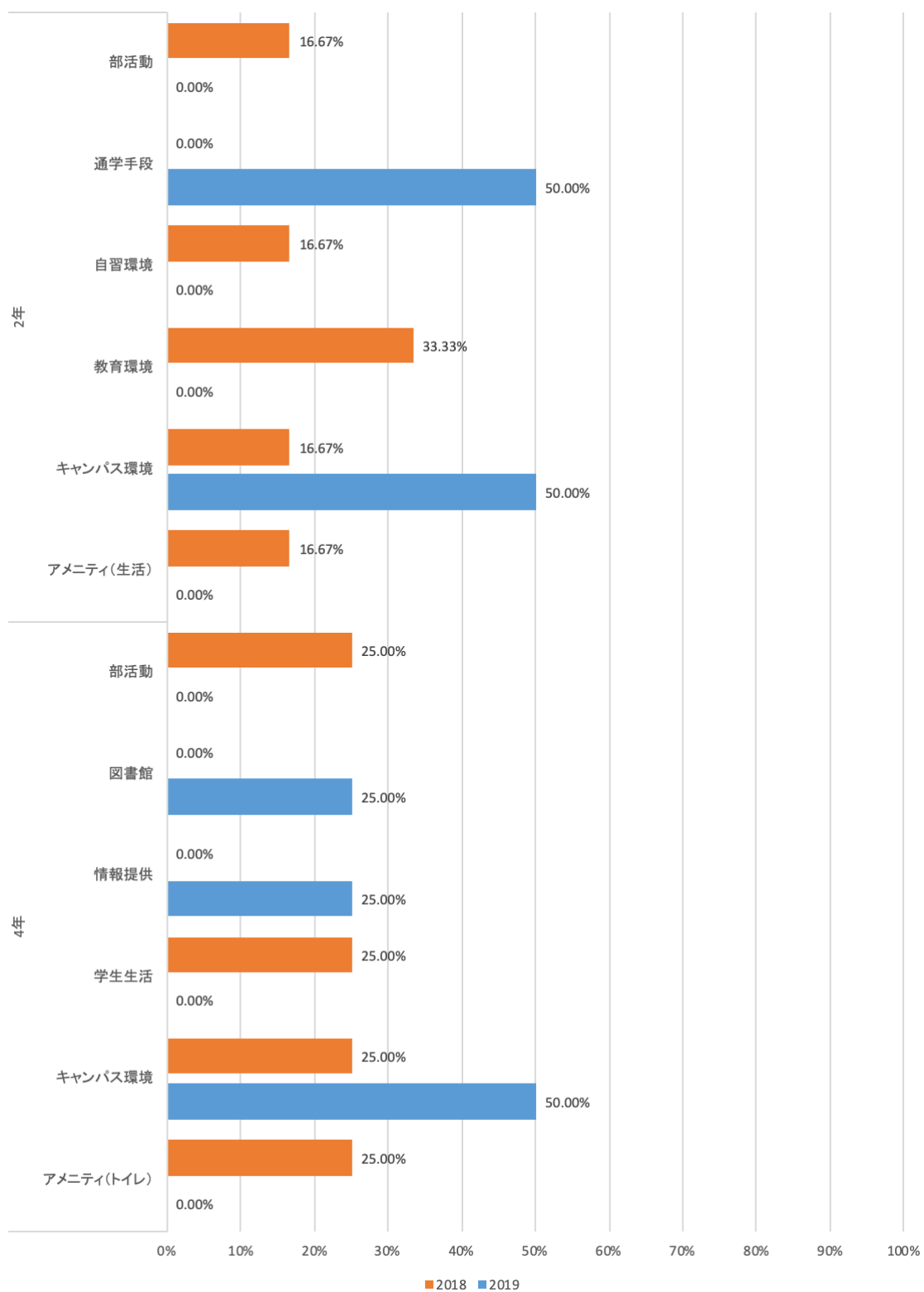
	2018				2019			
	2 年		4 年		2 年		4 年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
回答数	5	1	1	3	2	2	2	7
回答率	9.7%	8.0%	13.9%	25.0%	6.7%	6.9%	6.7%	23.3%
学年回答率	11.8%		7.7%		9.5%		23.7%	

3-2) 生活環境に関する回答内容の内訳

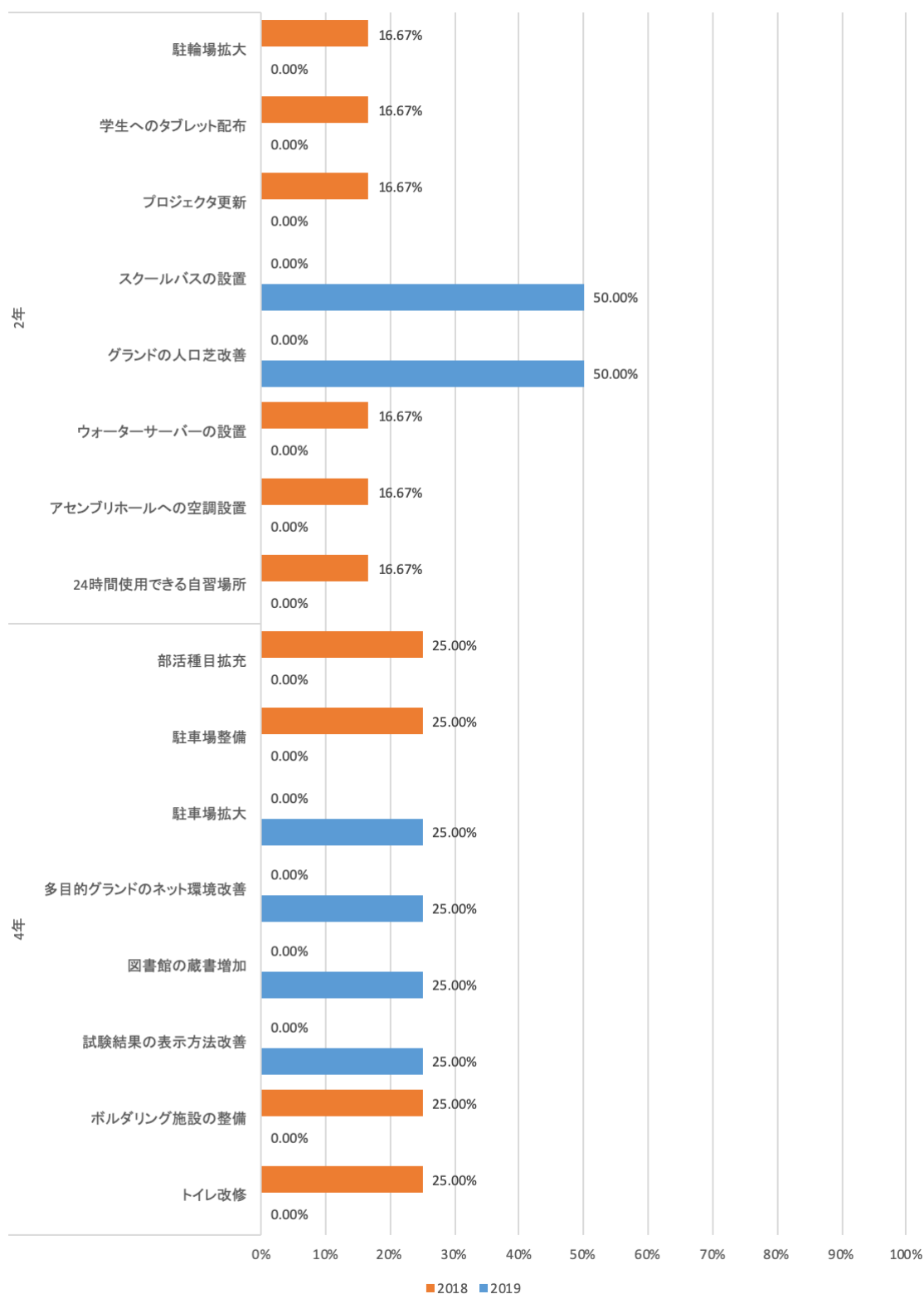
(単位：人)



3-3) 生活環境に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較



3-4) 生活環境に関する回答内容の詳細について 2018 年度と 2019 年度の比較



3-5) 小括

2019 年度の学校生活環境に関する意見を記載した学生数 (回答率) は、2 年生、4 年生とも増加した。2019 年度の 2 年生では、2018 年度に多かった「教育環境」に関する意見は挙がらなかったものの、2018 年度には挙がっていなかった「通学手段」(50.00%) と「キャンパス環境」(50.00%) に関する意見が多

かった。4年生では2018年度に挙がっていた「キャンパス環境」(50.00%)が最も多く、次いで「図書館」、「情報提供」(ともに25.00%)、であった。

回答内容の詳細は、2年生では、「スクールバスの設置」、「グラウンドの人口芝改善」(ともに50.00%)であった。4年生では「駐車場の拡大」、「多目的グラウンドのネット環境改善」、「図書館の蔵書増加」、「試験結果の表示方法改善」(すべて25.00%)であった。「スクールバスの設置」に関する意見は、本調査において毎年上がっている内容である。バス停での学生のマナーについて度々問題にあがっていることもあり、今後、学園として検討してほしい内容である。また、グラウンドの人口芝改善は、体育授業やクラブ活動にて怪我防止の面において重要であることから、今後の検討課題である。図書館の蔵書増加に対する対応は、新書等を含めた蔵書の見直しを含め、検討する必要がある。

本専攻は2019年度より定員数が増加している。したがって、ホームルームを中心とした学生の生活環境が不足することが予想されるため、本調査の結果を反映し、改善を図るとともに、不足する点を予測した対応が必要であると考ええる。

4) 特色

4-1) 回答率

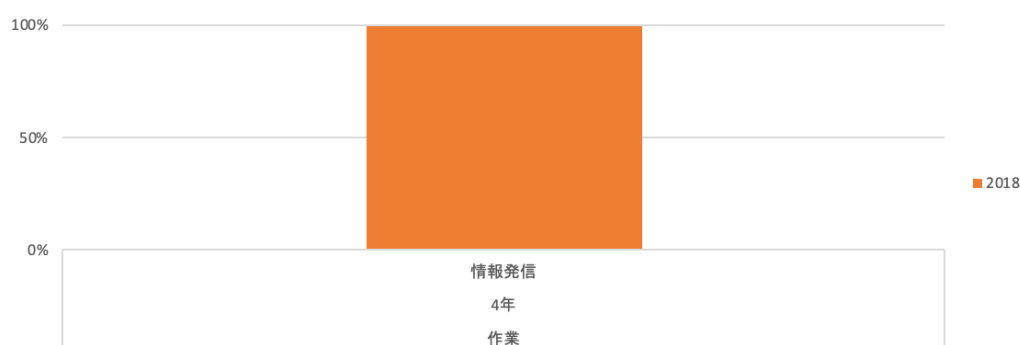
	2018				2019			
	2年		4年		2年		4年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
回答数	0	0	0	1	0	0	0	0
回答率	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学年回答率	0.0%		1.9%		0.0%		0.0%	

4-2) 特色に関する回答内容の内訳

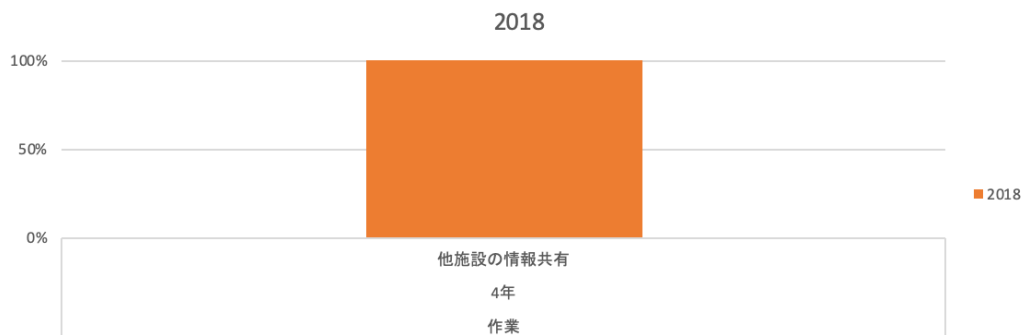
(単位：人)

2019年度は回答なし

4-3) 特色に関する回答内容の2018年度と2019年度の比較



4-4) 特色に関する回答内容の詳細について2018年度と2019年度の比較



4-5) 小括

特色に関しては、2019年度では意見は挙がらなかった。

5) 総括

2019年度は、2018年度と比べ、教育内容に関する意見を記載した学生数（回答率）2年生はほぼ変わらず、4年生は増加し、学校生活環境に関する回答率は、2年生、4年生とも増加した。

教育内容については、例年同様に全体的にはカリキュラムや時間割に関する内容の意見が多い傾向にあった。医療系の学科であるため講義や実習が多いうえ、本専攻は、長期間の臨床実習によって、より多くの実践を経験させるという教育の特色から、他大学のカリキュラムに比べ、非常にタイトであり、余裕のない時間割となっている。そのため、時間割の設定、急な時間割変更など、改善させる余地があり、学生への負担を軽減させることは可能であると考ええる。また、試験結果の表示方法の改善は、本調査が始まった時点から挙がっている意見であり、今後、学生がインターネットを利用して自分の成績を確認できるシステムを構築して、大学として改善していくべき課題であると考ええる。また、応用臨地実習の下宿費に関しては、今後、実習地の寮使用や学生の実習地の配置を配慮することにより、学生負担を減らす試みを進めるとともに、学生の状況把握に努める必要がある。

生活環境については、通学手段とキャンパス環境の意見が多かった。教育環境やキャンパス環境は、本専攻が開学から定員数を増えていることが影響していると考えられる。また、通学手段としてスクールバスの設置は、本調査が始まった時点から挙がっている意見であり、バス停での学生のマナーについて度々問題にあがっていることもふまえると、今後、学園として検討して欲しい内容である。さらに、本専攻は2019年度より定員が増加しているため、これらの意見や問題が増えることが予想される。また、図書館の蔵書増加についても、新書の発刊状況も踏まえ、今後見直していく必要があると考ええる。

特色に関しては、2019年度は意見が挙がらなかった。

2020年度より新カリキュラムがスタートしている。今回の調査で得られた教育内容、生活環境、特色に関する学生からの貴重な意見は、医療検査学科の教育等の改善に活かしていくべきである。さらに、学生からの意見を大学が実施する学生環境等の改善の参考とし、より良い環境にしていけることが望まれる。